

# 伊王野保育園保育室増築工事



建築設計 大 高





項目	特記事項
2 監理事務所	設ける ・ 設けない (2.3.1) 監理事務所の規模 備品 ( ) ・ 10m程度 ・ 20m程度 ・ 35m程度 ・ 65m程度 ・ 100m程度
② 工用水	構内既存の施設 利用できない (有償・無償)
③ 工用電力	構内既存の施設 利用できない (有償・無償)
④ 足場その他	手すり先行足場 (2.2.4) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドラインについて」(厚生労働省平成21年4月)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場」に関する基準に適合する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業時及び使用時には、常時「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
① 埋戻し及び盛土	種別 ・ A種 B種 ・ C種 ・ D種 (3.2.3) ・ 建設汚泥から再生した処理土 [G]
② 建設発生土の処理	1章一般共通事項 3発生土の処理等による (3.2.5)
3 山留め	撤去 ・ 存置 (3.3.3)
4 1 載荷試験	・ 平板載荷試験 ( )箇所 最大荷重( )t (4.2.4) 試験を行う深さ GL- ( )m 及び土質( ) ・ 杭載荷試験 ( )箇所 最大荷重( )t 試験種別( ) (4.2.3) 方法及び報告書の記載事項は敷地調査共通仕様書4章7節及び15節による。 試験位置は図示による。
2 既製コンクリート杭地盤	種類 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭) (4.2.2)(4.3.2)
	杭径(mm) 杭長(m)及び種別 継手数 セット数 備考
	試験杭
	本杭
	杭頭の処理 切断しない (4.3.7) 先端部形状 開放型 ・ 閉そく型 ・ 半開放型 (4.3.2) 杭の継手 アーク溶接継手 (4.3.6) ・ 無溶接継手 (建築基準法に基づく指定機関で性能評定を受けたもの)
	施工方法 ・ セメントミルク工法 (4.3.4) ・ アスオーガーの支持地盤への掘削深さ ・ 1.5m程度 ・ 杭の支持地盤への掘入れ深さ ・ 1.0m以上 ・ 特定埋込杭工法 (建築基準法に基づく埋込杭工法とし、杭材料は指定又は認定条件に適合するもの) (4.3.5) ・ 打込み工法 (4.3.3) ハンマー種別 油圧ハンマー プレローリング オーガー径 杭径 - 50mm程度 プレローリング長さ 本くい長 - 2.0m 支持力の算定方法 建築工事取扱い指針(平成28年度版)4.3.3.(b)(5)(i)打込杭の推定支持力による
	杭の精度 ・ 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 杭の傾斜 ・ 1/100以内 ・ 評定条件又は認定条件による
3 場所打ちコンクリート杭地盤	セメントの種類 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 [G] (4.5.3) コンクリートの種別 ・ A種 B種 (表4.5.1) コンクリートの設計基準強度 ( ) N/mm <sup>2</sup> 構造体強度補正 ・ 行わない ( ) 杭径(mm) 杭長(m) セット数 長期設計支持力(kN/本)
	試験杭
	本杭
	掘削工法 ・ アースドリル工法 (安定液使用 ・ 無水掘削) (4.5.4) ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法 孔内の水液 (行方 ・ 行わない) ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・ 掘削工法 (安定液使用) (4.5.5) 帯筋 ・ 各部配筋参考図2.2 丸型(口)による ・ 図示 鉄筋の最小かぶり厚さ 100mm 孔壁測定 ・ 行う (超音波測定器) ・ 行わない 杭の精度 ・ 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 杭の傾斜 ・ 1/100以内 ・ 評定条件又は認定条件による
4 鋼杭地盤	(4.4.2)(表4.4.1)
	試験杭 位置、本数及び寸法 図示 杭先端部形状 開放形
	掘削工法 ・ 中掘り拡大掘削工法 杭の精度 ・ 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 杭の傾斜 ・ 1/100以内 ・ 評定条件又は認定条件による
	杭の現場継手 ・ アーク溶接継手 ・ 無溶接継手 (継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 審査 (評定又は大臣認定)を受けた工法 検査 審査 (評定又は大臣認定)により定められた項目 施工 審査 (評定又は大臣認定)された施工管理基準による
	杭頭の処理 (切断方法) 切断しない 切断する (4.4.6) 再生クラッシャーラン [G] (4.6.3)
⑤ 砂利地盤	
⑥ 床下防護層	ポリエチレンフィルム 厚さ 0.15mm以上 重ね幅 縦横共に250mm以上 施工箇所 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (ピットを除く)
7 地盤改良	セメント及びセメント系固結材を使用した地盤改良の施工にあっては、「改訂版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」(平成14年発行)により、施工前及び施工後に指定された試験を実施し結果を監督職員に報告すること。また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。 [試験用土壌の採取方法等] 採取場所は現場指示によるが、改良土柱部分にかからないよう注意して採取すること。 ・ 採取土壌の種類 ( ) 種別 ・ 採取最深深さ ( ) m ・ 採取箇所数 ( ) 箇所 採取方法 バックホウ ・ ボーリング 六価クロム溶出試験 現場で採取した試料を用い、施工前及び施工後に環境庁告示第46号に基づき、試験を実施すること。

試験方法	試験内容	実施時期	試験箇所数	試験の必要性
試験方法1	配合設計段階で行う検査	材齢7日	土質ごとの実施	必ず実施すること。
試験方法2	施工後の改良体検査	材齢28日	20箇所	試験方法1で六価クロム溶出量が基準値を上回った場合のみ実施。但し、火山灰質活性土を改良する場合は試験方法1の取扱いにかかわらず、試験方法2及び3を実施。
試験方法3	タンクリーチング試験	材齢28日	試験方法2で溶出量が最大の試験体を使用	
				セメント系固結材を用いた深層混合処理工法は、国土交通大臣が指定する審査機関(第三者機関)により、技術評価を受けた工法とする。工法採用にあたっては、監督職員の承諾の上、決定すること。尚、下記工法を参照のこと。
				工法 審査証明番号(審査機関)
E C M工法	BCJ-審査証明-66(財団法人 日本建築センター)			
N C コラム	BCJ-審査証明-60(財団法人 日本建築センター)			
スーパージョイント工法	BCJ-審査証明-77(財団法人 日本建築センター)			
D コラム工法	BCJ-審査証明-96(財団法人 日本建築センター)			
テノコラム工法	技審第2001号(財団法人 先端建設技術センター)			
				(5.2.1)(表5.2.1)
				規格 種類の記号 使用箇所 呼び名(mm)
				鉄筋コンクリート用 種類(異形鉄筋)
				・ BD295A D16以下 ・ SD345 D19以上
				形状等
				種類 種類の記号 網目の形状、寸法 鉄線の径(mm) 使用部位
				・ 溶接金網 100×100 6.0 ・ 鉄筋格子
				柱及び梁の主筋、耐力壁の鉄筋 (5.3.4)(表5.3.3) ガス圧接継手 ・ 重ね継手(L= ) ・ 機械式継手 ・ 溶接継手
				鉄筋の最小かぶり厚さは目地底から算定する ・ 耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下記による (5.3.5)
				施工箇所 標仕値5.3.6の値に加入する寸法(mm)
				・ 柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面 10mm
				柱及び梁の主筋にD29以上の鉄筋の使用の有無
				・ 無し ・ 有り(適用箇所: ) 主筋のかぶり厚さ ・ 最小かぶり厚さ( )mm
				各部配筋参考図による 図示 (5.3.7)
				A型 B型 図示 (5.3.7)
				行方 行わない (参2.1)
				各部配筋参考図2.2によるH形(口は除く) 図示 (参2.2)
				一般壁 各部配筋参考図4.4によるB形 A型 図示 (参4.4)
				耐震壁 図示 (参表4.3-4)
				補強形式 各部配筋参考図7.1によるH形 M型 (参7.1) ・ H型 ・ M型 (参表7.1-3)
				外観試験(全数) 超音波探傷試験 引張試験 (5.4.9)
				類 類 (6.2.1)(表6.2.1)
				普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 (6.3.1.2)(6.13.2)(6.15.2) ・ 早強ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 [G] ・ フライアッシュセメントB種 [G]
				普通ポルトランドセメントの品質はJIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く
				水和熱 7日 352J/g以下 28日 402J/g以下
				使用骨材のアルカリシリカ反応による区分 (6.3.1) A ・ B (コンクリート中のアルカリ総量 Rt=3.0kg/m <sup>3</sup> 以下) (6.5.4)
				混和材料 (6.3.1) 混和剤 (JISA6204に規定するAE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤とし、化学混和剤の塩化物イオン量による区分は 類とする) ・ 混和材 (JISA6201に適合するフライアッシュの 種又は 種、JISA6206に適合する高炉スラグ微粉またはJISA6202に適合する膨脹剤)
				レディーミクストコンクリート工場の選定においては、「標準仕様書」6.4.1(コンクリート製造工場の選定)によること、かつ、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場(全品質管理委員会承認の認定した第一監査基準に基づく監査に合格した工場)から選定することを基本とする。ただし上記工場が工事現場近くに見当たらない場合は、監督員との協議により選定することとする。
				普通コンクリート (6.2.1-3)
				設計基準強度Fc (N/mm <sup>2</sup> ) 気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> ) スランプ 適用箇所 施工時期
				21 2.3程度 ・18 基礎、土間、ポーチ ・15
				増大物質量試験 行う (ただし、製造工場が行っている管理試験結果の提出により省略する事ができる) (6.5.1) (6.5.4) 行わない (6.9.1)
				単位水量の測定 行う (「建築工事におけるレディーミクストコンクリート単位水量測定要領(案)」の運用について) (6.5.1)による)
				・ 単位水量の測定 (1)単位水量の測定は、150m <sup>3</sup> に1回以上及び荷下ろし時に品質の異常が認められたときに実施する。 (2)単位水量の上限値は、標仕6.3.2(2)( )による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして施工する。 ア 測定した単位水量が、計画適合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m <sup>3</sup> の範囲にある場合は、そのまま施工する。 イ 測定した単位水量が、設計値±15kg/m <sup>3</sup> を超え±20kg/m <sup>3</sup> の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに、生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車等の測定を行い、設計値±20kg/m <sup>3</sup> 以内であることを確認する。さらに、設計値±15kg/m <sup>3</sup> 以内で安定するまで、運搬車の3台ごとに1回、単位水量の計測を行う。 ウ 設計値±20kg/m <sup>3</sup> を超える場合は、生コンを打ち込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに、生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車等の測定を行い、設計値±20kg/m <sup>3</sup> 以内であることを確認する。さらに、設計値±15kg/m <sup>3</sup> 以内で安定するまで、運搬車の3台ごとに1回、単位水量の測定を行う。 エ 不合格生コンを持ち帰ったことを確認すること。 (4)単位水量管理についての記録を書面(計画適合書、製造管理記録、打ち込み時の外気温、コンクリートの温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、エアメータ法、静電容量測定法又は( )法による。
				類 類 (6.2.1)(表6.2.1)
				設計基準強度Fc (N/mm <sup>2</sup> ) 水セメント比 単位セメント量 スランプ又はスランプロー スランプ スランプロー 混和材料
				45未満 21cm以下 50cm以下 高性能AE減水剤 45以上60以下 23cm以下 60cm以下 高性能AE減水剤
				製作工場の加工能力 ・ 監督職員の承諾する製作工場 ・ 建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構( ( (国) ) (社)全国鋼骨工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「( ) グレード以上」として国土交通大臣から認定を受けた工場 (7.1.3)
				適用する (7.1.4)
				鋼材の材質 (7.2.1)(7.2.10)(表7.2.1)
				種類の記号 使用箇所 規格等
				JIS規格による JIS規格による JIS規格による
				トルシア型高力ボルト ・ JIS型高力ボルト (7.2.2)(7.12.4) ・ 溶融亜鉛メッキ高力ボルト
				ボルト及びナットの材料 (7.2.3) 標仕値7.2.3 (JIS付属書品)による
				ターンバックル開 割弁式 ・ バイブ式 (7.2.6) ターンバックルボルト 羽子板ボルト ・ アイボルト ・ 両ねじボルト ネジの呼び径( )
				鋼製エンドタブ 切断する箇所( )
				改良型スカラップ
				完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 (7.6.11)(表7.6.2)
				行う 行わない A O Q L 4.0% ・ 2.5% 検査水準 第6水準 その他の試験 ・ 試験方法( ) ・ 試験箇所( )
				種別 ・ A種 ・ B種 C種 (表18.2.3)
				塗料種別 A種 ・ B種 (表18.3.1) 工程種別 A種 ・ B種 (表18.3.3)
				(7.9.2-7.9.7)
				種別 所要性能及び適用構造区分
				・ ラス張りモルタル塗り ・ 乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール ・ 耐火材吹付け ・ 耐火材巻き付け ・ 耐火材張り ・ 耐火材巻き付け
				構造用アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)
				材質 ・ SNR400B ・ SNR490B 埋込み工法 ・ A種 B種 ・ 建方用アンカーボルト 材質 ・ SS400 埋込み工法 ・ A種 B種 ・ C種
				モルタル 無収縮モルタル ( ) (7.2.9)(表7.10.2) 無収縮モルタルの製造所 評価名簿による 工法 A種[モルタル厚さ50] ・ B種[モルタル厚さ90]
				(7.12.3)(表14.2.2)
				垂鉛もつきの種別 材料 適用部位
				A種(HD255) 最小板厚 6mm以上の形鋼、鋼板類 B種(HD245) 最小板厚 3.2-6mmの形鋼、鋼板類 C種(HD235) 最小板厚 1.6-3.2mmの形鋼、鋼板類 普通ボルト、アンカーボルト 素地ごしらは、JIS H 9124溶融亜鉛めっき作業指針による
				摩擦面の処理 プラスト処理 ・ プラスト以外の特別な処理( ) (7.12.4) 耐力確認方法( )

7 軽量コンクリート (6.10.1)(表6.10.1)	設計基準強度Fc (N/mm <sup>2</sup> ) 気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> ) 種別 スランプ 適用箇所 施工時期
	種別 設計基準強度Fc (N/mm <sup>2</sup> ) スランプ (cm) 粗骨材の最大寸法 適用箇所
	普通コンクリート 18 ・15 ・18 25mm
⑧ 無筋コンクリート (6.14.1-3)	種別 設計基準強度Fc (N/mm <sup>2</sup> ) スランプ (cm) 粗骨材の最大寸法 適用箇所
	普通コンクリート 18 ・15 ・18 25mm
9 打ち継ぎ目地の寸法、位置及び形状 (6.6.3)(6.8.2)	目地寸法 標仕9.7.3による (6.6.3)(6.8.2) 位置 図示 (6.8.2) ひびわれ誘発目地、打ち継ぎ目地の深さ寸法は、躯体外側の打増厚さ部で処理する。
⑩ コンクリート打放し仕上げ	種別 コーンの穴埋め 施工箇所
	・ A種 面うちに仕上げる 面にあわせて仕上げる
	・ B種 面うちに仕上げる 面にあわせて仕上げる
	・ C種 面にあわせて仕上げる
	・ 化粧型枠
11 外部の打放し面の打増し (6.8.2)	20mm mm 打増し範囲 意匠図による
12 コンクリート躯体表面の処理 (6.11.1)	外表タイル後張り面の躯体表面の処理 M C R工法を行う場合は、せき板面にM C R工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面直状とする。高圧水洗工法の自注しを行う場合は、水圧50N/mm <sup>2</sup> 以上かつ、2.5分/m以上とし、施工計画書を監督職員に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。 コンクリートの増打厚さ 20mm 施工範囲は図示による。
13 寒中コンクリート (6.11.1)	・ 適用する ・ 適用しない
14 高強度コンクリート (公仕仕6.16.1-3)	設計基準強度Fc (N/mm <sup>2</sup> ) 水セメント比 単位セメント量 スランプ又はスランプロー スランプ スランプロー 混和材料
	45未満 21cm以下 50cm以下 高性能AE減水剤 45以上60以下 23cm以下 60cm以下 高性能AE減水剤
1 鉄骨の製作工場 (7.1.3)	製作工場の加工能力 ・ 監督職員の承諾する製作工場 ・ 建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構( ( (国) ) (社)全国鋼骨工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「( ) グレード以上」として国土交通大臣から認定を受けた工場 (7.1.3)
2 施工管理技術者 (7.1.4)	適用する (7.1.4)
3 鋼材 (7.2.1)(7.2.10)(表7.2.1)	鋼材の材質 (7.2.1)(7.2.10)(表7.2.1)
	種類の記号 使用箇所 規格等
	JIS規格による JIS規格による JIS規格による
4 高力ボルト (7.2.2)(7.12.4)	トルシア型高力ボルト ・ JIS型高力ボルト (7.2.2)(7.12.4) ・ 溶融亜鉛メッキ高力ボルト
5 普通ボルト (7.2.3)	ボルト及びナットの材料 (7.2.3) 標仕値7.2.3 (JIS付属書品)による
6 ターンバックル (7.2.6)	ターンバックル開 割弁式 ・ バイブ式 (7.2.6) ターンバックルボルト 羽子板ボルト ・ アイボルト ・ 両ねじボルト ネジの呼び径( )
7 エンドタブ	鋼製エンドタブ 切断する箇所( )
8 スカラップ	改良型スカラップ
9 溶接部の試験 (7.6.11)(表7.6.2)	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 (7.6.11)(表7.6.2)
	行う 行わない A O Q L 4.0% ・ 2.5% 検査水準 第6水準 その他の試験 ・ 試験方法( ) ・ 試験箇所( )
10 鉄網面の素地ごしえ (表18.2.3)	種別 ・ A種 ・ B種 C種 (表18.2.3)
11 鉄網面の錆止め塗料塗り (表18.3.1)(表18.3.3)	塗料種別 A種 ・ B種 (表18.3.1) 工程種別 A種 ・ B種 (表18.3.3)
12 耐火被覆 (7.9.2-7.9.7)	種別 所要性能及び適用構造区分
	・ ラス張りモルタル塗り ・ 乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール ・ 耐火材吹付け ・ 耐火材巻き付け ・ 耐火材張り ・ 耐火材巻き付け
13 アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)	構造用アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)
	材質 ・ SNR400B ・ SNR490B 埋込み工法 ・ A種 B種 ・ 建方用アンカーボルト 材質 ・ SS400 埋込み工法 ・ A種 B種 ・ C種
14 柱底均しモルタル (7.2.9)(表7.10.2)	モルタル 無収縮モルタル ( ) (7.2.9)(表7.10.2) 無収縮モルタルの製造所 評価名簿による 工法 A種[モルタル厚さ50] ・ B種[モルタル厚さ90]
15 溶融亜鉛めっき工法 (7.12.3)(表14.2.2)	垂鉛もつきの種別 材料 適用部位
	A種(HD255) 最小板厚 6mm以上の形鋼、鋼板類 B種(HD245) 最小板厚 3.2-6mmの形鋼、鋼板類 C種(HD235) 最小板厚 1.6-3.2mmの形鋼、鋼板類 普通ボルト、アンカーボルト 素地ごしらは、JIS H 9124溶融亜鉛めっき作業指針による
16 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.12.4)	摩擦面の処理 プラスト処理 ・ プラスト以外の特別な処理( ) (7.12.4) 耐力確認方法( )

8 1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2)	ブロックの種類 (8.2.2) 断面形状及び圧縮強さによる区分 正味厚さ 呼び寸法(mm) 化粧の有無 適用箇所
	長さ 高さ
	空洞ブロック-16
2 コンクリートブロック構造及び壁 (表8.3.1及び下表による)	ブロックの種類 (表8.3.1)以外の適用箇所 断面形状及び圧縮強さによる区分 正味厚さ 呼び寸法(mm) 化粧の有無 (表8.3.1)以外の適用箇所
	長さ 高さ
	空洞ブロック-16 空洞ブロック-08
3 A L C パネル (8.4.2-5)	種別 単位荷重(N/m <sup>2</sup> ) 厚さ(mm) 構造の種類
	・ 外壁パネル ・ 1180 ・ 1960 100 ・ A種 ・ B種 ・ 間仕切り壁パネル 100 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ 屋根パネル ・ 980 100 ・ F種 ・ 床パネル ・ 2350 ・ 3530 ・ 100 ・ 150 ・ 耐火性能( ・ 1時間 ・ 2時間) ・ 外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合ならびにパネルと他部材との取り合い部の目地幅 20mm ・ 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・ 適用する ・ パネル間の最小値を300mm未満とする場合
4 押出成形セメント板(EP) (8.5.2-8.5.5)(表8.5.1)(表8.5.2)	厚物(厚さ50mm以上) (8.5.2-8.5.5)(表8.5.1)(表8.5.2)
	種類 表面形状 厚さ(mm) 工法種別 耐火性能
	フラットパネル ・ 50 ・ 60 ・ A種 有り ・ デザインパネル ・ 50 ・ 60 ・ B種 ( ) ・ タイルベースパネル ・ 60 ・ 無し ・ フラットパネル ・ 50 ・ 60 ・ B種 無し ・ デザインパネル ・ 50 ・ 60 ・ C種 有り ・ タイルベースパネル ・ 60 ・ 無し
	薄物(厚さ50mm未満)
	施工箇所 表面形状 厚さ(mm) 耐火性能
	フラットパネル (図示) 無し ・ デザインパネル (図示) ・ 有り
	やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。
	開口の大きさ 切断後のパネルの残り部分の幅
	・ パネルを開口を設ける場合 短辺 ・ 図示 ・ 図示 ・ パネルを切り欠く場合 短辺 ・ 図示 ・ 図示 長辺 ・ 図示 ・ 図示
9 1 アスファルト防水 (9.2.2-5)(9.2.3-6)	屋根保護防水 (9.2.2-5)(9.2.3-6)
	種別 施工箇所 断熱材[G] 絶縁用シート 立上り部の保護
	・ A - 1 ・ A - 2 ・ A - 3 ・ B - 1 ・ B - 2 ・ B - 3 ・ A I - 1 ・ A I - 2 ・ A - 3 ・ B - 1 ・ B - 2 ・ B - 3 [材質] 押出法 <sup>※</sup> ポリイソシアヌレート系断熱材2種1号以上 [材質] 押出法 <sup>※</sup> ポリイソシアヌレート系断熱材3種bA [材質] フラット型 <sup>※</sup> 70g/m <sup>2</sup> 程度
	厚さ0.15mm以上 ・ 乾式保護材 ・ コンクリート押え
	屋根露出防水 (表9.2.7.8)
	種別 施工箇所 断熱材[G] 仕上塗料 使用量 種類 設置数量
	・ D - 1 ・ D - 2 ・ D - 3 ・ D - 4 ・ D - 1 ・ D - 2
	・ 製造所の規定による ・ 製造所の規定による ・ 製造所の規定による ・ 製造所の規定による
	断熱材[G] 仕上塗料 使用分類 施工箇所
	・ E - 1 ・ E - 2
	保護層 設ける 設けない 屋上排水溝 設ける 設けない
2 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2.3)(表9.4.1.2)	種別 断熱材[G] 厚さ(mm) 仕上塗料 使用分類 施工箇所
	・ S - F 1 ・ S - F 2 ・ S - M 1 ・ S - M 2 ・ S - M 3 ・ S - F 1 ・ S - F 2 ・ S - M 1 ・ S - M 2
	1.2 2.0 1.5 1.5 1.2 2.0 1.5 1.5
	・ 非歩行 ・ 軽歩行
	断熱材[G] 仕上塗料 使用分類 施工箇所
	・ S - C 1
	15.2.5(b)(2) 15.2.5(c)(1) 及び(3)に準ずるに準ずる
	7mm以下
工事名称	伊野野保育園保育室増築工事
図面名称/縮尺	仕様書(その2)
図面番号	A-02
設計年月日	平成30年10月10日
設計者	一級建築士(第200584号) 大高 智
発注者	那須町こども未来課



Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Details. Includes sections for 16 8 ステンレス製建具, 11 自動ドア開閉装置, 12 自閉式上吊り引戸装置, 13 重量シャッター, 14 軽量シャッター, 15 オーバーヘッドドア, and 16 ガラス.

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Details. Includes sections for 17 1 メタルカーテンウォール, 18 ガラス窓材及び溝の大きさ, and 19 P Cカーテンウォール.

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Details. Includes sections for 18 1 材料, 19 1 接着剤, 20 ビニル床シート張り, 21 ビニル床タイル張り, 22 ビニル床木, 23 ビニル床タイル張り, 24 ビニル床木, 25 ゴム床タイル, 26 カーベツト敷き.

Table with 3 columns: Item No., Item Name, and Details. Includes sections for 7 合成樹脂塗り床, 9 畳敷き, 10 せっこうボード, 11 吸音材, 12 壁紙張り, 13 断熱材, and 14 断熱材.

Table with 3 columns: Item Name, Details, and Item No. Includes sections for 工事名称, 図面名称/縮尺, 設計年月日, 設計者, and 発注者.



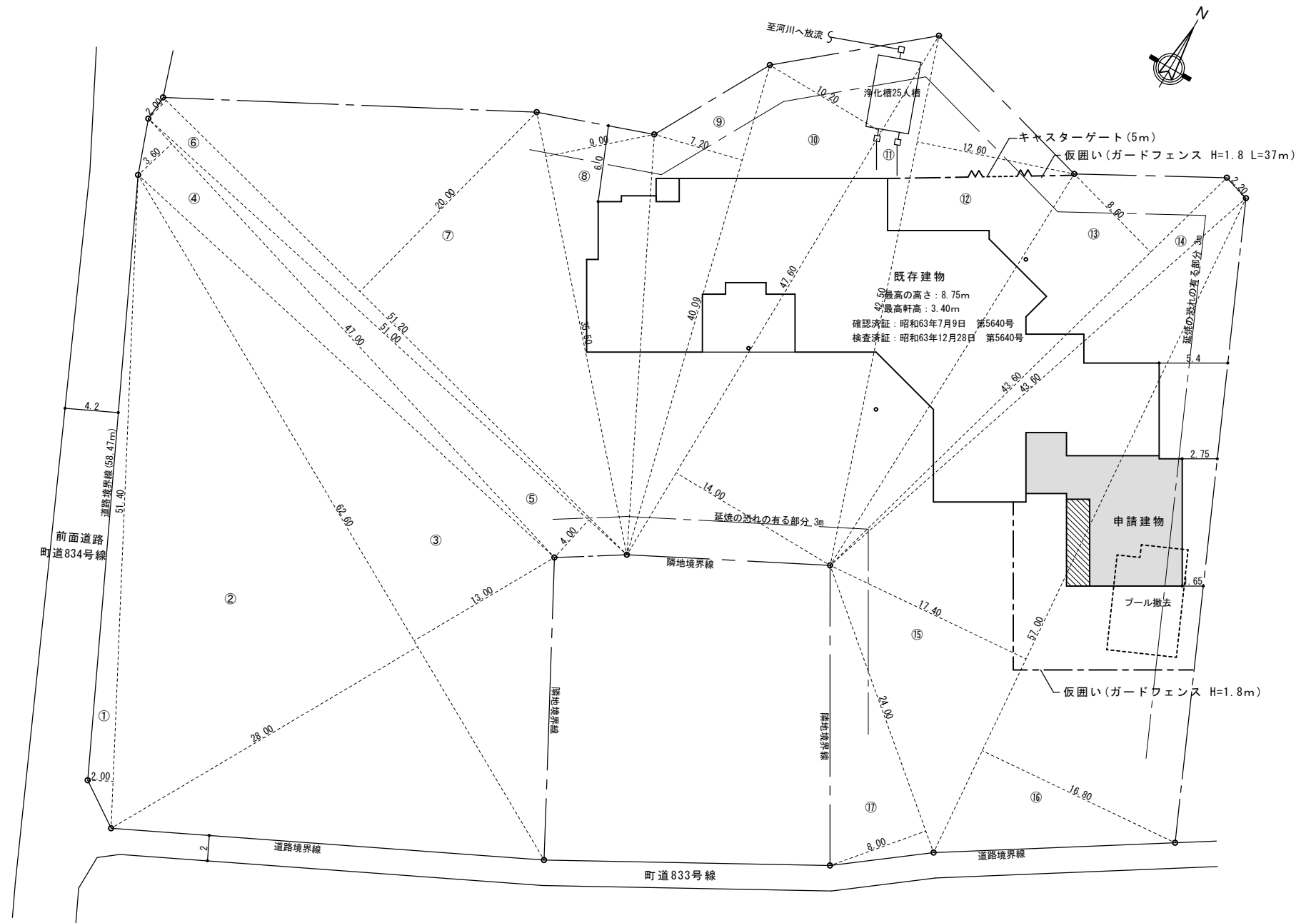


案内図

敷地面積		4,538.42 m <sup>2</sup>
建築面積	既存部分: 573.186 m <sup>2</sup> 申請部分: 102.29 m <sup>2</sup>	675.47 m <sup>2</sup>
延べ床面積	既存部分: 547.829 m <sup>2</sup> 申請部分: 95.67 m <sup>2</sup>	643.49 m <sup>2</sup>
建ぺい率	$\frac{675.47}{4,538.42} \times 100 =$	14.89 %
容積率	$\frac{643.49}{4,538.42} \times 100 =$	14.18 %
用途地域	都市計画区域外	

《申請部分の敷地面積計算》

①	51.40 × 2.00 =	102.8000
②	62.60 × 28.00 =	1,752.8000
③	62.60 × 13.00 =	813.8000
④	47.00 × 3.60 =	169.2000
⑤	51.00 × 4.00 =	204.0000
⑥	51.20 × 2.00 =	102.4000
⑦	51.20 × 20.00 =	1,024.0000
⑧	35.50 × 9.00 =	319.5000
⑨	40.09 × 7.20 =	288.6480
⑩	47.60 × 10.20 =	485.5200
⑪	47.60 × 14.00 =	666.4000
⑫	42.50 × 12.60 =	535.5000
⑬	43.60 × 8.60 =	374.9600
⑭	43.60 × 2.20 =	95.9200
⑮	57.00 × 17.40 =	991.8000
⑯	57.00 × 16.80 =	957.6000
⑰	24.00 × 8.00 =	192.0000
	合計	9,076.8480
	合計 × 1/2	4,538.4240
	地積	4,538.42m <sup>2</sup>



□ 内数値は、平均地盤面からの高さを示す。  
○ 内数値は、前面道路の中心からの高低差を示す。  
県条例第6条に抵触する かげ はありません

配置図 S=1/300

各室の床面積

既存部分

事務室	・ ・ ・	$4.55 \times 6.37 + 0.455 \times 2.73 =$	30.22565	30.23㎡
職員玄関	・ ・ ・	$4.095 \times 2.275 =$	9.316125	9.32㎡
職員便所、押入	・ ・ ・	$4.095 \times 3.185 =$	13.042575	13.04㎡
休憩室	・ ・ ・	$4.095 \times 2.73 =$	11.17935	11.18㎡
押入	・ ・ ・	$2.275 \times 0.91 =$	2.07025	2.07㎡
ほふく乳児室	・ ・ ・	$7.28 \times 9.1 - 1.82 \times 3.64 - 0.91 \times 1.82 \times 2 =$	56.3108	56.31㎡
乳児室便所、物入	・ ・ ・	$1.82 \times 3.64 + 0.91 \times 1.82 \times 2 =$	9.9372	9.94㎡
調乳室	・ ・ ・	$1.82 \times 1.82 =$	3.3124	3.31㎡
物入	・ ・ ・	$0.91 \times 1.82 =$	1.6562	1.66㎡
昇降口1	・ ・ ・	$1.82 \times 3.185 =$	5.7967	5.80㎡
3才児便所	・ ・ ・	$2.73 \times 2.275 =$	6.21075	6.21㎡
3才児保育室	・ ・ ・	$7.28 \times 6.37 - 1.82 \times 2.43 =$	41.951	41.95㎡
物入	・ ・ ・	$1.82 \times 2.43 =$	4.4226	4.42㎡
調理室	・ ・ ・	$4.095 \times 5.46 + 1.82 \times 0.91 \times 2 =$	25.6711	25.67㎡
調理室便所	・ ・ ・	$1.82 \times 0.91 =$	1.6562	1.66㎡
食品庫	・ ・ ・	$2.275 \times 1.82 =$	4.1405	4.14㎡
廊下1	・ ・ ・	$2.275 \times 15.47 =$	35.19425	35.19㎡
遊戯室	・ ・ ・	$2.275 \times 3.64 + 7.28 \times 7.28 \times 1/2 + 2 + 10.295 \times 6.37 + 2.275 \times 6.37 =$	141.3503	141.35㎡
物入	・ ・ ・	$2.275 \times 0.91 =$	2.07025	2.07㎡
倉庫	・ ・ ・	$2.275 \times 4.339 - 1.609 \times 1.609 \times 1/2 =$	8.5767845	8.58㎡
5才児保育室	・ ・ ・	$7.28 \times 7.28 - 2.43 \times 1.82 =$	48.5758	48.58㎡
物入	・ ・ ・	$2.43 \times 1.82 =$	4.4226	4.42㎡
5,4才児便所	・ ・ ・	$2.275 \times 4.55 + 0.91 \times 3.185 =$	13.2496	13.25㎡
4才児保育室	・ ・ ・	$7.28 \times 7.28 - 1.82 \times 2.43 =$	48.5758	48.58㎡
物入	・ ・ ・	$1.82 \times 2.43 =$	4.4226	4.42㎡
廊下2	・ ・ ・	$4.55 \times 3.185 =$	14.49175	14.49㎡

既存床面積の合計 : 547.829135 547.829㎡

増築部分

昇降口2	・ ・ ・	$(2.97 + 1.82) \times 3.185 + 2.97 \times 4.55 + 0.455 \times 1.82 =$	29.59775	29.60㎡
トイレ	・ ・ ・	$2.97 \times 1.215 =$	3.60855	3.61㎡
幼児トイレ	・ ・ ・	$2.97 \times 1.515 + 2.73 \times 1.82 =$	9.46815	9.47㎡
保育室	・ ・ ・	$7.28 \times 7.28 - 2.43 \times 1.82 =$	48.5758	48.58㎡
物入	・ ・ ・	$2.43 \times 1.82 =$	4.4226	4.42㎡

増築床面積の合計 : 95.672850 95.67㎡

延べ床面積 : 547.829㎡ + 95.67㎡ = 643.499 643.49㎡

建築面積求積表

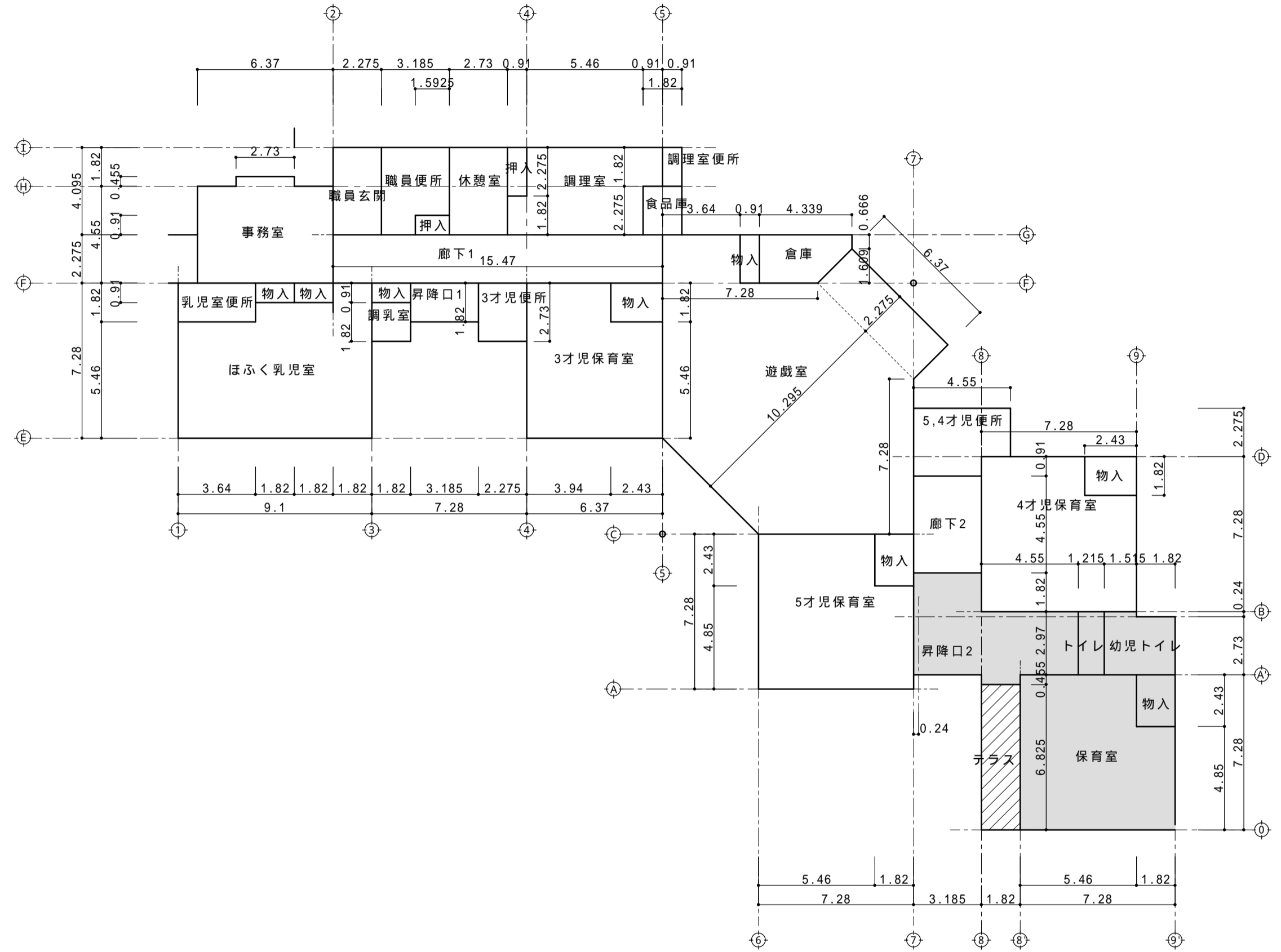
既存部分

建築面積 = 573.186㎡

増築部分

建築面積 = 増築床面積 -  $1.82 \times 3.185$  + テラス  
 =  $95.67285 - 1.82 \times 3.185 + 6.825 \times 1.82$   
 = 102.29765 102.29㎡

建築面積 : 573.186㎡ + 102.29㎡ = 675.476 675.47㎡



求積図 S=1/200

特記事項

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

一級建築士事務所  
**建築設計 大高**  
 栃木県那須郡那須町寺子乙3938-95 TEL0287-72-6372 FAX0287-72-7263

栃木県知事登録 A 八 第2617号

大臣登録第200584号

一級建築士 大高 智

工事名称

伊王野保育園保育室増築工事

図面名称

求積図

縮尺

S = 1/200

図面番号

A - 07

設計概要

工事名	伊王野保育園保育室増築工事	用途	児童福祉施設(保育所)
工事種別	増築	建築場所	那須郡那須町大字伊王野1593-2
敷地面積	4,538.42 m <sup>2</sup>	用途地域	都市計画区域外
構造	木造平屋建て在来工法	最高の高さ	8.75 m
基礎	鉄筋コンクリート造布基礎,増築部分:べた基礎	最高の軒高	3.40 m
		その他	

面積表

階別	用途	既存部分	増築部分	合計	備考	建築面積	延べ床面積
1	保育所	547.829 m <sup>2</sup>	95.67 m <sup>2</sup>	643.49 m <sup>2</sup>		申請部分 102.29 m <sup>2</sup>	95.67 m <sup>2</sup>
						申請以外部分 573.186 m <sup>2</sup>	547.829 m <sup>2</sup>
						合計 675.47 m <sup>2</sup>	643.49 m <sup>2</sup>
合計		547.829 m <sup>2</sup>	95.67 m <sup>2</sup>	643.49 m <sup>2</sup>		その他	

外部仕上表	既存部分	増築部分	建具	断熱材	その他
屋根	アスファルトシングル葺き 野地ベニヤ(7)12	カラーガルバニウム(7)0.4タテハゼ葺き アスファルトルーフィング940 野地ベニヤ(7)12		カラーアルミサッシ (網戸付)	カラーアルミサッシ (網戸付) 開口部廻り:ポリウレタン系コーキング
軒天	シナベニヤ(7)5 CL 一部有孔シナベニヤ CL	軽天下地けい酸カルシウム板張り(7)5 目透し 一部有孔けい酸カルシウム板張り(7)5 EP塗り		床:グラスウール(7)25 24kg/m <sup>3</sup> 外壁:グラスウール(7)50 24kg/m <sup>3</sup> 天井裏:グラスウール(7)50 24kg/m <sup>3</sup>	床:ポリスチレンフォーム(7)45(フクフォーム程度) 外壁:グラスウール10K(7)100 天井裏:グラスウール10K(7)100
破風	木製 OP塗り	カラーガルバニウム鋼板(7)0.35加工			
外壁	ラムダサイディングR25張り アクリルエナメル吹付 ラスモルタル塗り リシン吹付 一部3床*ド(7)9下地モルタル塗り 複層塗材E-防水形仕上	防火サイディング張り(7)16 (PC030BE-9201) 防水透湿シート下地		軒樋:カラー塩ビ角樋 縦樋:VU75 OP塗り	軒樋:カラー塩ビ角105型 縦樋:カラー塩ビ60 ,VU100 内樋:カラーガルバニウム鋼板(7)0.4加工 笠木:カラーガルバニウム鋼板(7)0.4加工 テラス床:ゴ`ムツツ+`+`樹脂仕上 足洗場,水呑み
ポーチ	コンクリート金ごて仕上 一部50角タイル貼	コンクリート金ごて仕上			

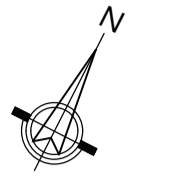
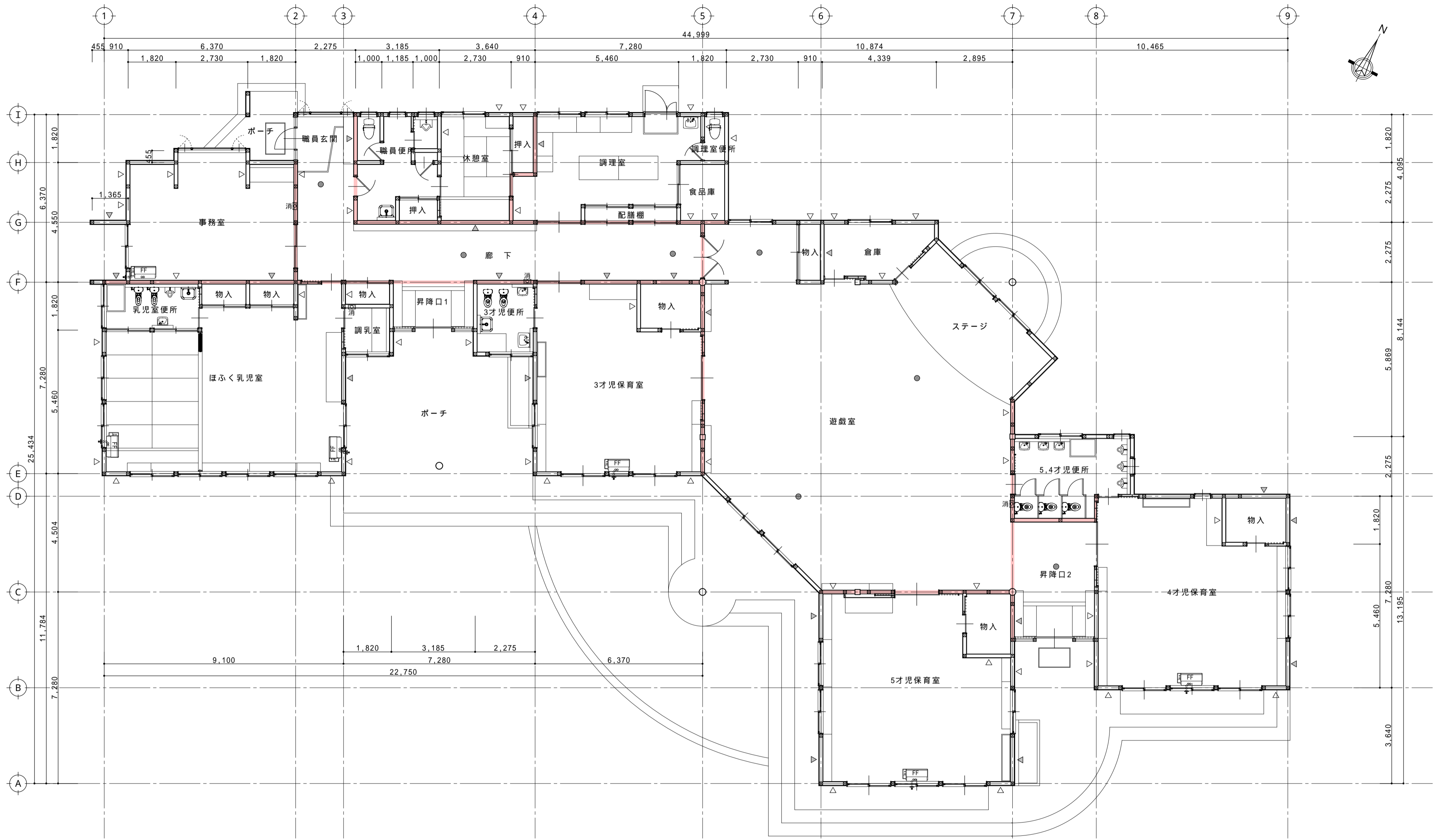
内部仕上表

室名	床	床高	巾木	壁	天井	天井廻り縁	天井高	備考
職員玄関	土間:50角タイル ベニヤT1(7)12下地桧縁甲板(7)15張り ポリウレタン塗り	+400 +592	50角タイルH300 桧60×24 LC	P B (7)12 EP 一部2重張り	P B (7)9張り EP	塩ビ製	2,500	下駄箱
事務室	ベニヤT1(7)12下地桧縁甲板(7)15張り ポリウレタン塗り	+592	桧60×24 LC	腰:杉縁甲板(7)15 H1,200 CL P B (7)12 EP 一部2重張り	P B (7)9張り EP	塩ビ製	2,500	
休憩室	ベニヤT1(7)12下地タタミ敷 ベニヤT1(7)12下地桧縁甲板張り	+622	雑巾摺り	P B (7)12下地 ビニールクロス貼り 一部2重張り	P B (7)9下地 ビニールクロス貼り	木製	2,500	ロッカー
職員便所	モルタル金ゴテ(7)30下地ACフロアー(7)2.8貼	+542	ソフト巾木75	ラスモルタル APエナメル	フレキシブルボード(7)4 目透し EP	塩ビ製	2,300	
洗濯機置場	モルタル金ゴテ(7)30下地ACフロアー(7)2.8貼	+542	ソフト巾木75	ラスモルタル APエナメル	フレキシブルボード(7)4 目透し EP	塩ビ製	2,500	
押入	ラウンベニヤ(7)12	+622	雑巾摺り	P B (7)12 一部2重張り	P B (7)9張り EP	木製	2,500	
掃除用具入	ラウンベニヤ(7)12	+592	雑巾摺り	P B (7)12 EP	P B (7)9張り EP	木製	1,800	
調理室	ベニヤT1(7)12 2重張り下地ACフロアー(7)2.8貼	+592	ソフト巾木75	リプラスモルタル金ゴテ APエナメル	フレキシブルボード(7)4 目透し EP	塩ビ製	2,500	配膳棚
調理室便所	モルタル金ゴテ(7)30下地ACフロアー(7)2.8貼	+542	ソフト巾木75	リプラスモルタル金ゴテ APエナメル	フレキシブルボード(7)4 目透し EP	塩ビ製	2,300	
食品庫	ベニヤT1(7)12 2重張り下地ACフロアー(7)2.8貼	+592	ソフト巾木75	P B (7)12 EP 一部2重張り	P B (7)9張り EP	塩ビ製	2,500	棚
廊下1	ベニヤT1(7)12下地桧縁甲板(7)15張り ポリウレタン塗り	+592	桧60×24 LC	P B (7)12 EP 一部2重張り	P B (7)9張り EP	塩ビ製		
昇降口1	土間:50角タイル ベニヤT1(7)12下地桧縁甲板(7)15張り ポリウレタン塗り	+450	50角タイルH300 桧60×24 LC	P B (7)12 EP 一部2重張り	P B (7)9張り EP	塩ビ製	2,500	下駄箱
ほふく乳児室	ベニヤT1(7)12下地桧縁甲板(7)15張り ポリウレタン塗り ベニヤT1(7)12下地タタミ敷	+592	桧60×24 LC	腰:杉縁甲板(7)15 H1,200 CL P B (7)12 EP 一部2重張り	P B (7)9張り EP	塩ビ製	2,500	
調乳室	ベニヤT1(7)12 2重張り下地ACフロアー(7)2.8貼	+592	ソフト巾木75	リプラスモルタル金ゴテ APエナメル	フレキシブルボード(7)4 目透し EP	塩ビ製	2,500	
乳児室便所	モルタル木ゴテ下地モザイクタイル貼	+542		腰:モザイクタイル貼 H1,200 リプラスモルタル金ゴテ APエナメル	フレキシブルボード(7)4 目透し EP	塩ビ製	2,300	
3才児保育室	ベニヤT1(7)12下地桧縁甲板(7)15張り ポリウレタン塗り	+592	桧60×24 LC	腰:杉縁甲板(7)15 H1,200 CL P B (7)12 EP 一部2重張り	P B (7)9張り EP	塩ビ製	2,500	
3才児便所	モルタル木ゴテ下地モザイクタイル貼	+542		腰:モザイクタイル貼 H1,200 リプラスモルタル金ゴテ APエナメル	フレキシブルボード(7)4 目透し EP	塩ビ製	2,300	
4才児保育室	ベニヤT1(7)12下地桧縁甲板(7)15張り ポリウレタン塗り	+592	桧60×24 LC	腰:杉縁甲板(7)15 H1,200 CL P B (7)12 EP 一部2重張り	P B (7)9張り EP	塩ビ製	2,500	
5才児保育室	ベニヤT1(7)12下地桧縁甲板(7)15張り ポリウレタン塗り	+592	桧60×24 LC	腰:杉縁甲板(7)15 H1,200 CL P B (7)12 EP 一部2重張り	P B (7)9張り EP	塩ビ製	2,500	
5,4才児便所	モルタル木ゴテ下地モザイクタイル貼	+542		腰:モザイクタイル貼 H1,200 リプラスモルタル金ゴテ APエナメル	フレキシブルボード(7)4 目透し EP	塩ビ製	2,300	
遊戯室	ベニヤT1(7)12下地桧縁甲板(7)15張り ポリウレタン塗り	+592	桧60×24 LC	P B (7)12 EP 一部2重張り	P B (7)9張り EP	塩ビ製		
倉庫	ベニヤT1(7)12 2重張り下地ACフロアー(7)2.8貼	+592	桧60×24 LC	P B (7)12 EP	P B (7)9張り EP	塩ビ製	2,300	
物入	ベニヤT1(7)12 2重張り下地長尺塩ビシート(7)2.8貼	+592	桧60×24 LC	P B (7)12 EP	P B (7)9張り EP	木製	2,500	棚
廊下2	ベニヤT1(7)12下地桧縁甲板(7)15張り ポリウレタン塗り 一部ベニヤT1(7)12下地フローリング(サクラ)(7)15張り 2-UC4回塗り	+592	桧60×24 LC 杉60×25 OSUC塗り	P B (7)12 EP 一部PB2重張り	軽天下地 化粧P B (7)9.5張り替え(ジブトーン程度)	塩ビ製		
昇降口2	土間:コンクリート金ごて押え ベニヤT1(7)12下地 フローリング(サクラ)(7)15張り 2-UC4回塗り	+580 +592	杉60×25 OSUC塗り	P B (7)12.5 EP 一部PB2重張り	軽天下地 化粧P B (7)9.5張り(ジブトーン程度)	塩ビ製	2,500	下駄箱,ステンレススリッパ W35
保育室	ベニヤT1(7)12下地 フローリング(サクラ)(7)15張り 2-UC4回塗り	+592	杉75×25 OSUC塗り	腰:杉板(7)12上小節本実OSUC塗り H900 P B (7)12.5下地ビニールクロス貼 一部PB2重張り	軽天下地 化粧P B (7)9.5張り(ジブトーン程度)	塩ビ製	2,500	掃除用具入,ロッカー,物入,資料棚
物入	ベニヤT1(7)12 2重張り下地長尺塩ビシート(7)2.5貼	+592	杉75×25 OSUC塗り	P B (7)12.5 EP	軽天下地 化粧P B (7)9.5張り(ジブトーン程度)	塩ビ製	2,500	棚 床下点検口(アルミ枠)450角
幼児トイレ	モルタル金ゴテ下地長尺塩ビシート(7)2.5貼	+592 +542	ソフト巾木75	P B (7)12.5下地化粧ケイカル板(7)6張り	軽天下地 化粧P B (7)9.5張り(ジブトーン程度)	塩ビ製	2,400	ラインク:ポストフォームTPA120947 ステンレススリッパ W35
トイレ	ベニヤT1(7)12 2重張り下地長尺塩ビシート(7)2.5貼	+592	ソフト巾木75	P B (7)12.5下地化粧ケイカル板(7)6張り 一部PB2重張り	軽天下地 化粧P B (7)9.5張り(ジブトーン程度)	塩ビ製	2,400	棚(杉250×(7)25)

特記事項

P. B (7)12.5(NM - 8619) P. B (7)9.5(QM - 9828)  
 ビニールクロス(防火種別2-1~5) 化粧P. B (7)9.5(QM - 9824)  
 フレキシブルボード(NM - 8576) 化粧ケイカル板(7)6(NM - 3604)  
 ロックウール吸音板(NM - 8599) けい酸カルシウム板(NM - 8576)

特記事項	一級建築士事務所 H1604 B1 G 建築設計 大高 栃木県那須郡那須町寺乙3938-95 TEL0287-72-6372 FAX0287-72-7263	栃木県知事登録 A 八 第2617号 大臣登録第200584号 一級建築士 大高 智	工事名称 伊王野保育園保育室増築工事	図面名称 仕上表	縮尺 N.S	図面番号 A - 08
------	---	--	-----------------------	-------------	-----------	----------------



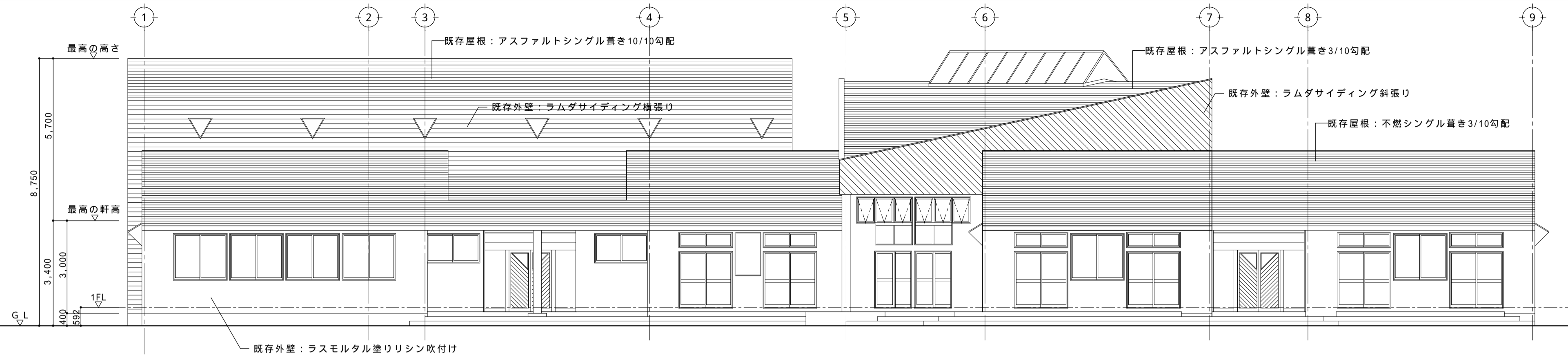
工事名称	伊野保育園保育室増築工事	
図面名称/縮尺	既存平面図 (S = 1/100)	図面番号
設計年月日	平成30年10月10日	A - 09
設計者	一級建築士(第200584号) 大高 智	
発注者	那須町こども未来課	

特記事項  
 △ 筋違い 120×120(シングル) △ 筋違い 120×120(ダブル)  
 □ 管柱 120×120  
 消 粉末10型3.0kg消火器を示す  
 カーテン等は防炎物品とする

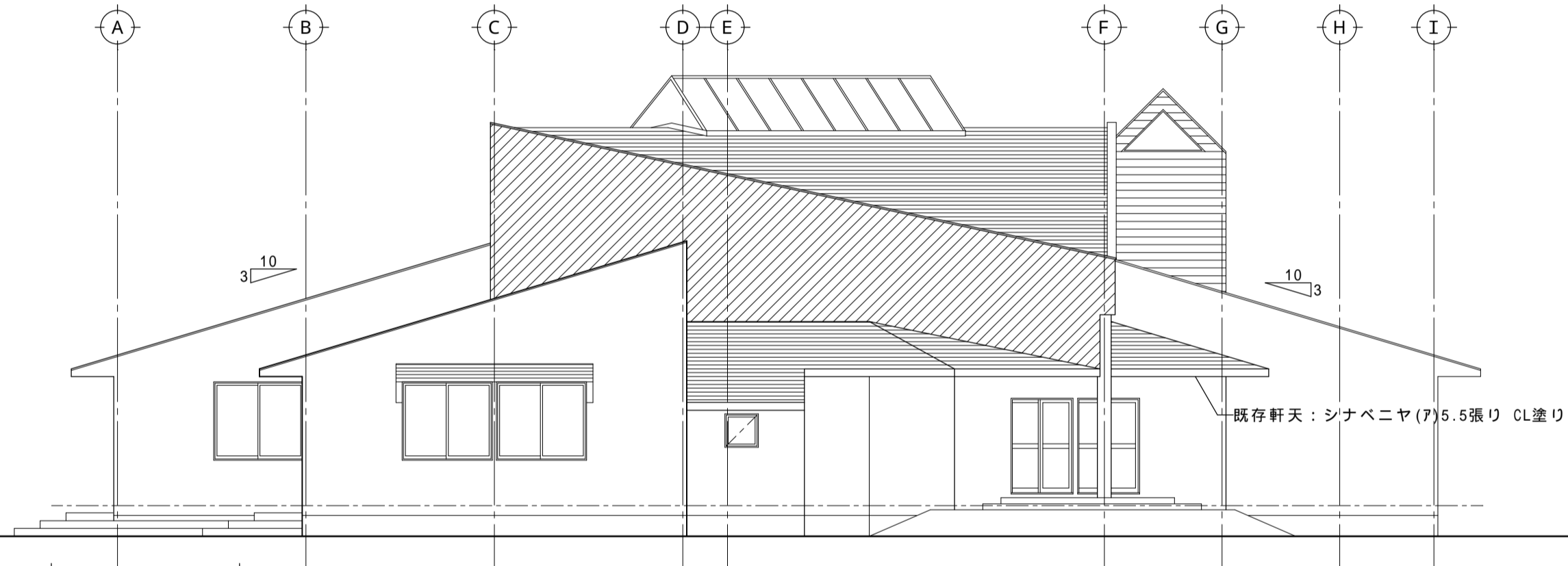
4,504      7,280      3,185      7,280  
 22,249

建令114条区画：木軸組下地両面P8(7)12.5+(7)12.5 2重張り (告示第1358号)  
 防火区画を貫通する配管設備については、  
 隙間を耐火シールで埋め、両側1m以上不燃材とする

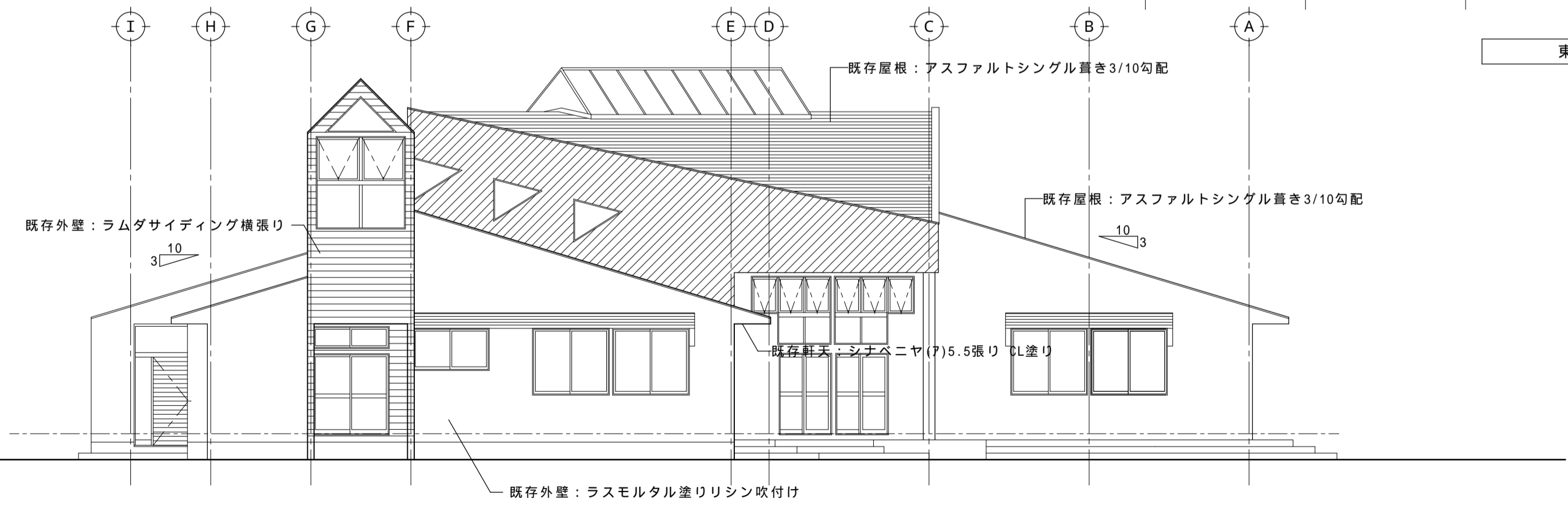
平面図 S = 1 / 100



南側立面図 S=1/100

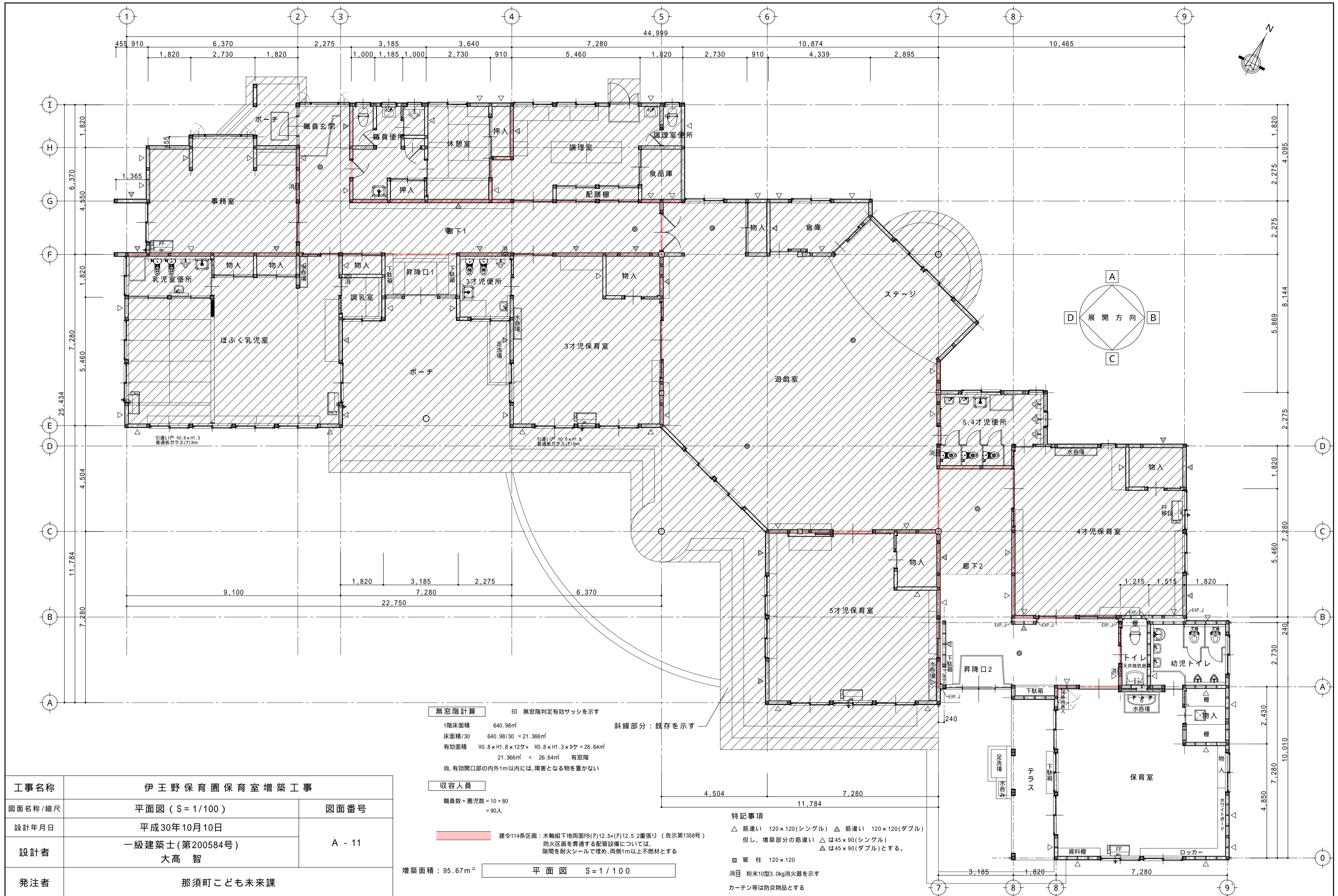


東側立面図 S=1/100



西側立面図 S=1/100

特記事項	一級建築士事務所 H1604181 G 建築設計 大高 栃木県那須郡那須町寺子乙3938-95	栃木県知事登録 A八 第2617号 大臣登録第200584号 一級建築士 大高 智 TEL0287-72-6372 FAX0287-72-7263	工事名称 伊王野保育園保育室増築工事	図面名称 既存立面図	縮尺 S=1/100	図面番号 A-10



**無窓階計算** 印 無窓階判定有効サッシを示す  
 1階床面積 640.98㎡  
 床面積/30 640.98/30 = 21.366㎡  
 有効面積 W0.8×H1.8×12ヶ+ W0.8×H1.3×9ヶ=26.64㎡  
 21.366㎡ < 26.64㎡ 有窓階  
 尚、有効開口部の内外1m以内には、障害となる物を置かない

斜線部分：既存を示す

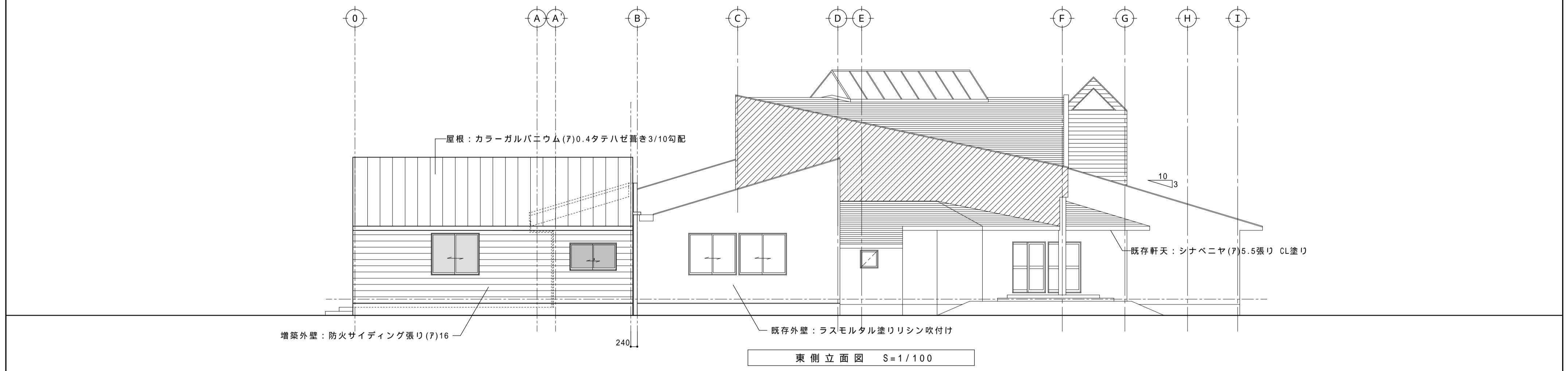
**収容人員**  
 職員数+園児数=10+80  
 =90人

建令114条区画：木軸組下地両面P(7)12.5+(7)12.5 2重張り (告示第1358号)  
 防火区画を貫通する配管設備については、  
 隙間を耐火シールで埋め、両側1m以上不燃材とする

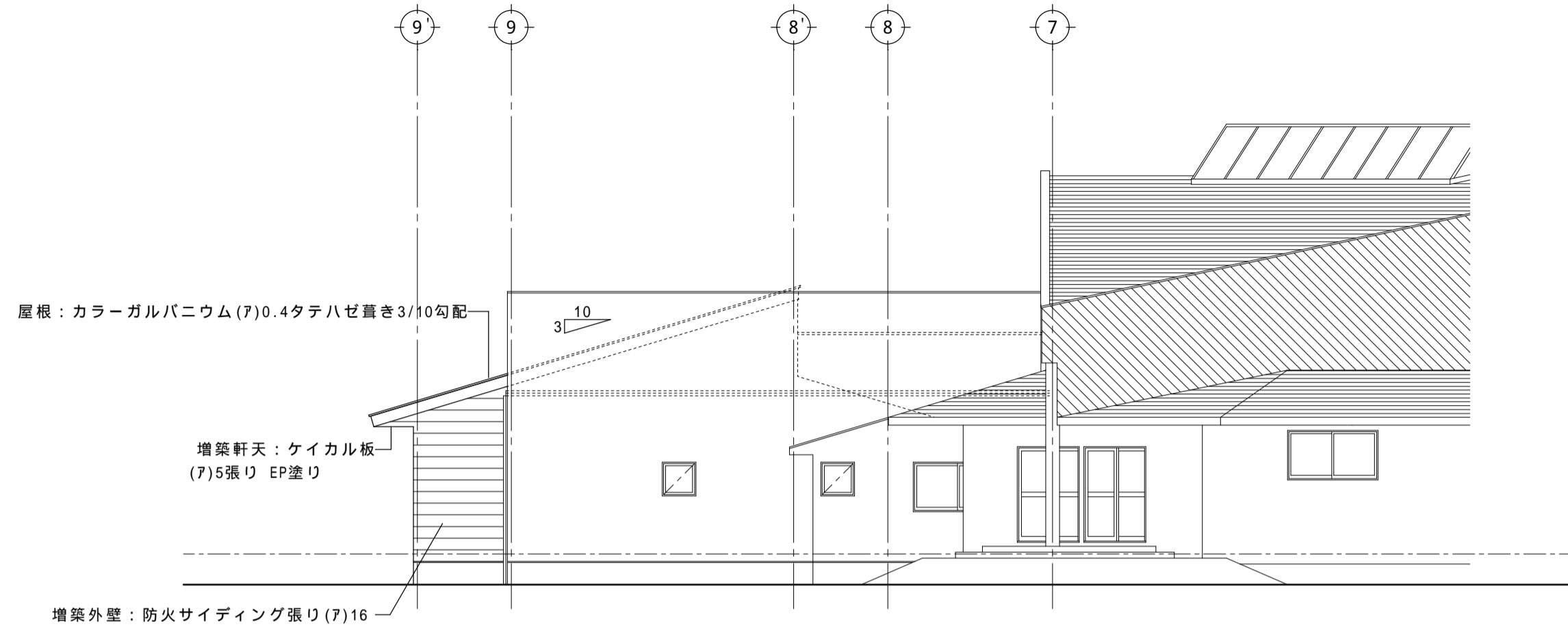
増築面積：95.67㎡ **平面図 S=1/100**

**特記事項**  
 △ 筋違い 120×120(シングル) ▲ 筋違い 120×120(ダブル)  
 但し、増築部分の筋違い △ は45×90(シングル)  
 ▲ は45×90(ダブル)とする。  
 □ 管柱 120×120  
 消火 粉末10型3.0kg消火器を示す  
 カーテン等は防災物品とする

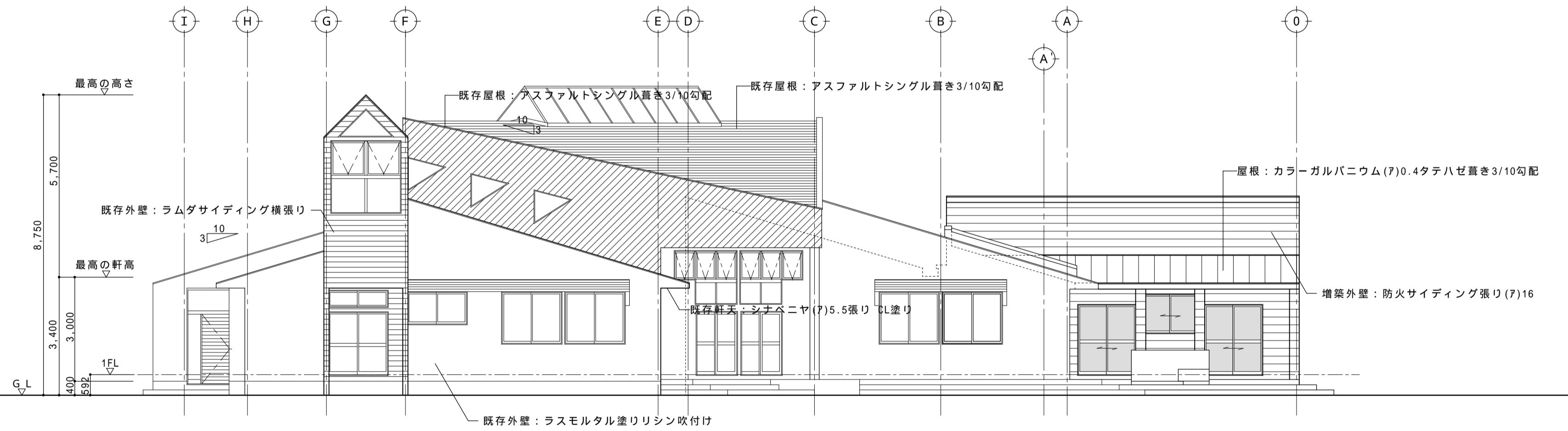
工事名称	伊王野保育園保育室増築工事	
図面名称/縮尺	平面図 (S=1/100)	図面番号
設計年月日	平成30年10月10日	A - 11
設計者	一級建築士(第200584号) 大高 智	
発注者	那須町こども未来課	



特記事項	一級建築士事務所 <b>建築設計 大高</b> 栃木県那須郡那須町寺子乙3938-95 TEL0287-72-6372 FAX0287-72-7263	栃木県知事登録 A八 第2617号 大臣登録第200584号 一級建築士 大高 智	工事名称	図面名称	縮尺	図面番号
			伊王野保育園保育室増築工事	増築立面図 1	S=1/100	A-12



北側立面図 S=1/100



西側立面図 S=1/100

特記事項

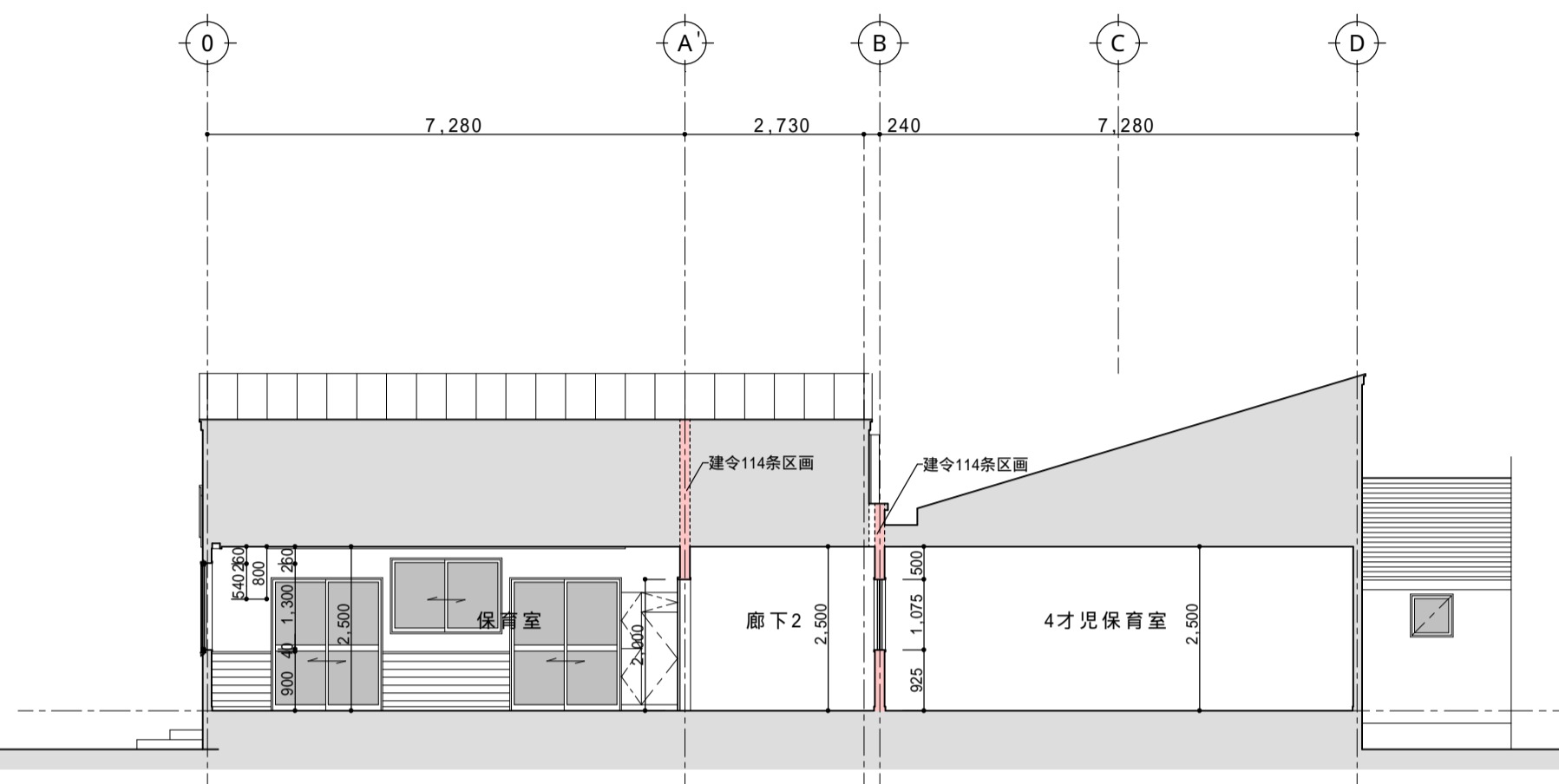
一級建築士事務所  
**建築設計 大高**  
 栃木県那須郡那須町寺子乙3938-95 TEL0287-72-6372 FAX0287-72-7263

工事名称  
**伊王野保育園保育室増築工事**

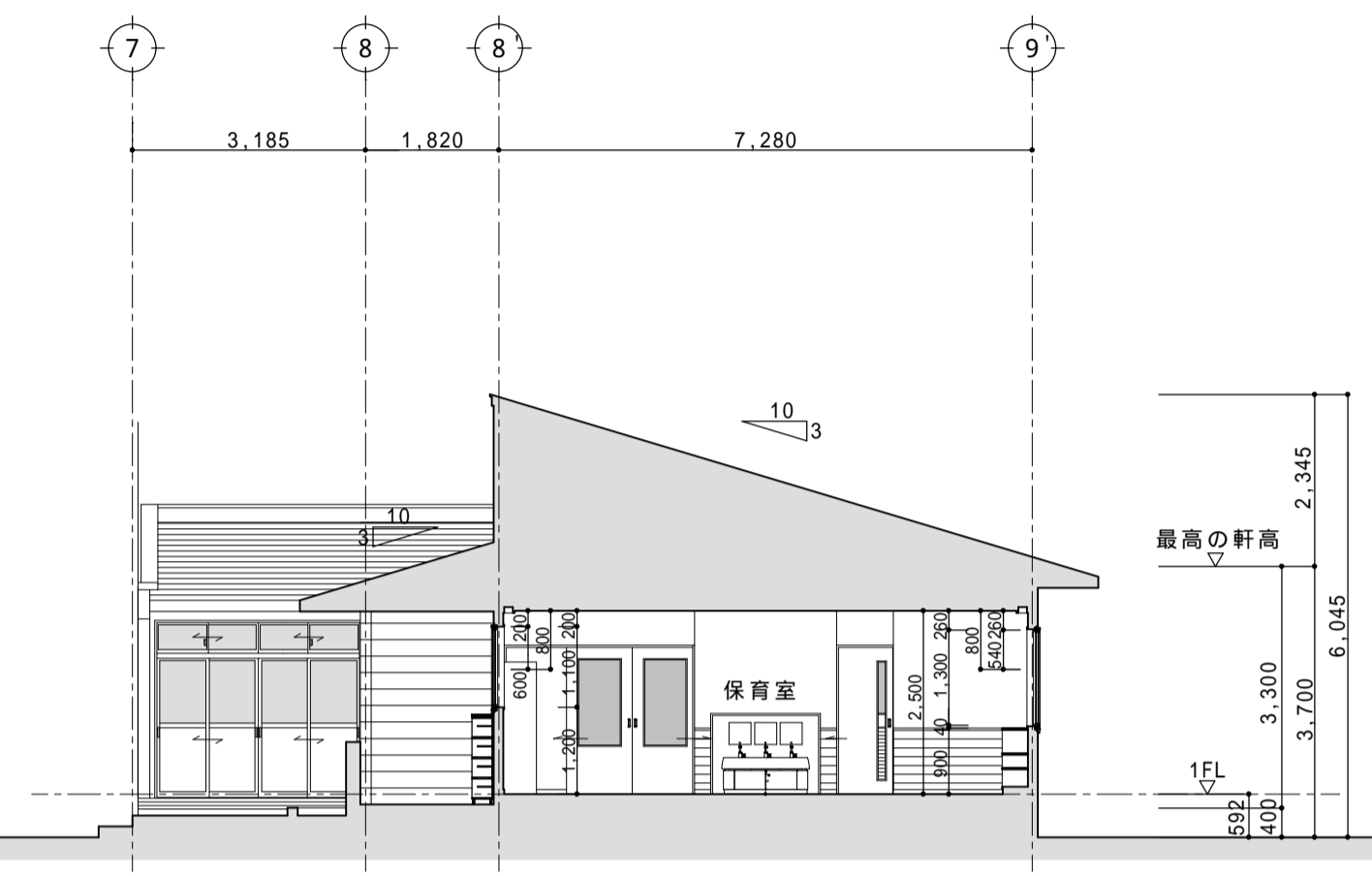
図面名称  
**増築立面図 2**

縮尺  
 S=1/100

図面番号  
 A-13



南 - 北側断面図 S=1/100



西 - 東側断面図 S=1/100

排煙チェック

室名	床面積 m <sup>2</sup>	必要排煙面積 (1/50) m <sup>2</sup>	有効排煙面積 m <sup>2</sup>	判定
保育室	48.58	0.97	W1.65 × H0.3 × 1/2 × 27 + W1.65 × H0.6 × 1/2 + W1.65 × H0.54 × 1/2 × 37 = 2.112 AD-2, AW-1, 2	○ K
4才児保育室	48.58	0.97	W1.65 × H0.665 × 1/2 × 27 = 1.097	○ K

換気チェック

室名	床面積 m <sup>2</sup>	必要換気面積 (1/20) m <sup>2</sup>	有効換気面積 m <sup>2</sup>	判定
保育室	48.58	2.43	W1.65 × H2.0 × 1/2 × 27 + W1.65 × H1.1 × 1/2 = 4.20 AD-2, AW-2	○ K
4才児保育室	48.58	2.43	W1.65 × H1.465 × 1/2 × 27 + W0.6 × H0.6 = 2.77	○ K

採光チェック

室名	床面積 m <sup>2</sup>	必要採光面積 (1/5) m <sup>2</sup>	有効採光面積 m <sup>2</sup>	判定
保育室	48.58	9.72	採光補正係数 A = 3 W1.65 × H1.3 × 37 × 3 = 19.30 AW-1	○ K
4才児保育室	48.58	9.72	採光補正係数 A = 3 W1.65 × H1.465 × 27 × 3 = 14.50	○ K

特記事項

一級建築士事務所 栃木県知事登録 A 八 第2617号  
**建築設計 大高** 大臣登録第200584号  
 一級建築士 大高 智  
 栃木県那須郡那須町寺子乙3938-95 TEL0287-72-6372 FAX0287-72-7263

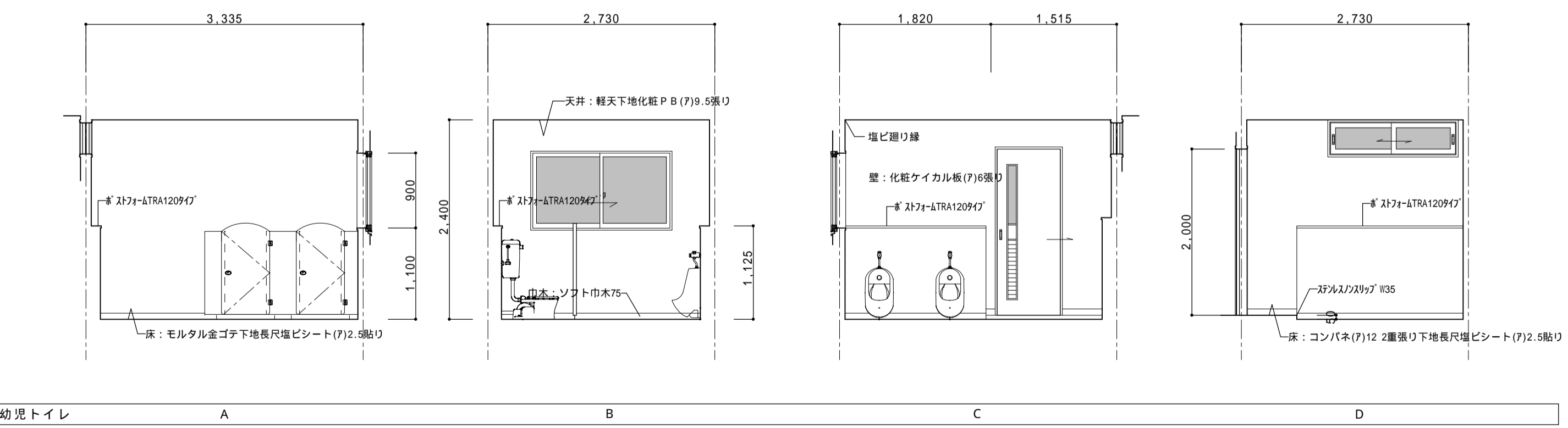
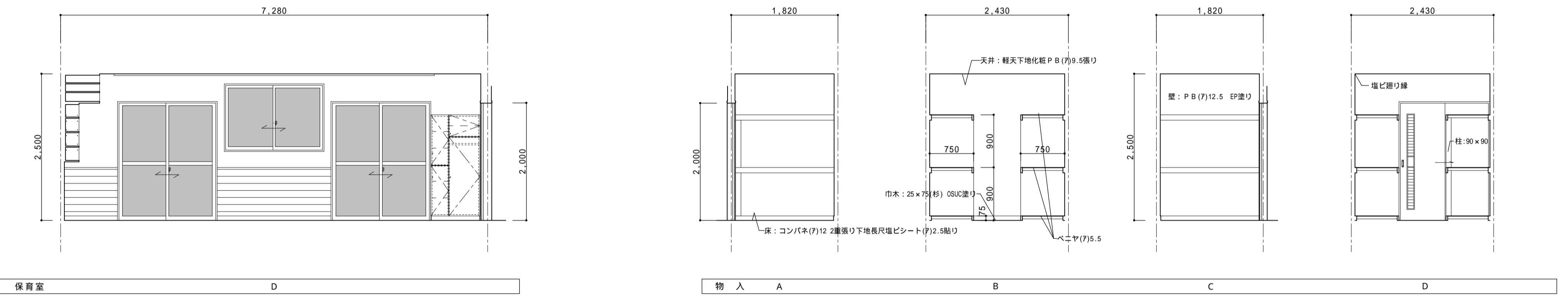
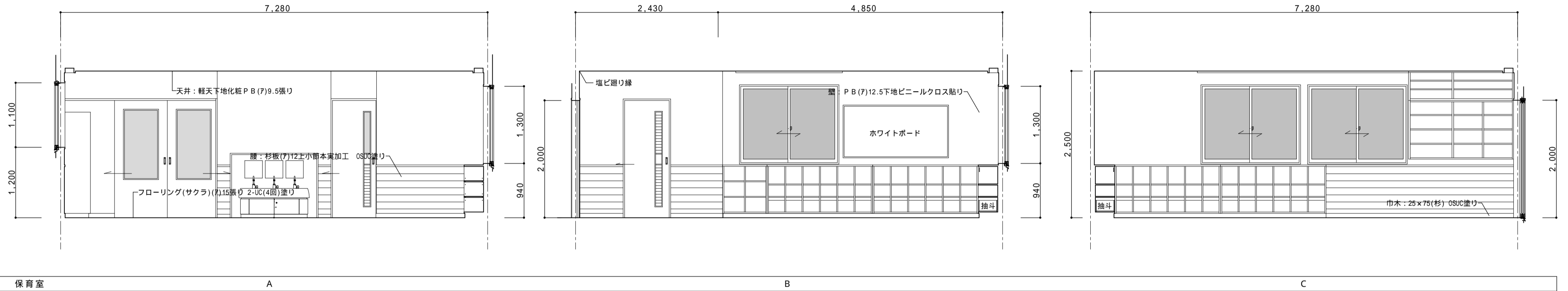
工事名称  
伊王野保育園保育室増築工事

図面名称  
増築断面図

縮尺  
S = 1/100

図面番号  
A - 14

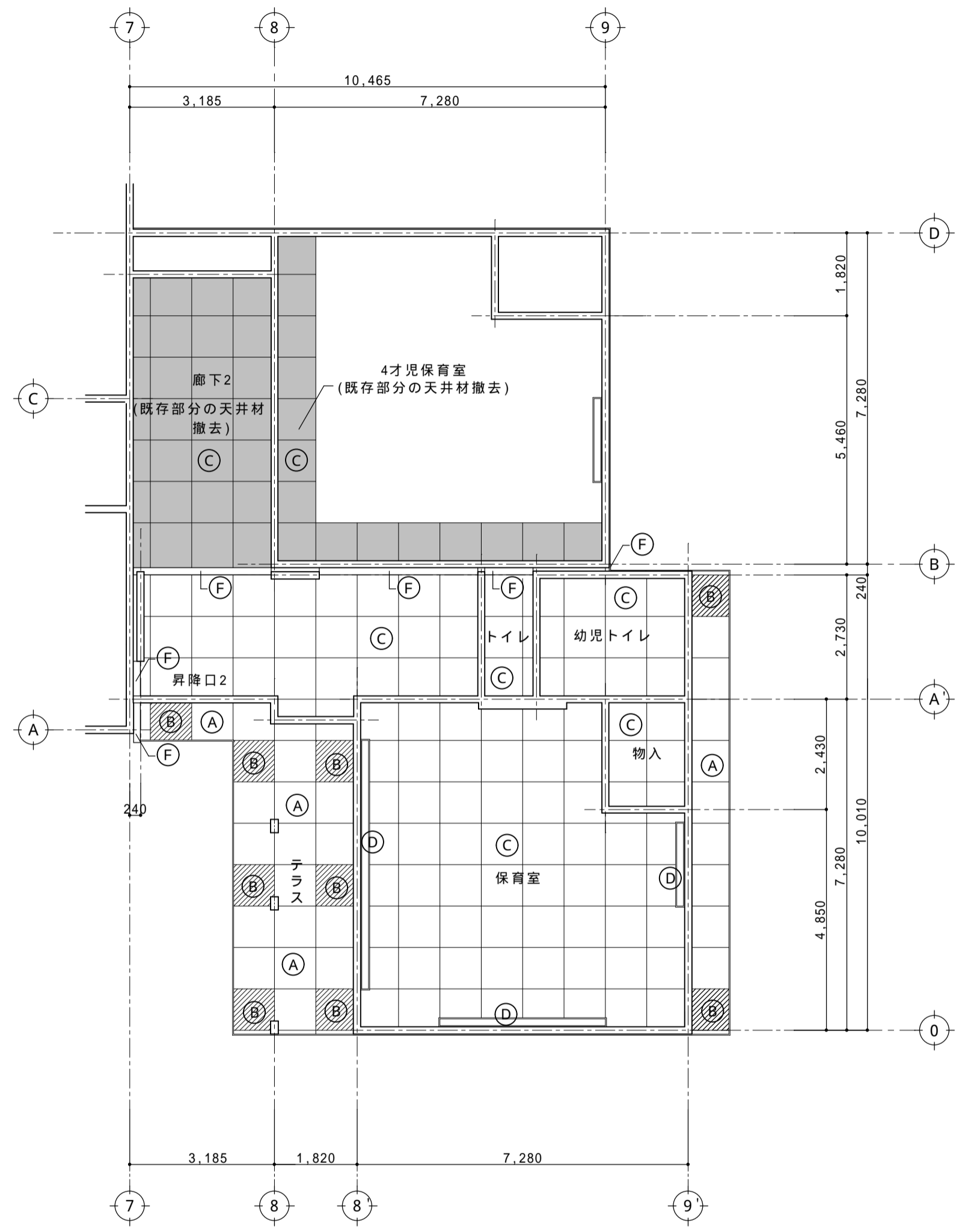




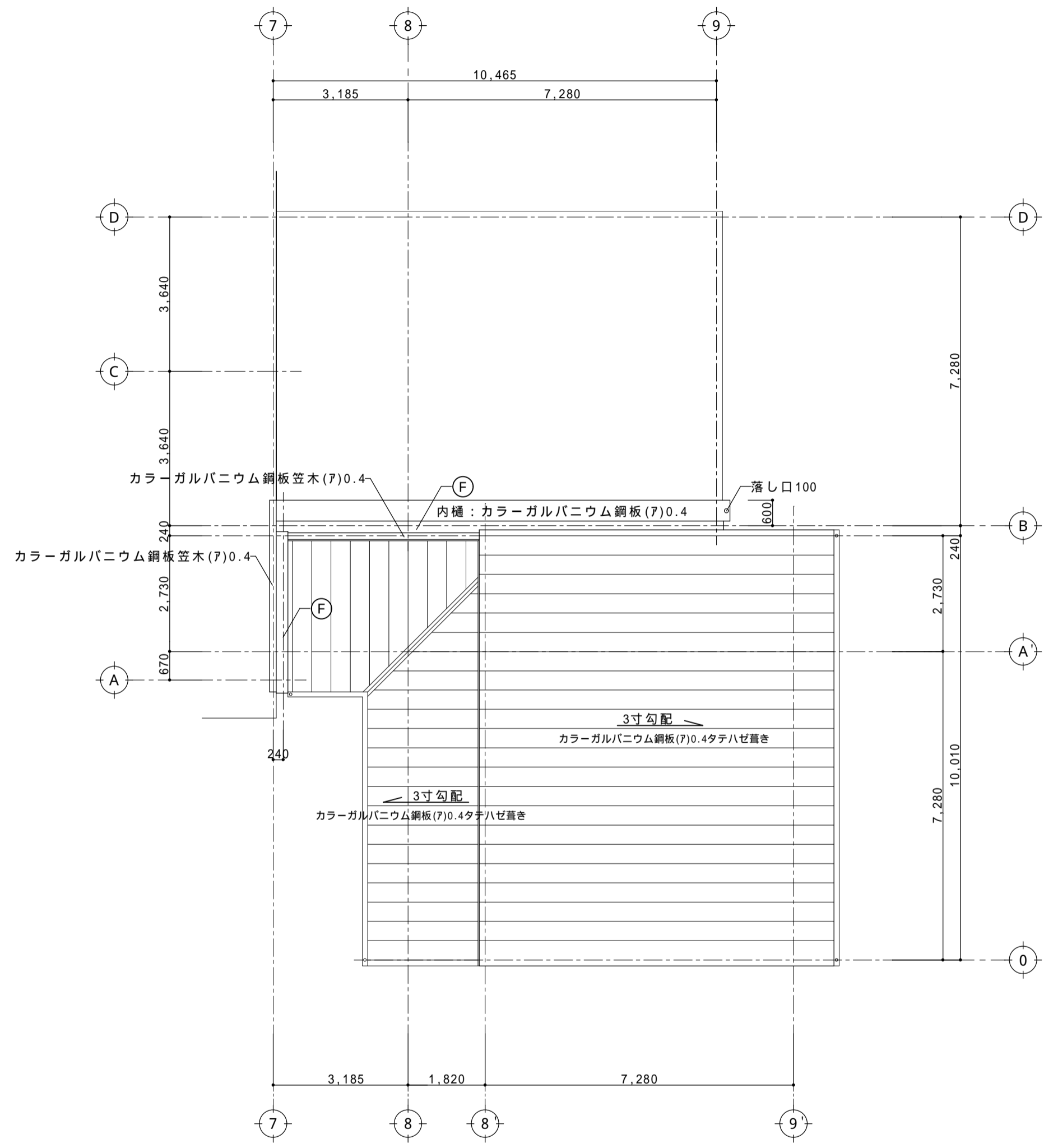
展開図 1 S=1/50

特記事項	一級建築士事務所 <b>建築設計 大高</b> 栃木県那須郡那須町寺子乙3938-95	栃木県知事登録 A 八 第2617号 大臣登録第200584号 一級建築士 大高 智 TEL0287-72-6372 FAX0287-72-7263	工事名称 <b>伊王野保育園保育室増築工事</b>	図面名称 <b>展開図 1</b>	縮尺 <b>S = 1/50</b>	図面番号 <b>A - 16</b>
------	---	---	------------------------------	----------------------	-----------------------	-----------------------





天井伏図 S=1/100



屋根伏図 S=1/100

記号	仕上
(A)	軽天下地けい酸カルシウム板(7)5目透し張り EP塗り
(B)	軽天下地有孔けい酸カルシウム板(7)5目透し張り EP塗り
(C)	軽天下地化粧P B (7)9.5×910×910
(D)	カーテンBOX(杉)(7)25 OSUC塗り Wカーテンレール
(E)	天井点検口450角 アルミ枠 3箇所 現場打合せによる
(F)	アルミEX.P.Jカバー

特記事項

一級建築士事務所  
**建築設計 大高**  
 栃木県那須郡那須町寺子乙3938-95 TEL0287-72-6372 FAX0287-72-7263

栃木県知事登録 A八 第2617号  
 大臣登録第200584号  
 一級建築士 大高 智

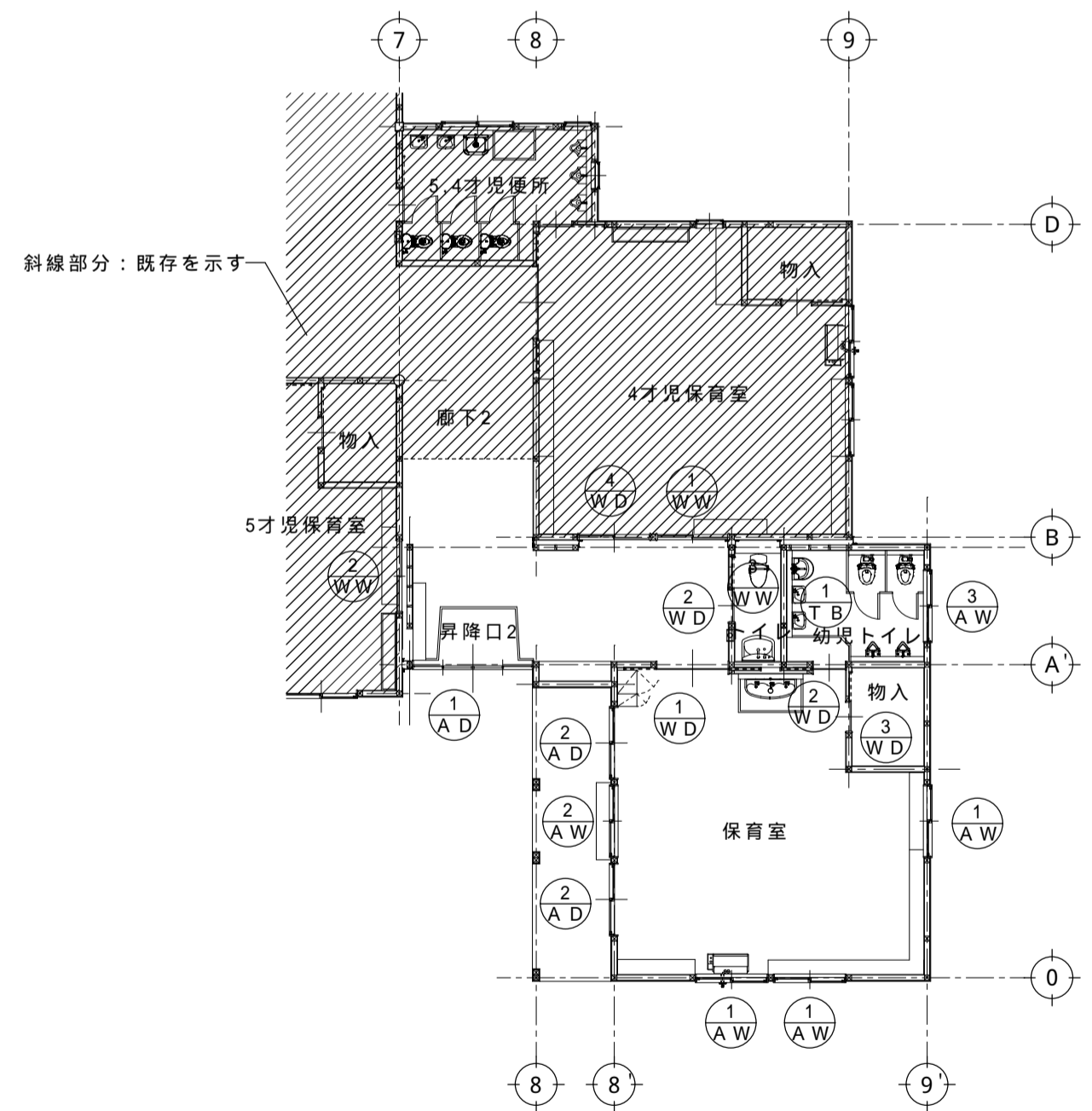
工事名称	伊王野保育園保育室増築工事
図面名称	天井伏図, 屋根伏図
縮尺	S=1/100
図面番号	A-18

記号	数量	場所	1 A D	1	昇降口2	2 A D	2	保育室	1 A W	3	保育室	2 A W	1	保育室	3 A W	1	幼児トイレ			
形状・寸法																				
名称	半外付4枚ランマ付引き違い戸					半外付引き違い戸					半外付引き違い窓					半外付引き違い窓				
材質	アルミ製 カラー					アルミ製 カラー					アルミ製 カラー					アルミ製 カラー				
金物	付属金物一式					付属金物一式					付属金物一式					付属金物一式				
硝子	透明ペアガラス(7)3					透明ペアガラス(7)3 腰:外部透明ガラス(7)3,内部強化ガラス(7)5					透明ペアガラス(7)3					透明ペアガラス(7)3				
備考	見込 腰アルミパネル 網戸付 70					見込 網戸付 70					見込 網戸付 70					見込 網戸付 70				

記号	数量	場所	1 W D	1	保育室	2 W D	2	幼児保育室トイレ、トイレ	3 W D	1	物入	4 W D	1	4才児保育室						
形状・寸法																				
名称	両引分けフラッシュ戸					片引きフラッシュ戸					片引きフラッシュ戸					引違いフラッシュ戸				
材質	耐摩耗化粧合板					耐摩耗化粧合板					耐摩耗化粧合板					耐摩耗化粧合板				
金物	引手,フラッターレール,戸車					引手,フラッターレール,戸車,鍵付(トイレ)					引手,フラッターレール,戸車					引手,フラッターレール,戸車				
硝子	強化ガラス(7)5					透明カットガラス(7)3(幼児トイレ) 型板カットガラス(7)4(トイレ)					強化ガラス(7)5					強化ガラス(7)5				
備考	見込 W型ステンレール 指挟み防止付 33					見込 W型ステンレール 指挟み防止付 33					見込 W型ステンレール 指挟み防止付 33					見込 W型ステンレール 指挟み防止付 33				

記号	数量	場所	1 W W	1	4才児保育室	2 W W	1	5才児保育室	3 W W	1	トイレ	1 T B	1	幼児トイレ						
形状・寸法																				
名称	引違い窓					引違い窓					引違い窓					トイレブース				
材質	耐摩耗化粧合板					耐摩耗化粧合板					耐摩耗化粧合板					メラミン化粧合板				
金物																トイレブース金物一式				
硝子	強化ガラス(7)5					強化ガラス(7)5					型板ガラス(7)4									
備考	見込 引手 敷居すべり 33					見込 引手 敷居すべり 33					見込 引手 敷居すべり 33					見込 40				

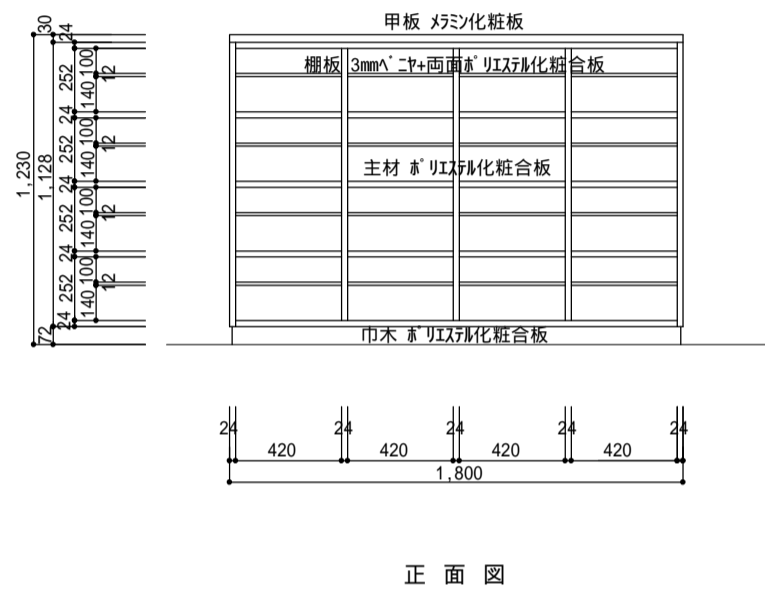
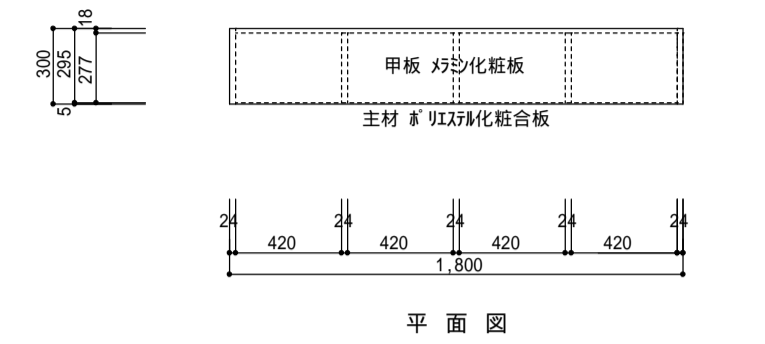
特記事項  
 \* 鋼製建具は、全て内法寸法とする。  
 \* 木製建具は、全て現場採寸のこと。



建具キープラン

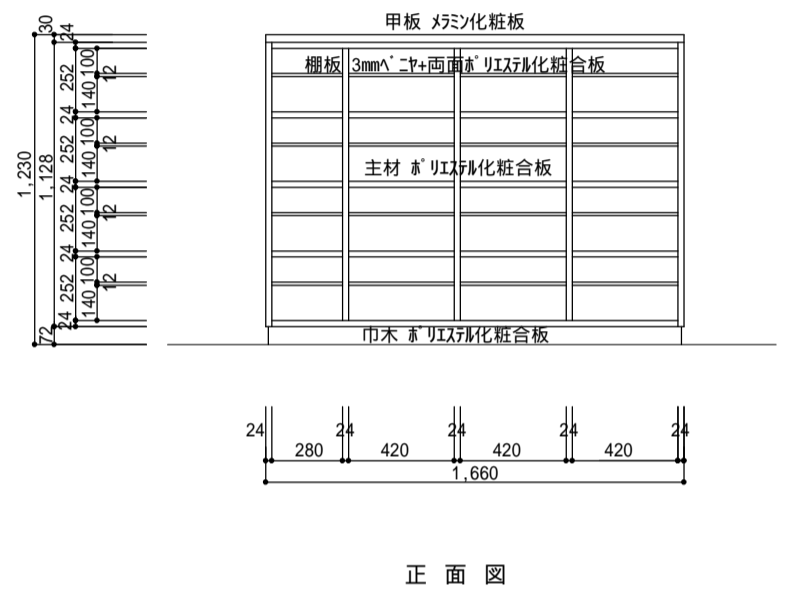
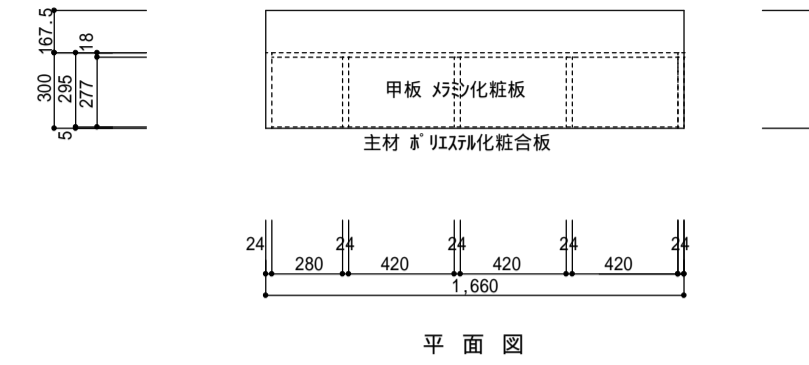
1  
K

下駄箱 S=1/30 2ヶ所



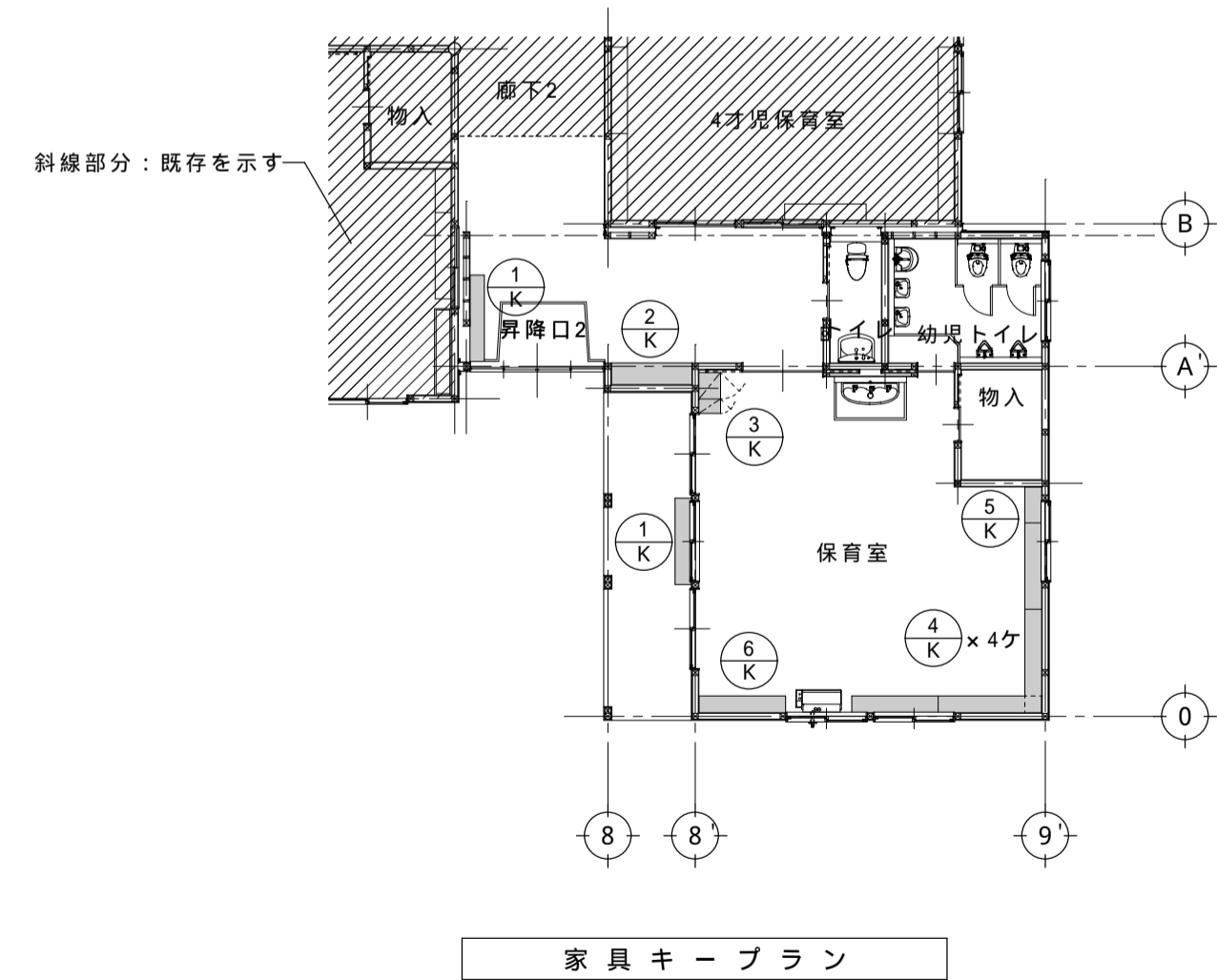
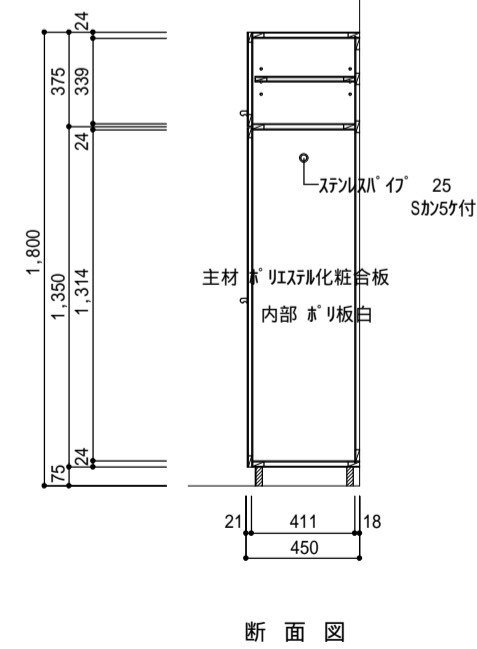
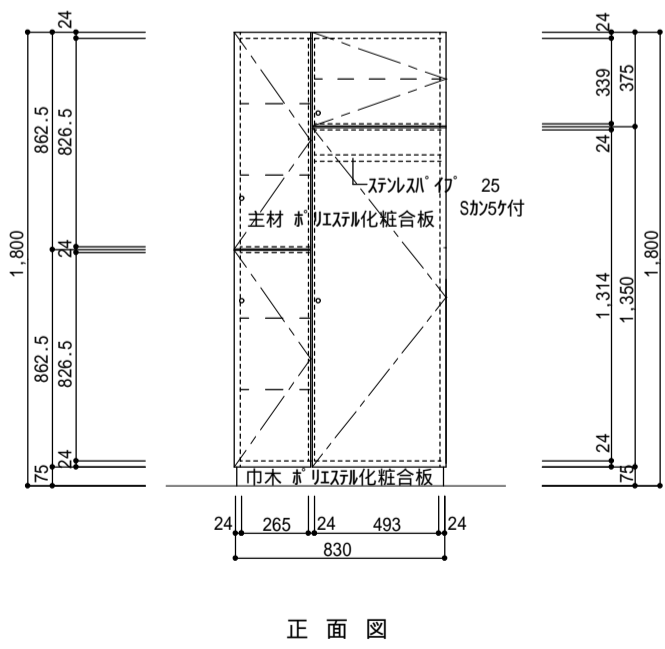
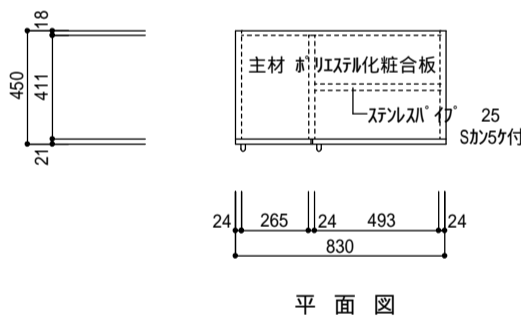
2  
K

下駄箱 S=1/30 1ヶ所



3  
K

掃除用具入 S=1/30 1ヶ所



特記事項

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

一級建築士事務所  
 建築設計 大高  
 栃木県知事登録 A 八 第2617号  
 大臣登録第200584号  
 一級建築士 大高 智  
 栃木県那須郡那須町寺子乙3938-95 TEL0287-72-6372 FAX0287-72-7263

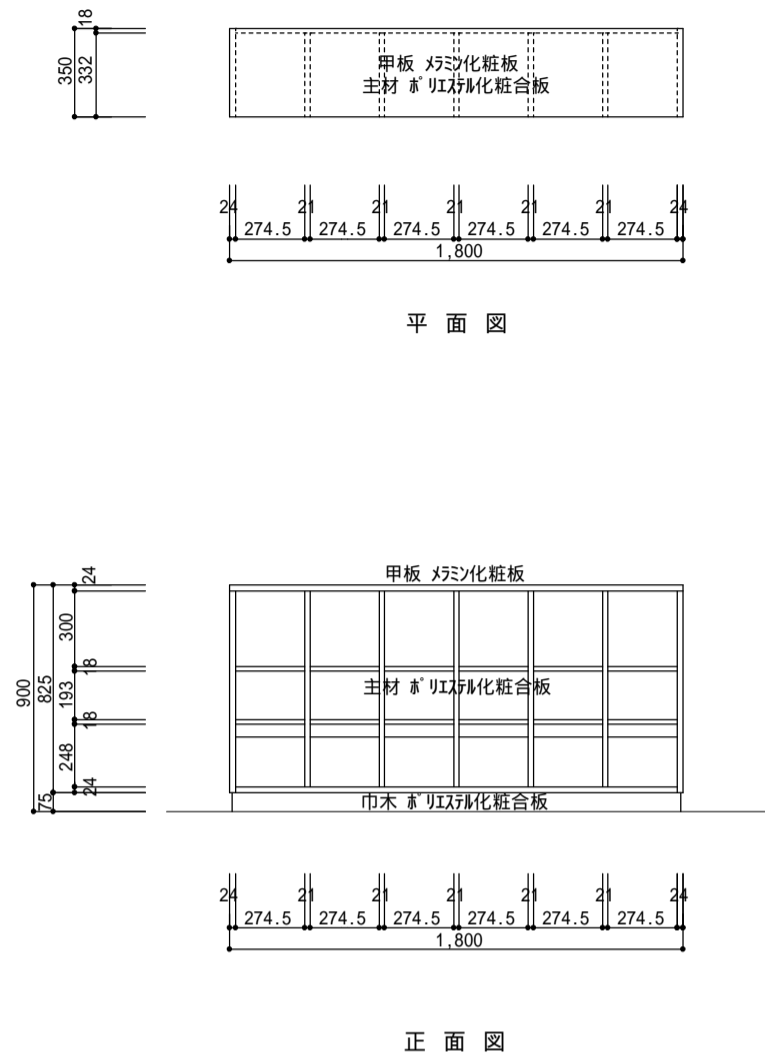
工事名称  
 伊王野保育園保育室増築工事

図面名称	縮尺	図面番号
家具図1・家具キープラン	S = 1/30	A - 20

4  
K

ロッカー S=1/30

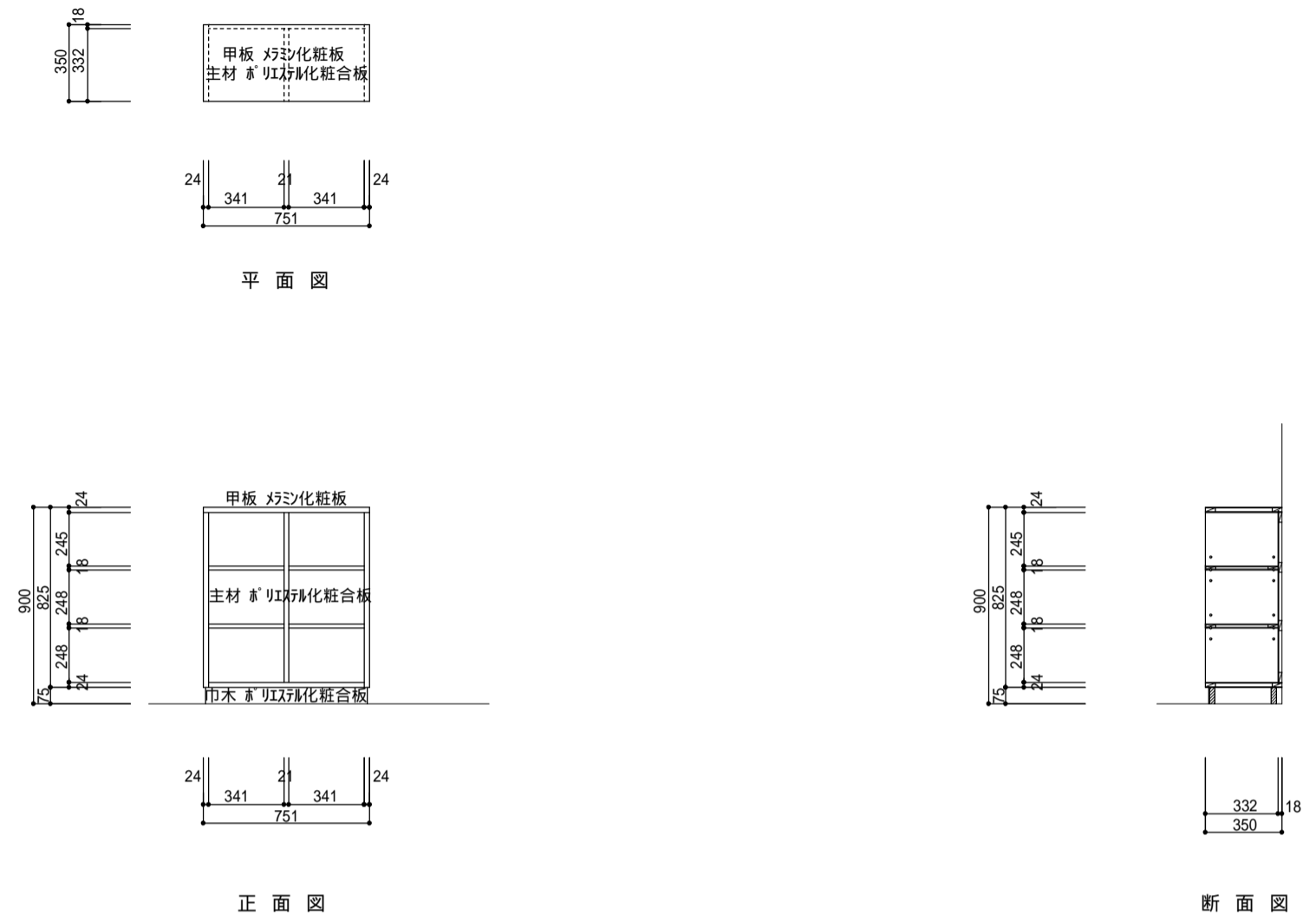
4ヶ所



5  
K

物入 S=1/30

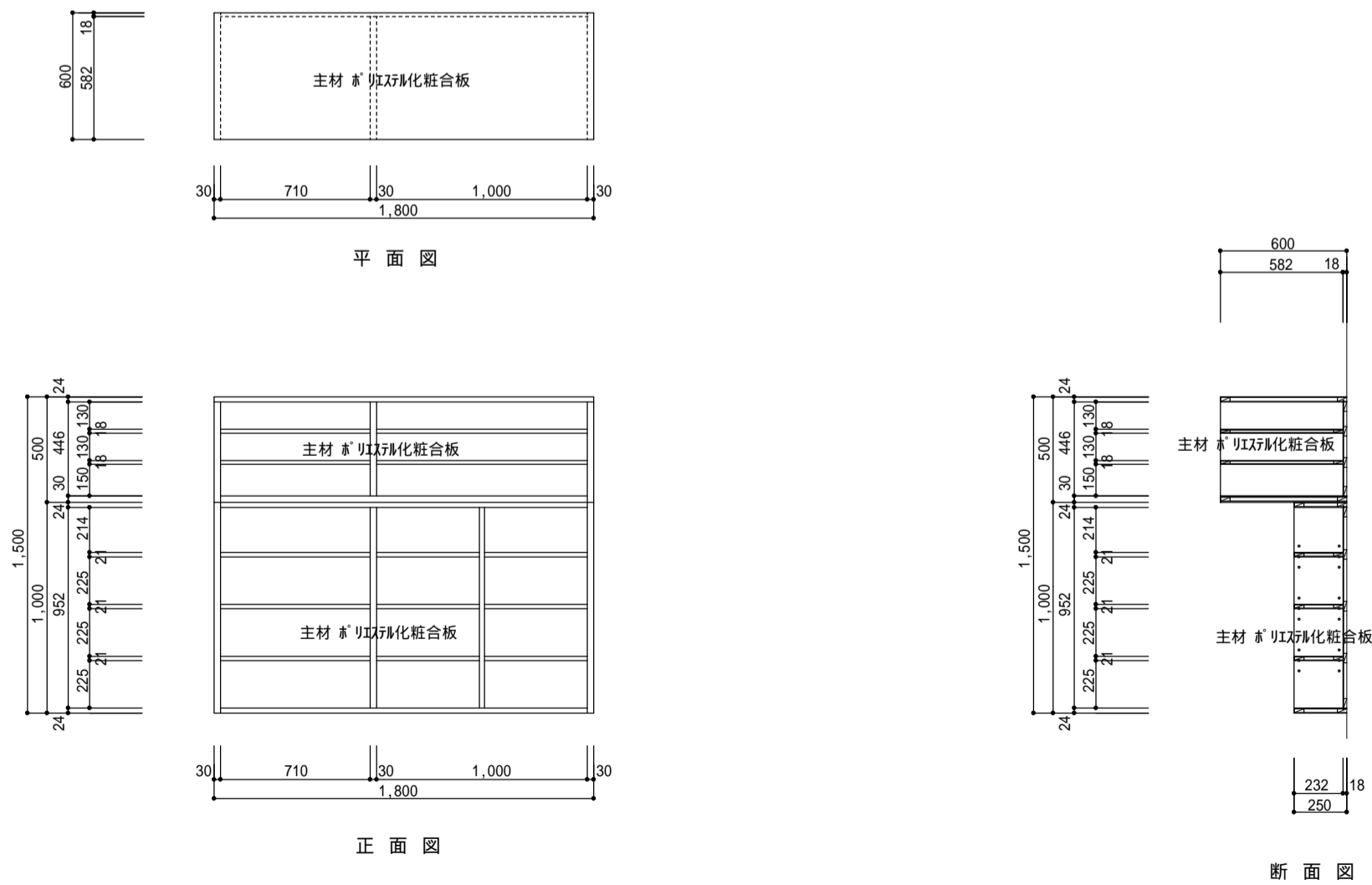
1ヶ所



6  
K

資料棚 S=1/30

1ヶ所



特記事項

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

一級建築士事務所 栃木県知事登録 A 八 第2617号  
**建築設計 大高** 大臣登録第200584号  
 一級建築士 大高 智  
 栃木県那須郡那須町寺子乙3938-95 TEL0287-72-6372 FAX0287-72-7263

工事名称  
**伊王野保育園保育室増築工事**

図面名称	縮尺	図面番号
家具図 2	S = 1/30	A - 21

建築基準法施行令第46条第3項に基づく軸組計算表（木造2階建まで）

階数が一の建築物又は階数が二の建築物の二階	床面積による軸組計算		見付面積による軸組計算						
	梁間・桁行方向共		梁間方向（AおよびC）		桁行方向（BおよびD）				
	床面積 643.49 m <sup>2</sup> × $\frac{1}{0.21 \text{ m/m}^2} = 70.78 \text{ m}$ (イ)	有効見付面積 A 260.32 m <sup>2</sup> × 0.5 m/m <sup>2</sup> = 130.16 m (ロ)	有効見付面積 B 147.18 m <sup>2</sup> × 0.5 m/m <sup>2</sup> = 73.59 m (ハ)	桁行方向の軸組長さ		梁間方向の軸組長さ			
有効軸組長さ	壁・軸組の種類	軸組の長さ×個所×倍率=有効軸組長さ		軸組の長さ×個所×倍率=有効軸組長さ					
	(5)	0.91	19	3	51.87	0.91	18	3	49.14
	(5)	1.365	2	3	8.19	1.6	1	3	4.8
	(5)	1.82	5	3	27.3	1.82	2	3	10.92
	(7)	0.91	1	5	4.55	0.91	1	5	4.55
	(7)	1.365	1	5	6.825	1.365	2	5	13.65
	(7)	1.82	8	5	72.8	1.82	2	5	18.2
	(7)	2.275	2	5	22.75	2.12	1	5	10.6
	(7)					2.275	1	5	11.375
	(7)					2.73	1	5	13.65
	(4)	0.91	4	2	7.28	0.91	1	2	1.82
	(4)	1.365	1	2	2.73				
	(4)	1.82	1	2	3.64	1.82	5	2	18.2
(6)	1.82	1	4	7.28	0.91	1	4	3.64	
判定	(イ)又は(ロ)の大なる値		2		(イ)又は(ハ)の大なる値				
	130.16 m		215.215 m		73.59 m		160.545 m		

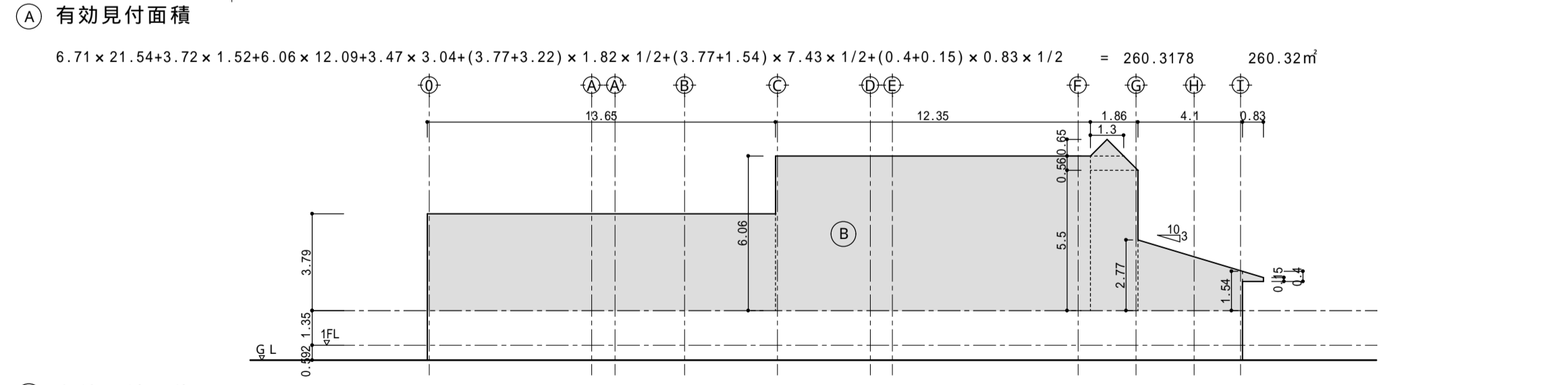
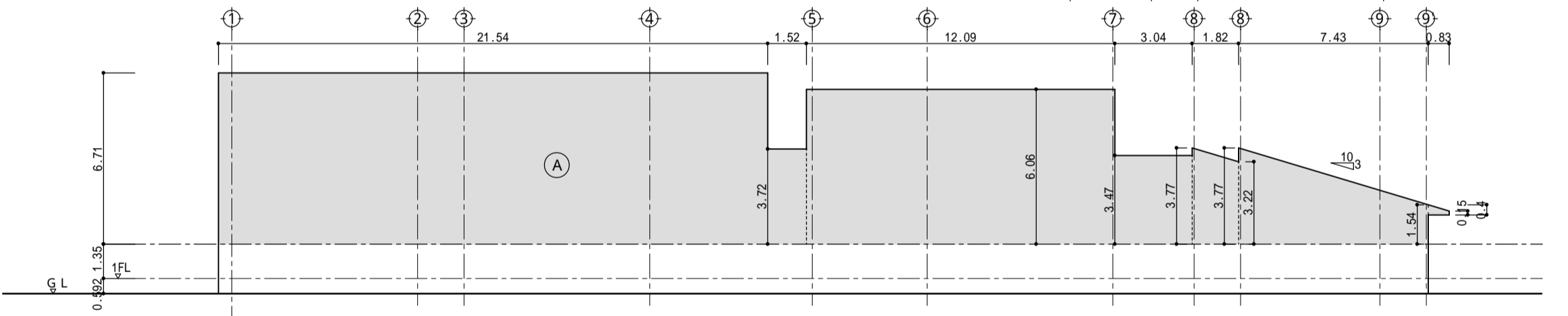
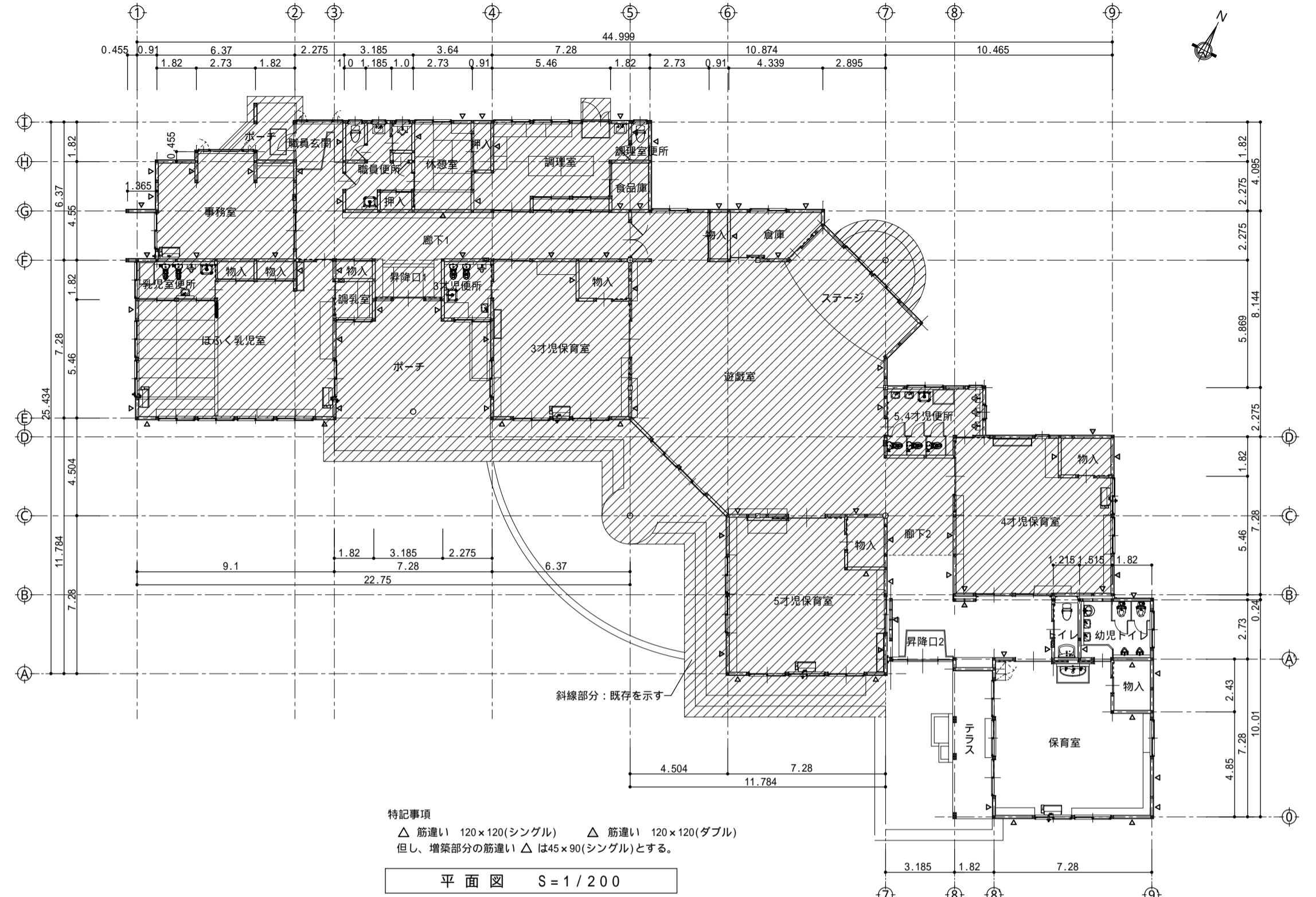
(注) 1. 屋根・壁による係数で令第46条第3項表二により該当する数値を で囲むこと。  
2. [ ]には有効軸組長さの合計を記入して下さい。

令第46条第3項による表一

軸組の種類	倍率	軸組の種類	倍率
(1) 土塗壁又は木ずりその他これに類するものを柱及び間柱の片面に打ち付けた壁を設けた軸組	0.5	(6) (2)から(4)までに掲げる筋かいをたすき掛けに入れた軸組	(2)から(4)までのそれぞれの数値の2倍
木ずりその他これに類するものを柱及び間柱の両面に打ち付けた壁を設けた軸組	1	(7) (5)に筋かいをたすき掛けに入れた軸組	5
厚さ1.5センチメートルで幅9センチメートルの木材若しくは径9ミリメートルの鉄筋又はこれらと同等以上の耐力を有する筋かいを入れた軸組		(8) その他建設大臣が(1)から(7)までに掲げる軸組と同等以上の耐力を有するものと認めて定める数値	0.5から5までの範囲内において建設大臣が定める数値
(3) 厚さ3センチメートルで幅9センチメートルの木材又はこれと同等以上の耐力を有する筋かいを入れた軸組	1.5	(9) (1)又は(2)に掲げる壁と(2)から(6)までに掲げる筋かいとを併用した軸組	(1)又は(2)のそれぞれの数値と(2)から(6)までのそれぞれの数値との和
(4) 厚さ4.5センチメートルで幅9センチメートルの木材又はこれと同等以上の耐力を有する筋かいを入れた軸組	2		
(5) 9センチメートル角の木材又はこれと同等以上の耐力を有する筋かいを入れた軸組	3		

令第46条第3項による表二

	階数が1の建築物	階数が2の建築物の1階	階数が2の建築物の2階
第43条第1項の表の(1)又は(3)に掲げる建築物	0.15 m/m <sup>2</sup>	0.33 m/m <sup>2</sup>	0.21 m/m <sup>2</sup>
第43条第1項の表の(2)に掲げる建築物	0.11 m/m <sup>2</sup>	0.29 m/m <sup>2</sup>	0.15 m/m <sup>2</sup>



建築基準法施行令第46条第3項に基づく軸組計算表（木造2階建まで）

階数が一の建築物又は階数が二の建築物の二階	床面積による軸組計算		見付面積による軸組計算						
	梁間・桁行方向共		梁間方向（AおよびC）		桁行方向（BおよびD）				
	床面積	有効見付面積	有効見付面積	桁行方向の軸組長さ		梁間方向の軸組長さ			
$86.70 \text{ m}^2 \times \frac{1}{0.21 \text{ m/m}} = 9.54 \text{ m}$ (イ)	A $33.92 \text{ m}^2 \times 0.5 \text{ m/m} = 16.96 \text{ m}$ (ロ)	B $39.01 \text{ m}^2 \times 0.5 \text{ m/m} = 19.51 \text{ m}$ (ハ)							
有効軸組長さ	壁・軸組の種類	軸組の長さ×箇所×倍率 = 有効軸組長さ		軸組の長さ×箇所×倍率 = 有効軸組長さ					
	(4)	0.91	4	2	7.28	0.91	1	2	1.82
	(4)	1.365	1	2	2.73				
	(4)	1.82	1	2	3.64	1.82	5	2	18.2
	(6)					0.91	1	4	3.64
	(6)	1.82	1	4	7.28				
判定	(イ)又は(ロ)の大なる値		2	(イ)又は(ハ)の大なる値					
	16.96 m	20.93 m		19.51 m	23.66 m				

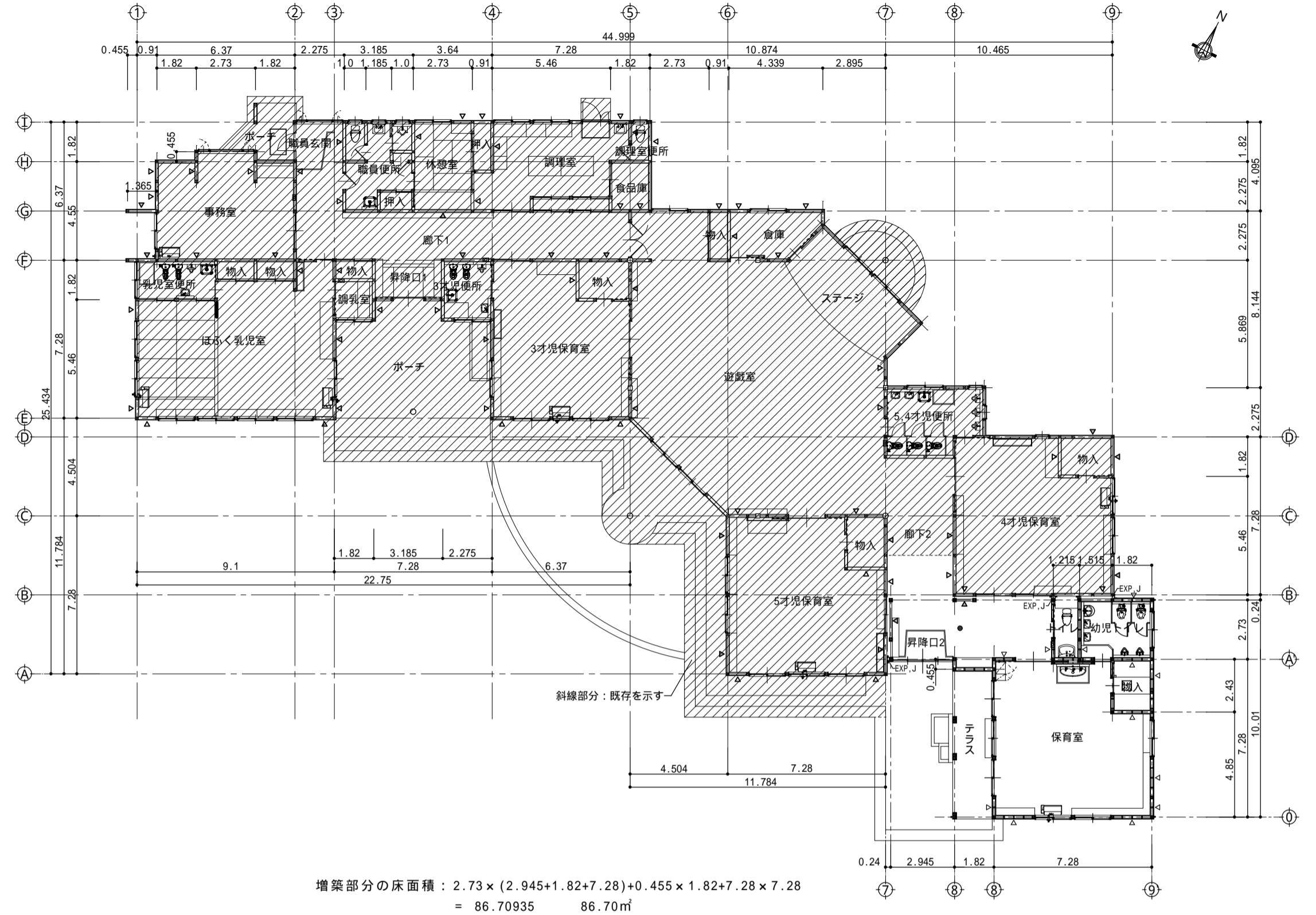
- (注) 1. 屋根・壁による係数で令第46条第3項表二により該当する数値を で囲むこと。  
2. [ ]には有効軸組長さの合計を記入して下さい。

令第46条第3項による表一

軸組の種類	倍率	軸組の種類	倍率
(1) 土壁又は木ずりその他これに類するものを柱及び間柱の片面に打ち付けた壁を設けた軸組	0.5	(6) (2)から(4)までに掲げる筋かいをたすき掛けに入れた軸組	(2)から(4)までのそれぞれの数値の2倍
木ずりその他これに類するものを柱及び間柱の両面に打ち付けた壁を設けた軸組	1	(7) (5)に筋かいをたすき掛けに入れた軸組	5
厚さ1.5センチメートルで幅9センチメートルの木材若しくは径9ミリメートルの鉄筋又はこれらと同等以上の耐力を有する筋かいを入れた軸組		(8) その他建設大臣が(1)から(7)までに掲げる軸組と同等以上の耐力を有するものと認めて定める軸組	0.5から5までの範囲内において建設大臣が定める数値
(3) 厚さ3センチメートルで幅9センチメートルの木材又はこれと同等以上の耐力を有する筋かいを入れた軸組	1.5	(9) (1)又は(2)に掲げる壁と(2)から(6)までに掲げる筋かいとを併用した軸組	(1)又は(2)のそれぞれの数値と(2)から(6)までのそれぞれの数値との和
(4) 厚さ4.5センチメートルで幅9センチメートルの木材又はこれと同等以上の耐力を有する筋かいを入れた軸組	2		
(5) 9センチメートル角の木材又はこれと同等以上の耐力を有する筋かいを入れた軸組	3		

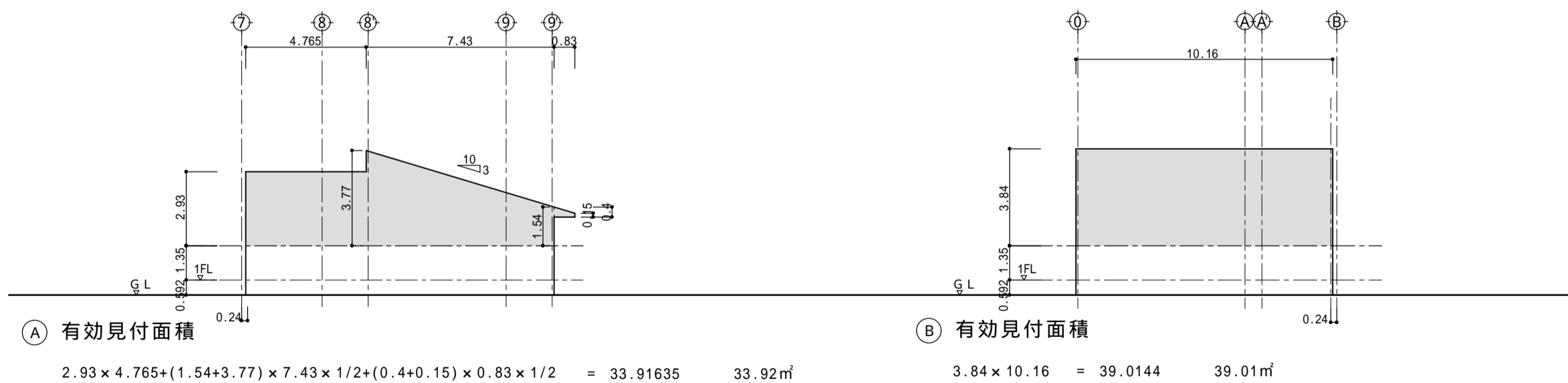
令第46条第3項による表二

	階数が1の建築物	階数が2の建築物の1階	階数が2の建築物の2階
第43条第1項の表の(1)又は(3)に掲げる建築物	0.15 m/m <sup>2</sup>	0.33 m/m <sup>2</sup>	0.21 m/m <sup>2</sup>
第43条第1項の表の(2)に掲げる建築物	0.11 m/m <sup>2</sup>	0.29 m/m <sup>2</sup>	0.15 m/m <sup>2</sup>



特記事項  
△ 筋違い 120×120(シングル) △ 筋違い 120×120(ダブル)  
但し、増築部分の筋違い △ は45×90(シングル) △ は45×90(ダブル)とする

平面図 S = 1 / 200



特記事項

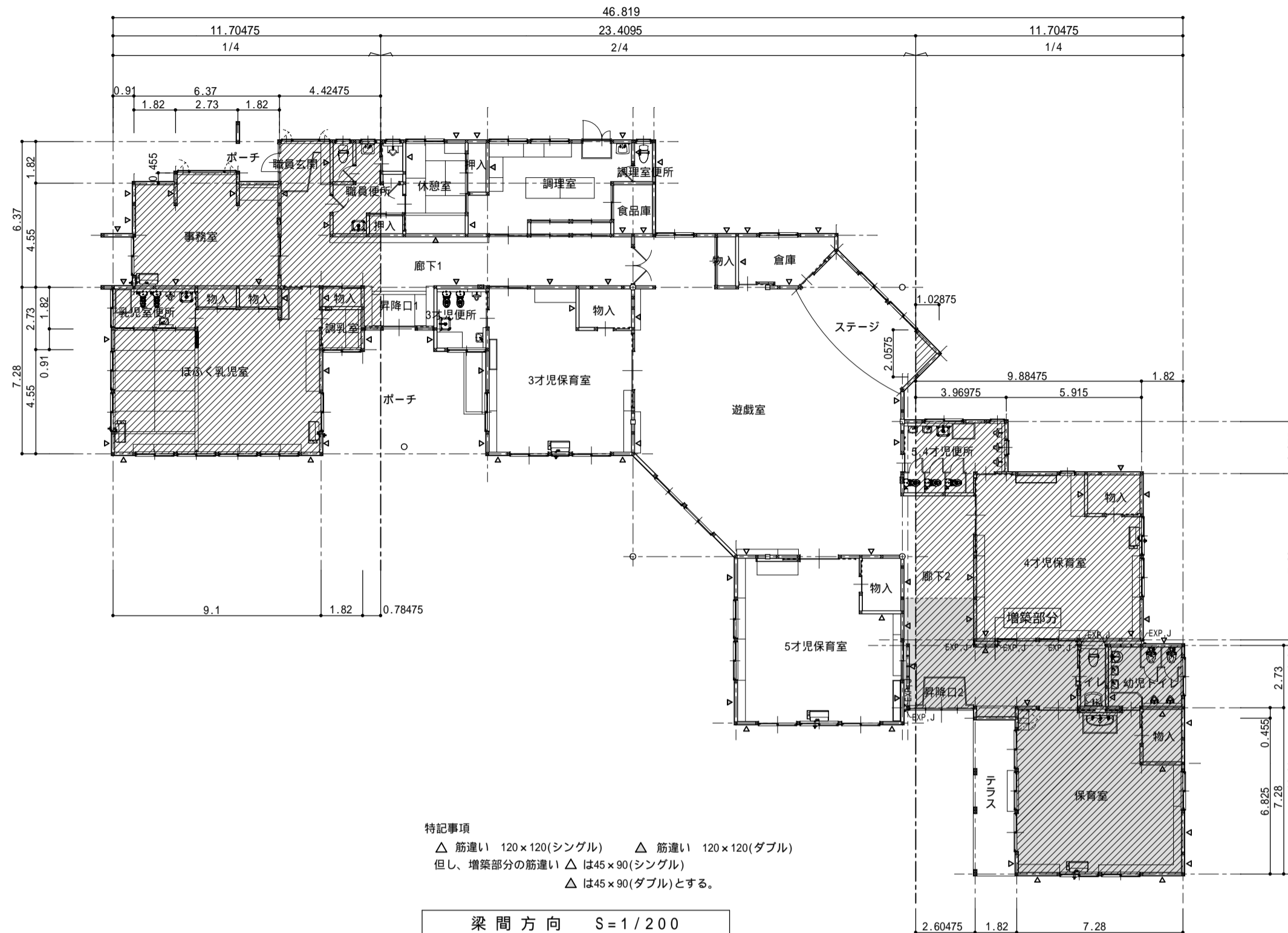
一級建築士事務所 栃木県知事登録 A 八 第2617号  
H1000101 G 建築設計 大高 大臣登録第200584号  
一級建築士 大高 智  
栃木県那須郡那須町寺子乙3938-95 TEL0287-72-6372 FAX0287-72-7263

工事名称  
伊王野保育園保育室増築工事

図面名称  
増築部 軸組耐力壁計算表

縮尺  
S = 1 / 200

図面番号  
A - 22 - 2



1F 梁間方向 左側の床面積

$$7.28 \times 9.1 + 4.55 \times 6.37 + 0.455 \times 2.73 + 6.37 \times 4.42475 + 2.73 \times 1.82 + 1.82 \times 0.78475 = 131.0561525 \quad 131.06 \text{ m}^2$$

1F 梁間方向 右側の床面積

$$2.0575 \times 1.02875 \times 1/2 + 2.275 \times 3.96975 + (7.28 + 0.24) \times 9.88475 + 2.73 \times 11.70475 + 0.455 \times 1.82 + 7.28 \times 7.28 = 170.203295312 \quad 170.20 \text{ m}^2$$

1F 梁間方向のチェック

必要壁量	左					右							
	階数	平屋建て	床面積	必要壁量		階数	平屋建て	床面積	必要壁量				
	倍率	0.11	131.06	A	14.42	倍率	0.11	170.20	B	18.72			
存在壁量	軸組の種類	倍率	壁の長さ	×	個所数	=	有効長さ	倍率	壁の長さ	×	個所数	=	有効長さ
	120×120	3	長さ	0.91	個所数	11	30.03	3	長さ	1.82	個所数	3	16.38
	"	3	長さ	1.365	個所数	1	4.095	3	長さ	1.82	個所数	2	18.2
	120×120 タスキ	5	長さ	1.82	個所数	2	18.2	5	長さ	1.82	個所数	2	18.2
	45×90		長さ		個所数			2	長さ	0.91	個所数	4	7.28
	"		長さ		個所数			2	長さ	1.365	個所数	1	2.73
			長さ		個所数			2	長さ	1.82	個所数	1	3.64
			計		a	52.325		計		b	48.23		
壁量充足率		a/A			3.62		b/B			2.57			

判定			
壁率比	/	1.41	0.5 OK
	/	0.71	<0.5 NG
			>1.0 かつ >1.0 OK 計算不要

表1 存在壁量算定の壁倍率

軸組の種類	倍率	軸組の種類	倍率
(1) 土塗壁又は木ずりその他これに類するものを柱及び間柱の片面に打ち付けた壁を設けた軸組	0.5	(2)から(4)までに掲げる筋かいをたすき掛けに入れた軸組	(2)から(4)までのそれぞれの数値の2倍
(2) 木ずりその他これに類するものを柱及び間柱の両面に打ち付けた壁を設けた軸組	1	(5)に筋かいをたすき掛けに入れた軸組	5
(3) 厚さ1.5センチメートルで幅9センチメートルの木材若しくは径9ミリメートルの鉄筋又はこれらと同等以上の耐力を有する筋かいを入れた軸組	1.5	(6)その他建設大臣が(1)から(7)までに掲げる軸組と同等以上の耐力を有するものと認めて定める軸組	0.5から5までの範囲内において建設大臣が定める数値
(4) 厚さ3センチメートルで幅9センチメートルの木材又はこれと同等以上の耐力を有する筋かいを入れた軸組	2	(7)又は(2)に掲げる壁と(2)から(6)までに掲げる筋かいたを併用した軸組	(1)又は(2)のそれぞれの数値と(2)から(6)までのそれぞれの数値との和
(5) 厚さ4.5センチメートルで幅9センチメートルの木材又はこれと同等以上の耐力を有する筋かいを入れた軸組	3		
(6) 9センチメートル角の木材又はこれと同等以上の耐力を有する筋かいを入れた軸組			

表2 必要壁量算定の倍率

	平屋建	2F建の1F	2F建の2F	3F建の1F	3F建の2F	3F建の3F
重い屋根の住宅(瓦葺等)	0.15	0.33	0.21	0.5	0.39	0.24
軽い屋根の住宅(金属板、石綿スレート等)	0.11	0.29	0.15	0.46	0.34	0.18

特記事項

工事名称

伊王野保育園 保育室増築工事

図面名称

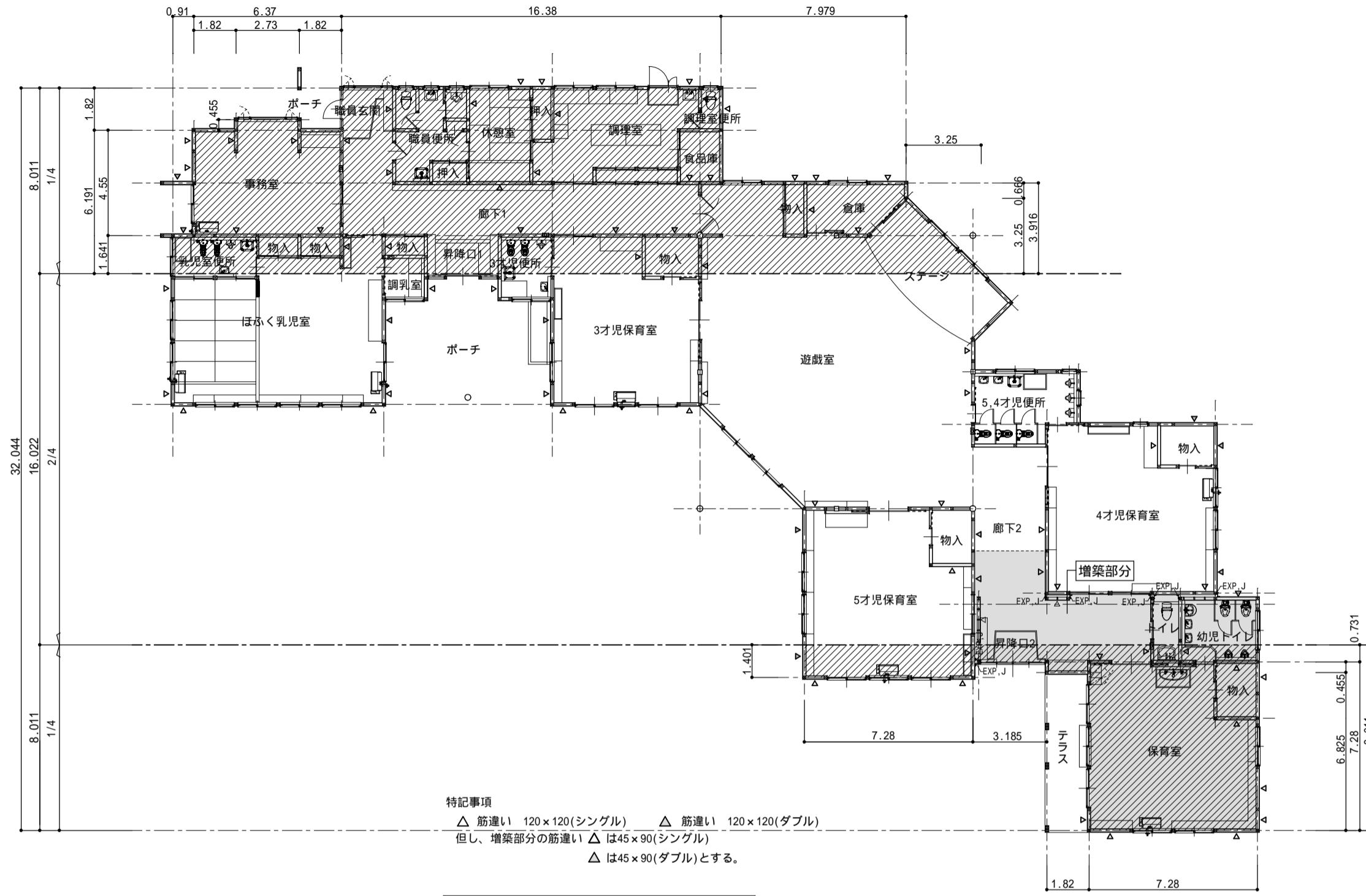
耐力壁の壁量充足率及び壁率比 1

縮尺

S = 1/200

図面番号

A - 23



1F 桁行方向 上側の床面積

$$1.641 \times 0.91 + 6.191 \times 6.37 + 0.455 \times 2.73 + 8.011 \times 16.38 + 3.916 \times 7.979 + 3.25 \times 3.25 \times 1/2 = 209.919324 \quad 209.92 \text{ m}^2$$

1F 桁行方向 下側の床面積

$$1.401 \times 7.28 + 0.731 \times (3.185 + 1.82 + 7.28) + 0.455 \times 1.82 + 7.28 \times 7.28 = 73.006115 \quad 73.01 \text{ m}^2$$

特記事項  
 △ 筋違い 120×120(シングル) △ 筋違い 120×120(ダブル)  
 但し、増築部分の筋違い △ は45×90(シングル)  
 △ は45×90(ダブル)とする。

桁行方向 S=1/200

1F 桁行方向のチェック

必要壁量	上					下				
	階数	平屋建て	床面積	必要壁量	必要壁量	階数	平屋建て	床面積	必要壁量	必要壁量
	倍率	0.11	209.92	A	23.09	倍率	0.11	73.01	B	8.03
存在壁量	軸組の種類	倍率	壁の長さ	個所数	有効長さ	倍率	壁の長さ	個所数	有効長さ	
	120×120	3	長さ 0.91	個所数 8	21.84	3	長さ 0.91	個所数 2	5.46	
	"	3	長さ 1.6	個所数 1	4.8					
	"	3	長さ 1.82	個所数 1	5.46					
	120×120 タスキ	5	長さ 0.91	個所数 1	4.55					
	"	5	長さ 1.365	個所数 1	6.825					
	"	5	長さ 1.82	個所数 1	9.1					
	"	5	長さ 2.12	個所数 1	10.6					
	"	5	長さ 2.275	個所数 1	11.375					
	"	5	長さ 2.73	個所数 1	13.65					
45×90				個所数				個所数		
"				個所数	88.200			個所数	1	1.82
				個所数				個所数	4	14.56
壁量充足率	a / A				3.82	b / B				2.72

判定			
壁率比	/	1.40	0.5 OK
	/	0.71	<0.5 NG
			>1.0 かつ >1.0 OK 計算不要

表1 存在壁量算定の壁倍率

軸組の種類	倍率	軸組の種類	倍率
(1) 土塗壁又は木ずりその他これに類するものを柱及び間柱の片面に打ち付けた壁を設けた軸組	0.5	(6) (2)から(4)までに掲げる筋かいをたすき掛けに入れた軸組	(2)から(4)までのそれぞれの数値の2倍
木ずりその他これに類するものを柱及び間柱の両面に打ち付けた壁を設けた軸組	1	(7) (5)に筋かいをたすき掛けに入れた軸組	5
(2) 厚さ1.5センチメートルで幅9センチメートルの木材若しくは径9ミリメートルの鉄筋又はこれらと同等以上の耐力を有する筋かいを入れた軸組	1	(8) その他建設大臣が(1)から(7)までに掲げる軸組と同等以上の耐力を有するものと認めて定める軸組	0.5から5までの範囲内において建設大臣が定める数値
(3) 厚さ3センチメートルで幅9センチメートルの木材又はこれと同等以上の耐力を有する筋かいを入れた軸組	1.5	(9) (1)又は(2)に掲げる壁と(2)から(6)までに掲げる筋かいとを併用した軸組	(1)又は(2)のそれぞれの数値と(2)から(6)までのそれぞれの数値との和
(4) 厚さ4.5センチメートルで幅9センチメートルの木材又はこれと同等以上の耐力を有する筋かいを入れた軸組	2		
(5) 9センチメートル角の木材又はこれと同等以上の耐力を有する筋かいを入れた軸組	3		

表2 必要壁量算定の倍率

	平屋建	2F建の1F	2F建の2F	3F建の1F	3F建の2F	3F建の3F
重い屋根の住宅(瓦葺等)	0.15	0.33	0.21	0.5	0.39	0.24
軽い屋根の住宅(金属板、石綿スレート等)	0.11	0.29	0.15	0.46	0.34	0.18

特記事項

一級建築士事務所  
 建築設計 大高  
 栃木県那須郡那須町寺子乙3938-95 TEL0287-72-6372 FAX0287-72-7263

一級建築士事務所  
 栃木県知事登録 A 八 第2617号  
 大臣登録第200584号  
 一級建築士 大高 智

工事名称

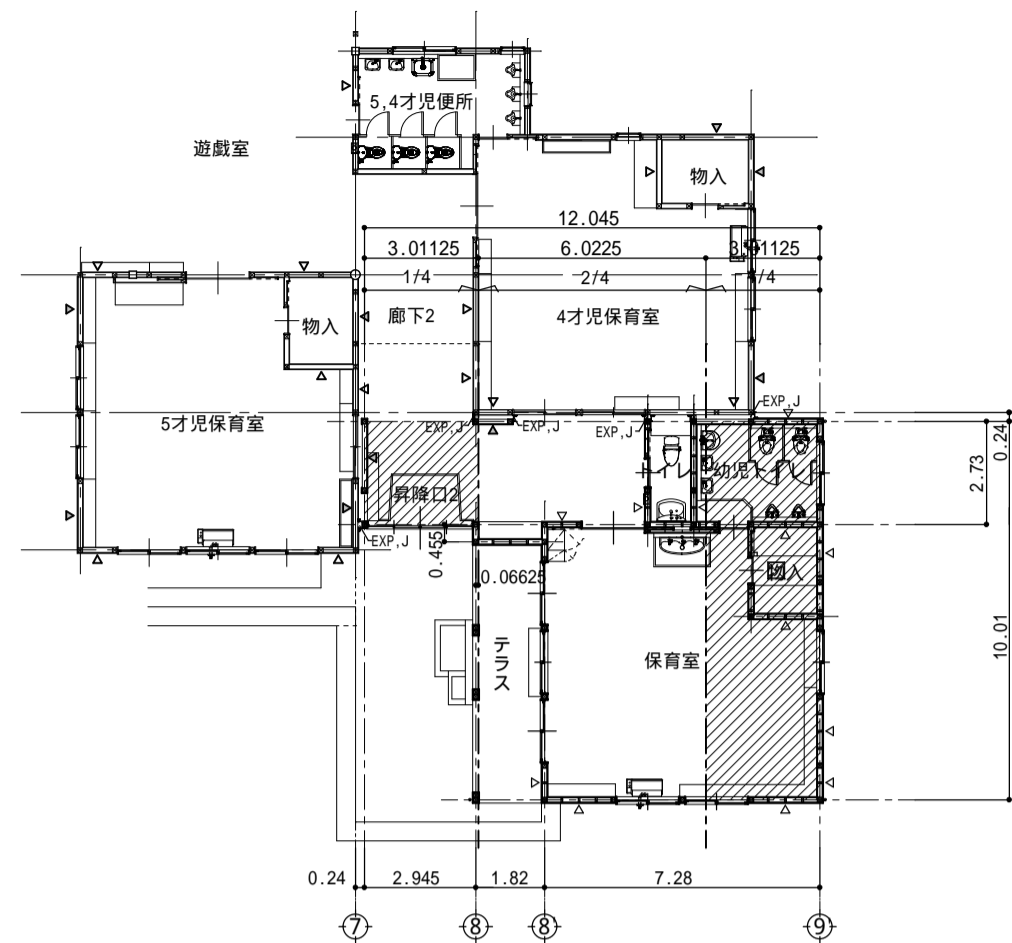
伊王野保育園保育室増築工事

図面名称

耐力壁の壁量充足率及び壁率比2

縮尺

S = 1/200  
 図面番号 A - 24-1

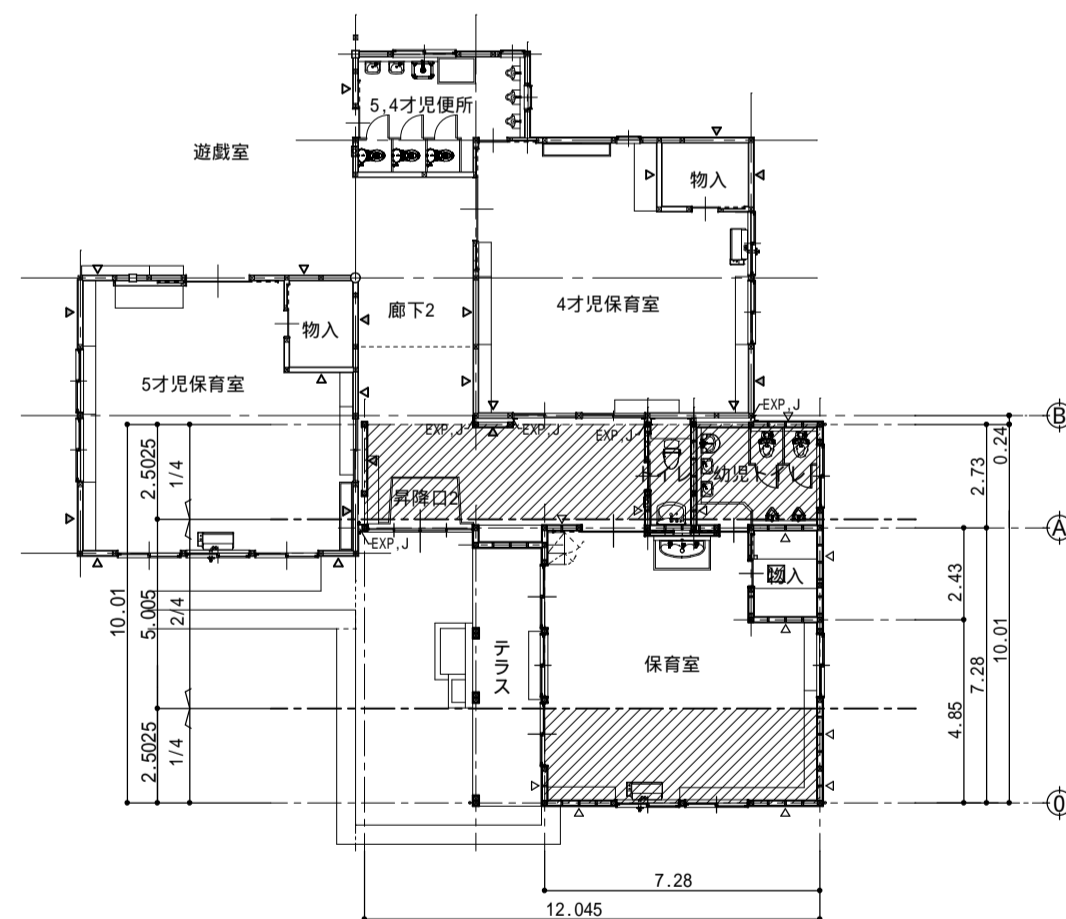


1F 梁間方向 左側の床面積  
 $2.73 \times 3.01125 + 0.455 \times 0.06625 = 8.25085625 \quad 8.25 \text{ m}^2$

1F 梁間方向 右側の床面積  
 $10.01 \times 3.01125 = 30.1426125 \quad 30.14 \text{ m}^2$

特記事項  
 △ 筋違い 120×120(シングル) △ 筋違い 120×120(ダブル)  
 但し、増築部分の筋違い △ は45×90(シングル) △ は45×90(ダブル)とする

梁間方向 S=1/200



1F 桁行方向 上側の床面積  
 $2.5025 \times 12.045 = 30.1426125 \quad 30.14 \text{ m}^2$

1F 桁行方向 下側の床面積  
 $2.5025 \times 7.28 = 18.2182 \quad 18.22 \text{ m}^2$

特記事項  
 △ 筋違い 120×120(シングル) △ 筋違い 120×120(ダブル)  
 但し、増築部分の筋違い △ は45×90(シングル) △ は45×90(ダブル)とする

桁行方向 S=1/200

1F 梁間方向のチェック

必要壁量	左					右						
	階数	平屋建て	床面積	必要壁量		階数	平屋建て	床面積	必要壁量			
	倍率	0.11	8.25	A	0.91	倍率	0.11	30.14	B	3.32		
存在壁量	軸組の種類	倍率	壁の長さ	有効長さ		倍率	壁の長さ	有効長さ				
	45×90	倍率	長さ	個所数		倍率	2	長さ	0.91	個所数	1	1.82
	"	倍率	長さ	個所数		倍率	2	長さ	1.365	個所数	1	2.73
	"	倍率	長さ	個所数		倍率	2	長さ	1.82	個所数	1	3.64
	"タスキ	倍率	4	長さ	1.82	個所数	1	7.28	倍率		長さ	個所数
	倍率		長さ	個所数		倍率		長さ	個所数			
	倍率		長さ	個所数		倍率		長さ	個所数			
	倍率		長さ	個所数		倍率		長さ	個所数			
	計		a	7.28		計		b	8.19			
壁量充足率	a/A					b/B						
	8.0					2.46						

判定					
壁率比	/	3.25	0.5 OK	<0.5 NG	>1.0 かつ >1.0 OK 計算不要
	/	0.31			

1F 桁行方向のチェック

必要壁量	上					下									
	階数	平屋建て	床面積	必要壁量		階数	平屋建て	床面積	必要壁量						
	倍率	0.11	30.14	A	3.32	倍率	0.11	18.22	B	2.00					
存在壁量	軸組の種類	倍率	壁の長さ	有効長さ		倍率	壁の長さ	有効長さ							
	45×90	倍率	長さ	個所数		倍率	2	長さ	個所数						
	"	倍率	2	長さ	1.82	個所数	1	3.64	倍率	2	長さ	1.82	個所数	2	7.28
	"	倍率		長さ	個所数		倍率		長さ	個所数					
	"タスキ	倍率	4	長さ	0.91	個所数	1	3.64	倍率		長さ	個所数			
	倍率		長さ	個所数		倍率		長さ	個所数						
	倍率		長さ	個所数		倍率		長さ	個所数						
	計		a	7.28		計		b	7.28						
壁量充足率	a/A					b/B									
	2.19					3.64									

判定					
壁率比	/	0.60	0.5 OK	<0.5 NG	>1.0 かつ >1.0 OK 計算不要
	/	1.66			

表1 存在壁量算定の壁倍率

軸組の種類	倍率	軸組の種類	倍率
(1) 土塗壁又は木ずりその他これに類するものを柱及び間柱の片面に打ち付けた壁を設けた軸組	0.5	(2)から(4)までに掲げる筋かいをたすき掛けに入れた軸組	(2)から(4)までのそれぞれの数値の2倍
(2) 木ずりその他これに類するものを柱及び間柱の両面に打ち付けた壁を設けた軸組	1	(5)に筋かいをたすき掛けに入れた軸組	5
(3) 厚さ1.5センチメートルで幅9センチメートルの木材若しくは径9ミリメートルの鉄筋又はこれらと同等以上の耐力を有する筋かいを入れた軸組	1.5	(6)その他建設大臣が(1)から(7)までに掲げる軸組と同等以上の耐力を有するものと認めて定める軸組	0.5から5までの範囲内において建設大臣が定める数値
(4) 厚さ3センチメートルで幅9センチメートルの木材又はこれと同等以上の耐力を有する筋かいを入れた軸組	2	(1)又は(2)に掲げる壁と(2)から(6)までに掲げる筋かいとを併用した軸組	(1)又は(2)のそれぞれの数値と(2)から(6)までのそれぞれの数値との和
(5) 厚さ4.5センチメートルで幅9センチメートルの木材又はこれと同等以上の耐力を有する筋かいを入れた軸組	3		
(6) 9センチメートル角の木材又はこれと同等以上の耐力を有する筋かいを入れた軸組			

表2 必要壁量算定の倍率

	平屋建	2F建の1F	2F建の2F	3F建の1F	3F建の2F	3F建の3F
重い屋根の住宅(瓦葺等)	0.15	0.33	0.21	0.5	0.39	0.24
軽い屋根の住宅(金属板、石綿スレート等)	0.11	0.29	0.15	0.46	0.34	0.18

特記事項

一級建築士事務所 栃木県知事登録 A 八 第2617号  
 建築設計 大高 大臣登録第200584号  
 一級建築士 大高 智  
 栃木県那須郡那須町寺子乙3938-95 TEL0287-72-6372 FAX0287-72-7263

工事名称

伊王野保育園保育室増築工事

図面名称

増築部 耐力壁の壁量充足率及び壁率比

縮尺

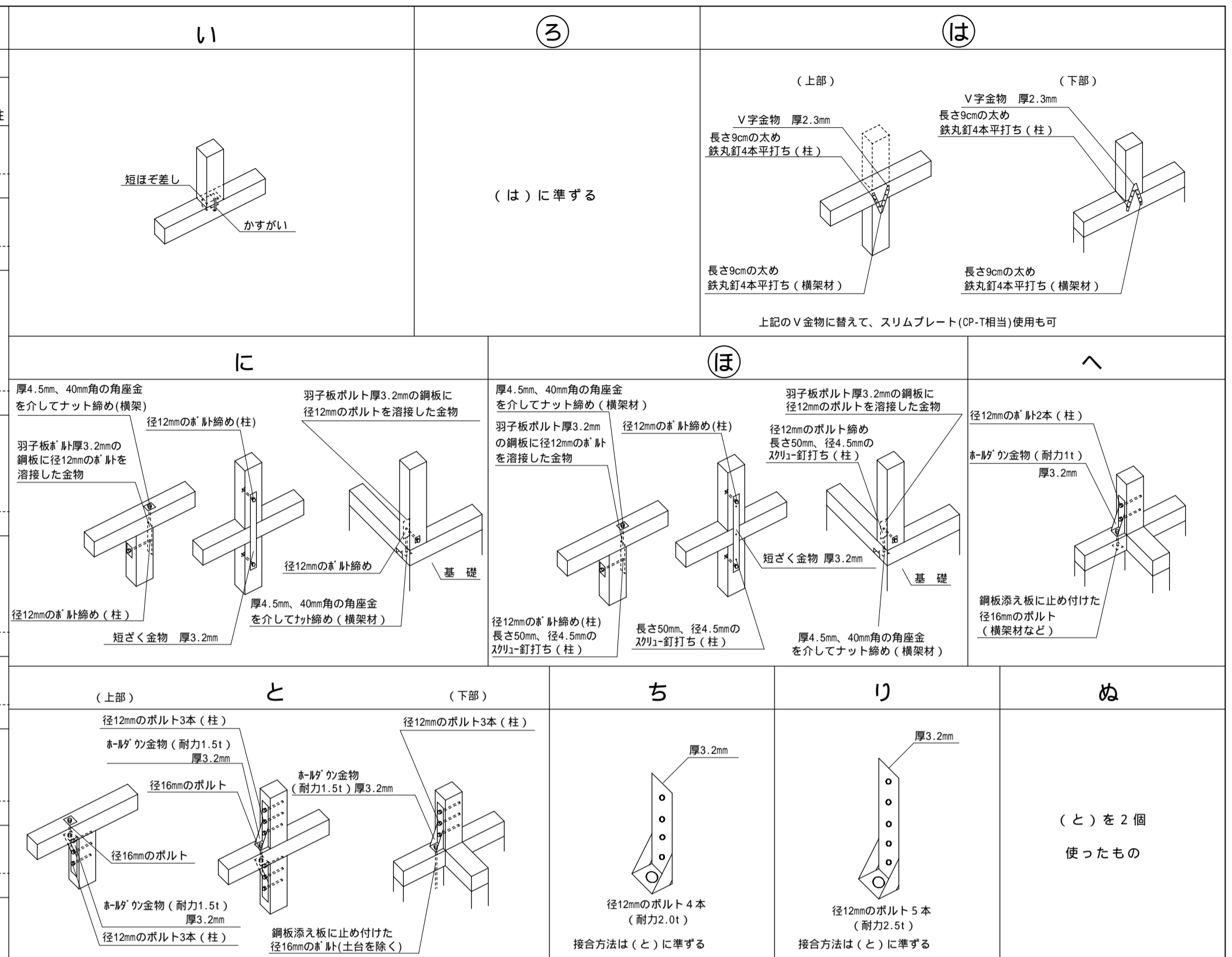
S=1/200

図面番号

A-24-2

柱の接合補強 (建設省告示1460号)						
使用する壁、筋かいの種類	柱の位置 壁、筋かいの種類	平屋または最上階		その他の部分(2階建ての1階部分)		
		出隅の柱	その他の軸組端部の柱	上階=出隅の柱 当該階=出隅の柱	上階=出隅の柱 当該階≠出隅の柱	上階≠出隅の柱 当該階≠出隅の柱
木ずりその他これに類するものを柱及び間柱の片面または両面に打ち付けた壁	短ほぞ差し	短ほぞ差し	短ほぞ差し	短ほぞ差し	短ほぞ差し	短ほぞ差し
		い	い	い	い	い
厚さ1.5cm以上×幅9cm以上の木材、または径9mm以上の鉄筋の筋かい	長ほぞ差し L字金物	長ほぞ差し L字金物	短ほぞ差し	長ほぞ差し L字金物	短ほぞ差し	短ほぞ差し
		ろ	い	ろ	い	い
厚さ3cm以上×幅9cm以上の木材の筋かい	筋かい下部が取り付く柱の場合 長ほぞ差し L字金物	左以外の柱の場合 筋かい下部が取り付く柱の場合 短ほぞ差し L字金物	左以外の柱の場合 筋かい下部が取り付く柱の場合 短ほぞ差し L字金物	短ほぞ差し L字金物 (スクリュー釘なし)	長ほぞ差し L字金物	短ほぞ差し
		ろ	い	ろ	い	い
厚さ1.5cm以上×幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛または9mm以上の鉄筋の筋かいをたすき掛け	筋かい下部が取り付く柱の場合 T字金物 V字金物	左以外の柱の場合 筋かい下部が取り付く柱の場合 短ほぞ差し L字金物	長ほぞ差し L字金物	1.5tホルダウ ン金物	T字金物 V字金物	長ほぞ差し L字金物
		は	ほ	ろ	と	は
厚さ4.5cm以上の幅9cm以上の木材の筋かい	筋かい下部が取り付く柱の場合 T字金物 V字金物	左以外の柱の場合 筋かい下部が取り付く柱の場合 短ほぞ差し L字金物	長ほぞ差し L字金物	1.5tホルダウ ン金物	T字金物 V字金物	長ほぞ差し L字金物
		は	ほ	ろ	と	は
構造用合板を打ち付けた壁	筋かい下部が取り付く柱の場合 T字金物 V字金物	左以外の柱の場合 筋かい下部が取り付く柱の場合 短ほぞ差し L字金物	長ほぞ差し L字金物	2.0tホルダウ ン金物	1.0tホルダウ ン金物	T字金物 V字金物
		は	ほ	ろ	ち	へ
厚さ3cm以上×幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛	筋かい下部が取り付く柱の場合 T字金物 V字金物	左以外の柱の場合 筋かい下部が取り付く柱の場合 短ほぞ差し L字金物	長ほぞ差し L字金物	2.5tホルダウ ン金物	1.5tホルダウ ン金物	羽子板ボルト 短ざく金物 (スクリュー釘なし)
		と	は	り	と	に
厚さ4.5cm以上の幅9cm以上の木材の筋かいをたすき掛	筋かい下部が取り付く柱の場合 T字金物 V字金物	左以外の柱の場合 筋かい下部が取り付く柱の場合 短ほぞ差し L字金物	長ほぞ差し L字金物	1.5tホルダウ ン金物×2個	2.0tホルダウ ン金物	1.5tホルダウ ン金物
		と	に	ぬ	ち	と

特記：使用金物類は、日本住宅・木材技術センターのZ金物相当品とする事。



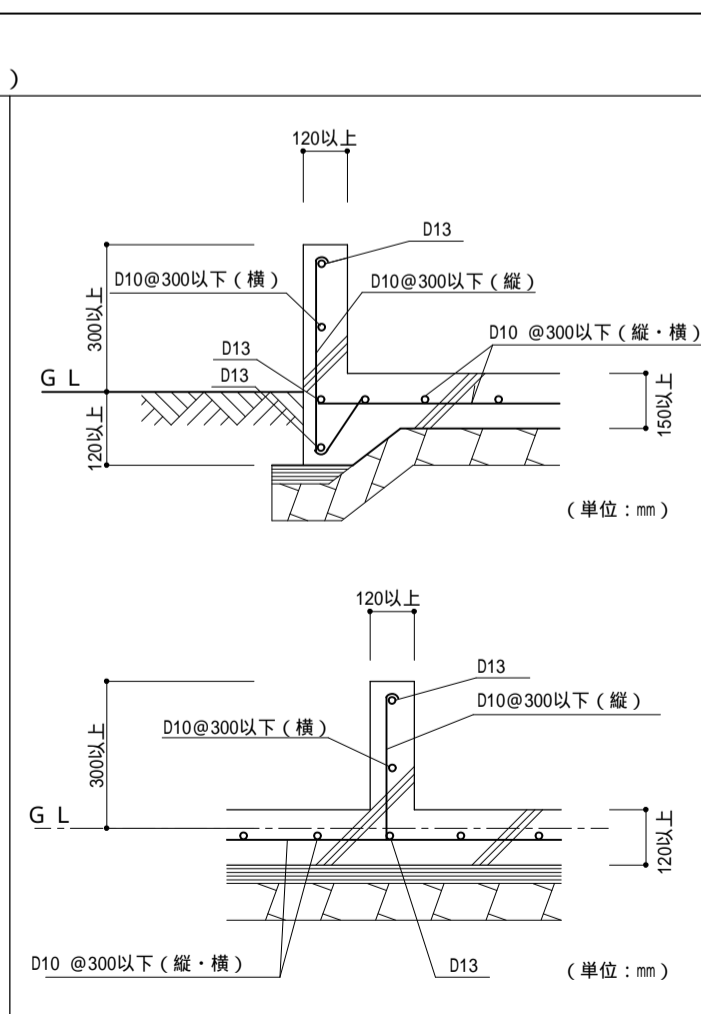
基礎の種類 (建設省告示1347号1項)		
使用する基礎の種類	地耐力 (kN/m <sup>2</sup> )	構造形式
	基礎の種類	20未満
20以上 30未満		基礎杭を用いた構造 べた基礎
基礎の種類	30以上	基礎杭を用いた構造
		べた基礎 布基礎

特記・基礎の種類は、地耐力に応じて上記より選択すること  
・各基礎の構造基準は右表の通りとする

注意  
施工者は基礎工事着工前に地盤調査を行い、設計採用地耐力が確保できている事を施工者の責任において確認の上工事監理者に報告のこと。工事監理者は、工事施工者の報告に基づいて設計採用基礎方式で施工が適当か判断を行う。

基礎杭を用いた構造 (建設省告示1347号2項)
<p>耐力上安全に基礎杭の上部を支えるよう配置すること</p> <p>(1)場所打ちコンクリート杭</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主筋には異形鉄筋を6本以上用い、かつ帯筋と緊結</li> <li>主筋の断面積の合計が杭断面積の0.4%以上</li> </ul> <p>(2)高強度プレストレスコンクリート杭</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>JIS A5337-1995に適合するもの、また、同等以上</li> </ul> <p>(3)遠心力鉄筋コンクリート杭</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>JIS A5310-1995に適合するもの、また、同等以上</li> </ul> <p>(4)鋼管杭</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>杭の肉厚は6mm以上、かつ、杭の直径の100分の1以上</li> <li>杭の肉厚は6mm以上、かつ、杭の直径の100分の1以上</li> </ul> <p>注 基礎杭を用いた構造とは基礎杭の上部に、べた基礎、布基礎、又はその他の構造体を築造する物をいう</p>

べた基礎 (建設省告示1347号3項)
<p>1 一体の鉄筋コンクリート造とする(但し、地盤の長期許容応力度が70kN/m<sup>2</sup>以上で、密実な砂質地盤その他著しい不同沈下などの生じる恐れのない地盤にあり、基礎に損所を生じる恐れのない地盤にあり、基礎に損所を生じる恐れが無い場合は無筋コンクリート造とすることができる)</p> <p>2 基礎の立上がり部分、高さ=地上部分で30cm以上、厚さ=12cm以上、基礎底盤の厚さ=15cm以上</p> <p>3 基礎の根入れ深さ=12cm以上かつ凍結深度以上(但し、基礎の底部を雨水などの影響を受ける恐れのない密実で良好な地盤に達したものとした場合はこの限りでない)</p> <p>4 基礎を鉄筋コンクリート造とする場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>立ち上がり部分の主筋として、径12mm以上の異形鉄筋を立ち上がり部分の上端及び立ち上がり部分の下部の底盤にそれぞれ1本以上配置し、補強筋と緊結する</li> <li>立ち上がり部分の補強筋は径9mm以上の鉄筋を30cm以下の間隔で縦に配置。底盤の補強筋は径9mm以上の鉄筋を30cm以下の間隔で縦横に配置</li> <li>換気口を設ける場合はその周辺に径9mm以上の補強筋を配置</li> </ul>



布基礎 (建設省告示1347号4項)			
地耐力 (kN/m <sup>2</sup> )	底盤の幅 (cm)		
	木造又は鉄骨造 平屋建て	2階建て	その他の建築物
30以上50未満	30	45	60
50以上70未満	24	36	45
70以上	18	24	30

1 べた基礎と同じ構造。但し根入れ深さ=24cm以上、底盤の厚さ=15cm以上

2 底盤の幅(基礎杭を用いた場合は下表の限りではない)

3 鉄筋コンクリート造で底盤の幅が24cm超の場合、底盤に補強筋として径9mm以上、鉄筋を30cm以下の間隔で配置、底盤両端部の径9mm以上の鉄筋と緊結

外部 内部

120以上

D10@300以下(縦)

D10@300以下(横)

D13

D10@300以下(縦・横)

D13 1-D10

150以上

240以上

1-D10

底盤の幅(左の表による)

(単位: mm)

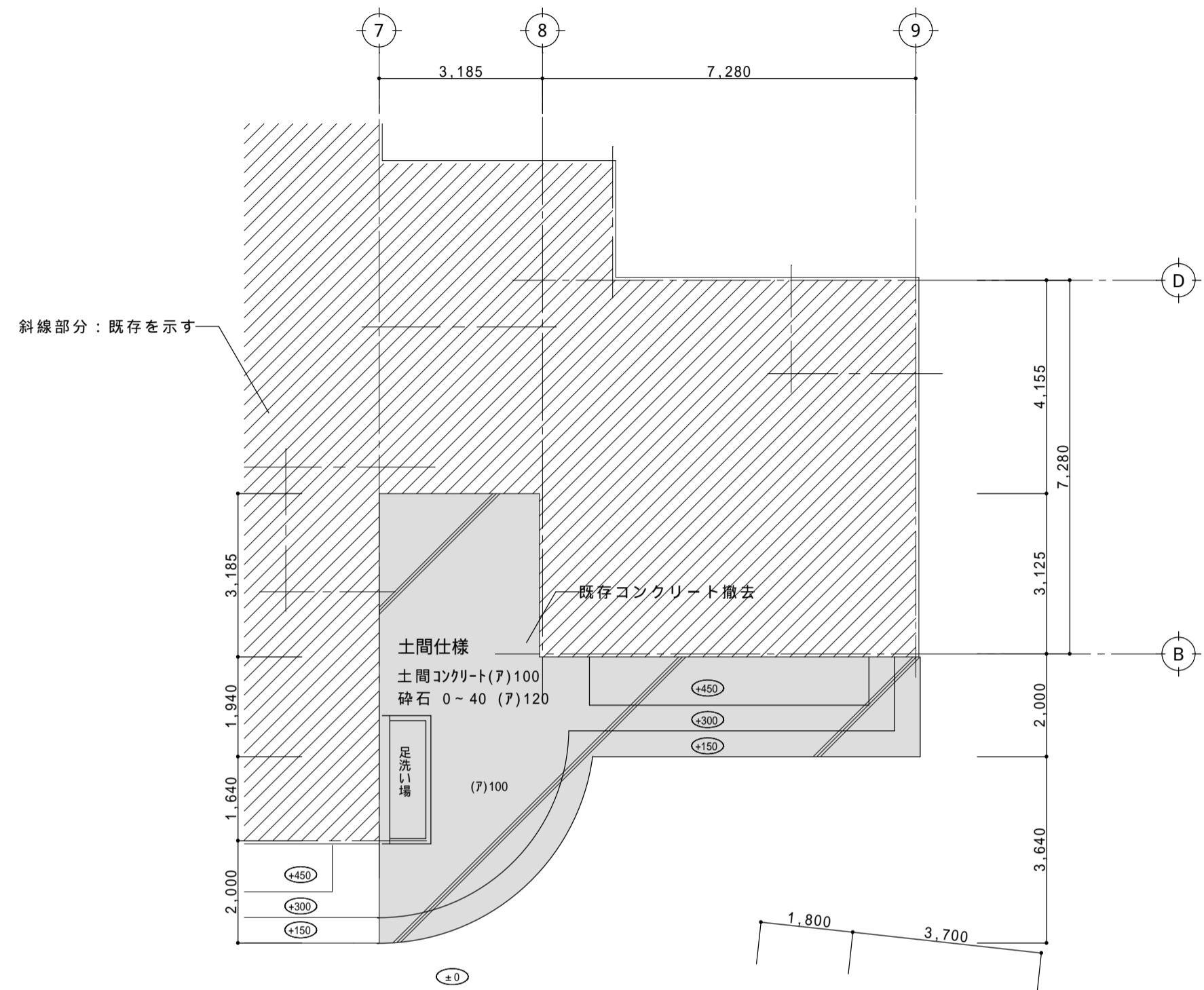
特記事項

一級建築士事務所 建築設計 大高  
 栃木県知事登録 A 八 第2617号  
 大臣登録第200584号  
 一級建築士 大高 智  
 栃木県那須郡那須町寺乙3938-95 TEL0287-72-6372 FAX0287-72-7263

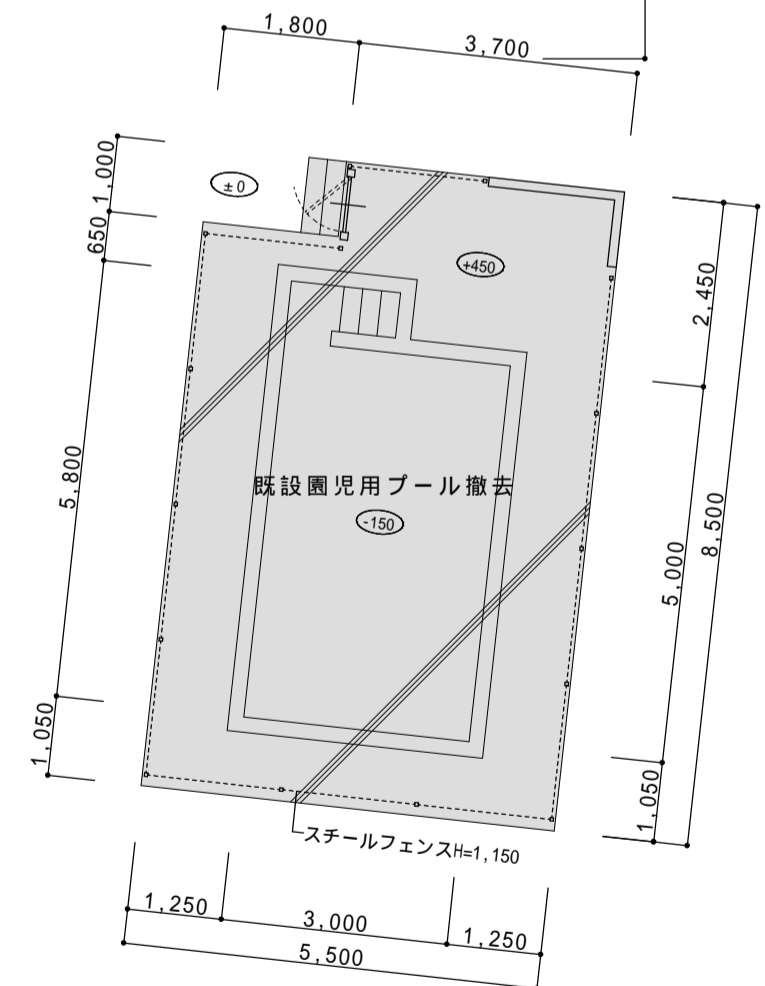
工事名称  
伊王野保育園保育室増築工事

図面名称  
基礎・金物仕様書

縮尺  
図面番号  
A - 25



既存基礎伏図 S=1/100



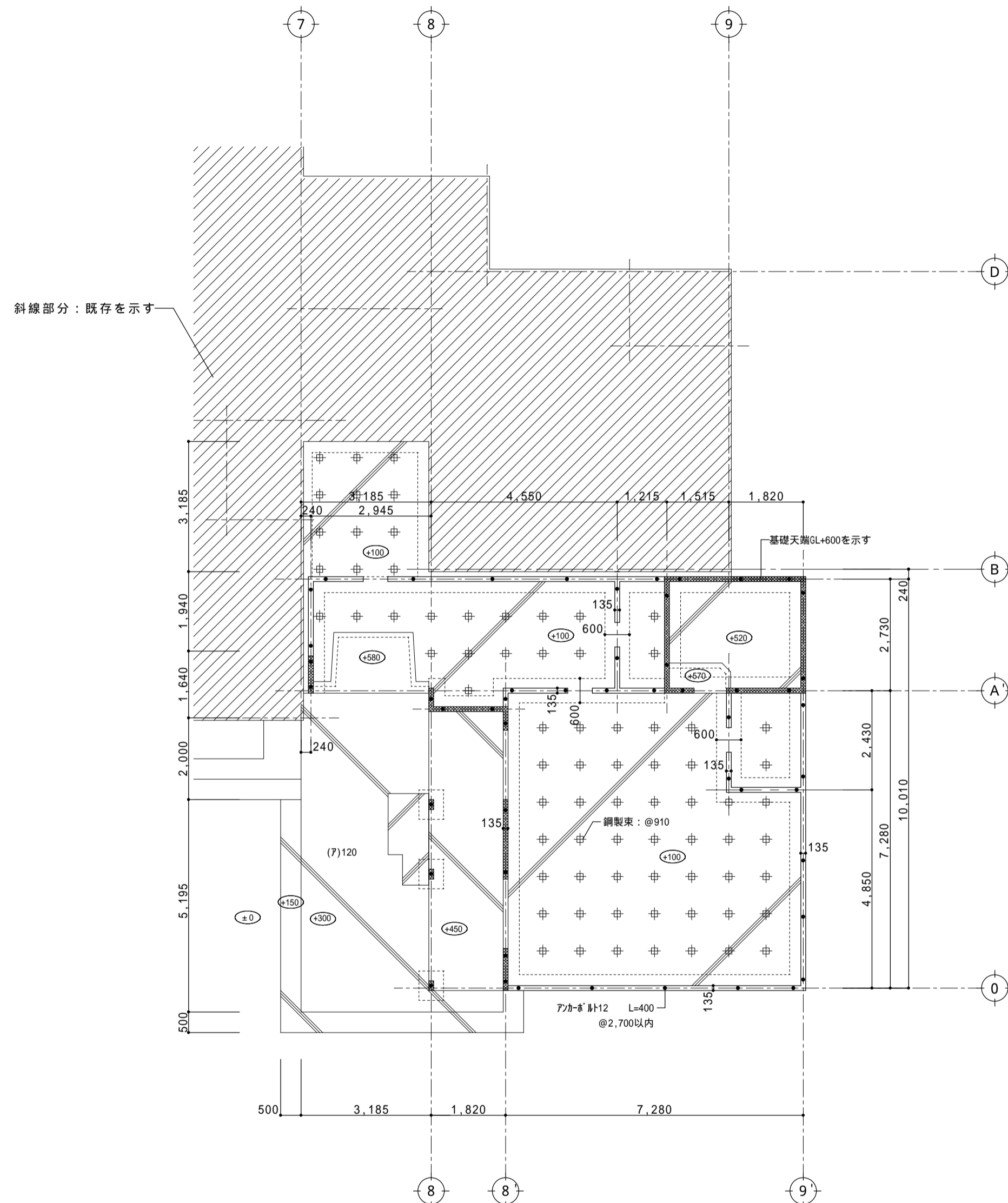
特記事項

一級建築士事務所  
**建築設計 大高**  
 栃木県那須郡那須町寺子乙3938-95 TEL0287-72-6372 FAX0287-72-7263  
 栃木県知事登録 A八 第2617号  
 大臣登録第200584号  
 一級建築士 大高 智

工事名称  
**伊王野保育園保育室増築工事**

図面名称  
**既存基礎伏図**

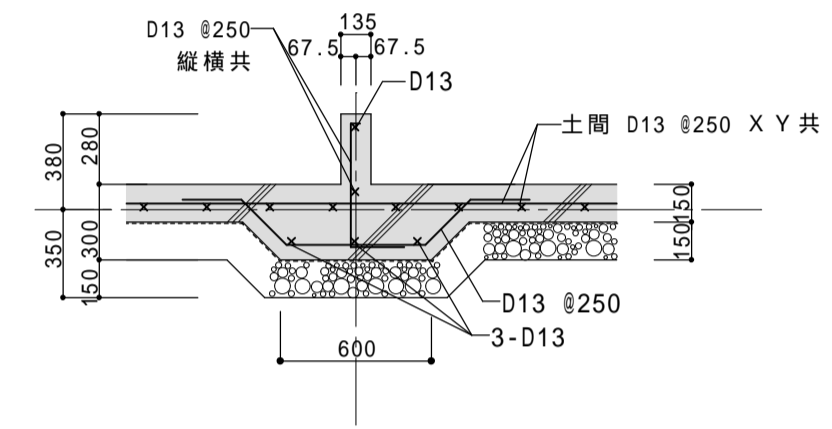
縮尺  
 S = 1/100  
 図面番号  
 A - 26



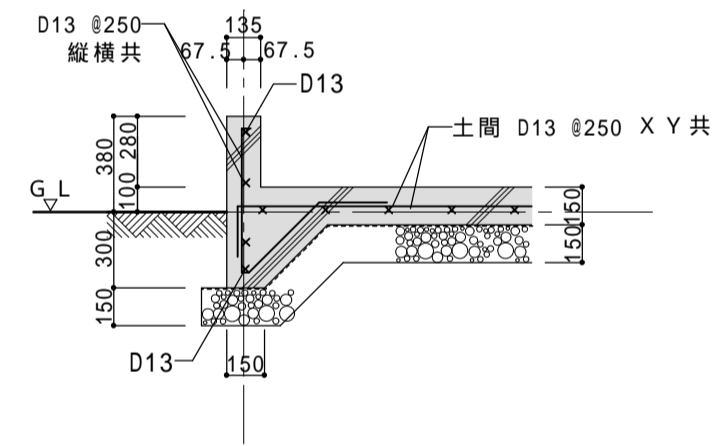
基礎伏図 S=1/100

土間仕様  
 土間コンクリート(7)150  
 鉄筋 D13 @250 (X,Y方向共)  
 ⑧ リンコンパイル(7)0.15 重ね幅300mm以上  
 砕石 0-40 (7)150

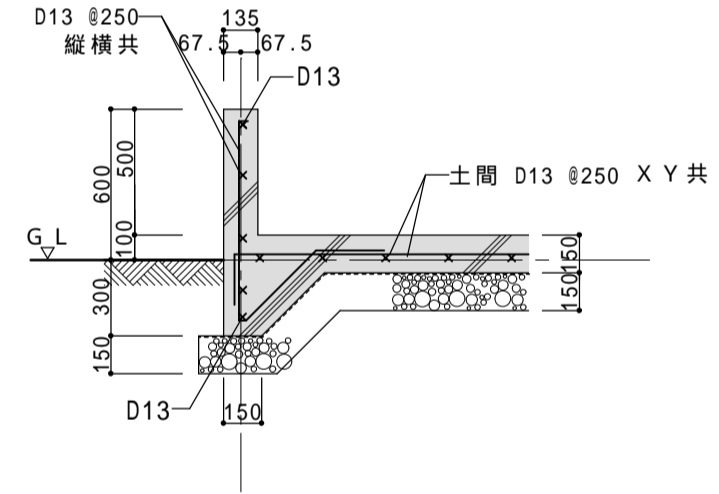
内部間仕切部



外部廻り



部



基礎断面詳細図 S=1/30

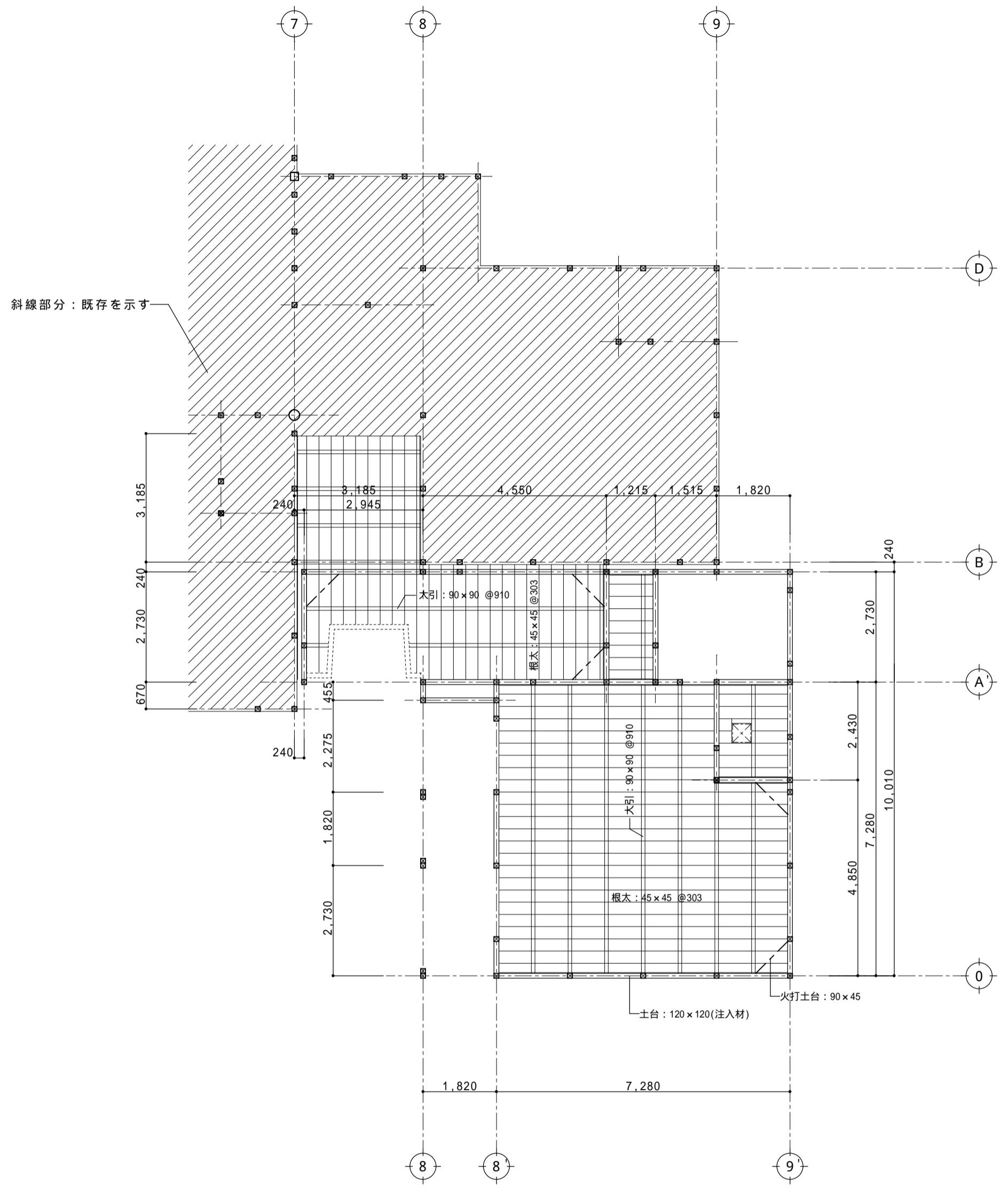
特記事項  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

一級建築士事務所 栃木県知事登録 A 八 第2617号  
**建築設計 大高** 大臣登録第200584号  
 一級建築士 大高 智  
 栃木県那須郡那須町寺子乙3938-95 TEL0287-72-6372 FAX0287-72-7263

工事名称  
**伊王野保育園保育室増築工事**

図面名称  
**基礎伏図, 基礎断面詳細図**

縮尺  
 S=1/100, 1/30  
 図面番号  
 A - 27



床伏図 S=1/100

- ・根太：45×45 @303 (杉)
- ・火打土台：90×45 (杉)
- ・大引：90×90 @910 (杉)
- ・土台：120×120 (米梅注入材)
- ・柱：120×120 3.3M (杉)
- ・金物は、全て告示1460号に準ずる。

特記事項

---



---



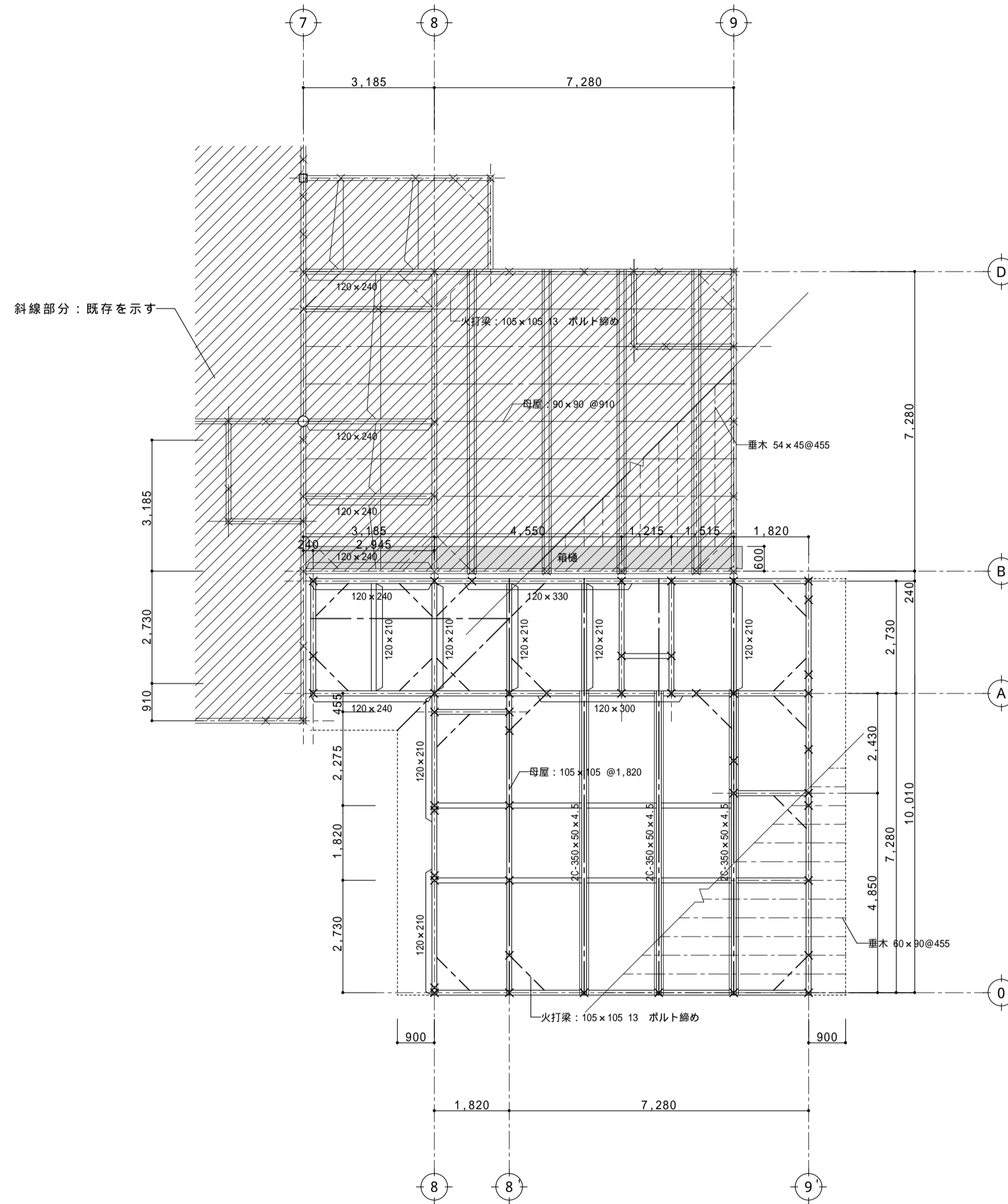
---

一級建築士事務所 栃木県知事登録 A八 第2617号  
**建築設計 大高** 大臣登録第200584号  
 一級建築士 大高 智  
 栃木県那須郡那須町寺子乙3938-95 TEL0287-72-6372 FAX0287-72-7263

工事名称  
**伊王野保育園保育室増築工事**

図面名称  
**床伏図**

縮尺	図面番号
S=1/100	A-28



小屋伏図 S=1/100

- ・垂木 : 60×90 @455 (杉)
- ・母屋 : 105×105 @1,820 (杉)
- ・火打梁 : 105×105 (杉)
- ・小屋束 : 105×105 (杉)
- ・特記無き部材は、120×120とする。
- ・金物は、全て告示1460号に準ずる。

特記事項

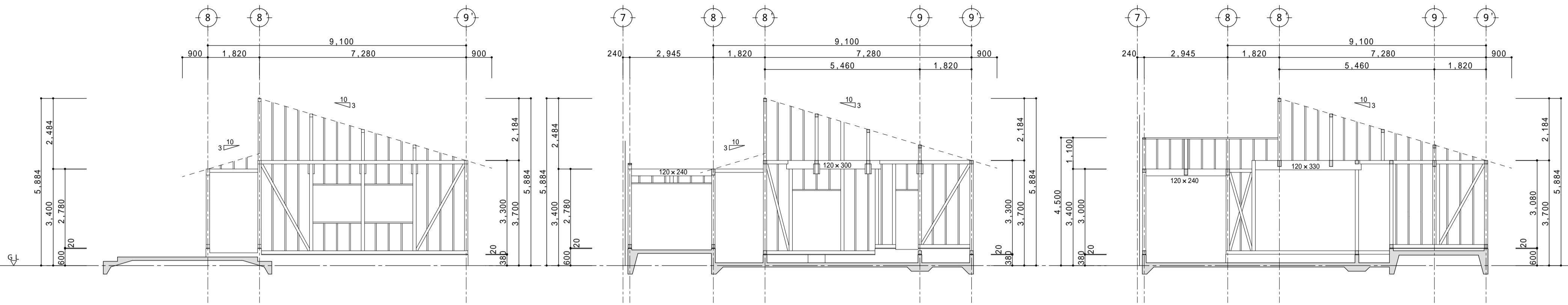
一級建築士事務所 栃木県知事登録 A八 第2617号  
**建築設計 大高** 大臣登録第200584号  
 一級建築士 大高 智  
 栃木県那須郡那須町寺子乙3938-95 TEL0287-72-6372 FAX0287-72-7263

工事名称  
 伊王野保育園保育室増築工事

図面名称  
 小屋伏図

縮尺  
 S = 1/100

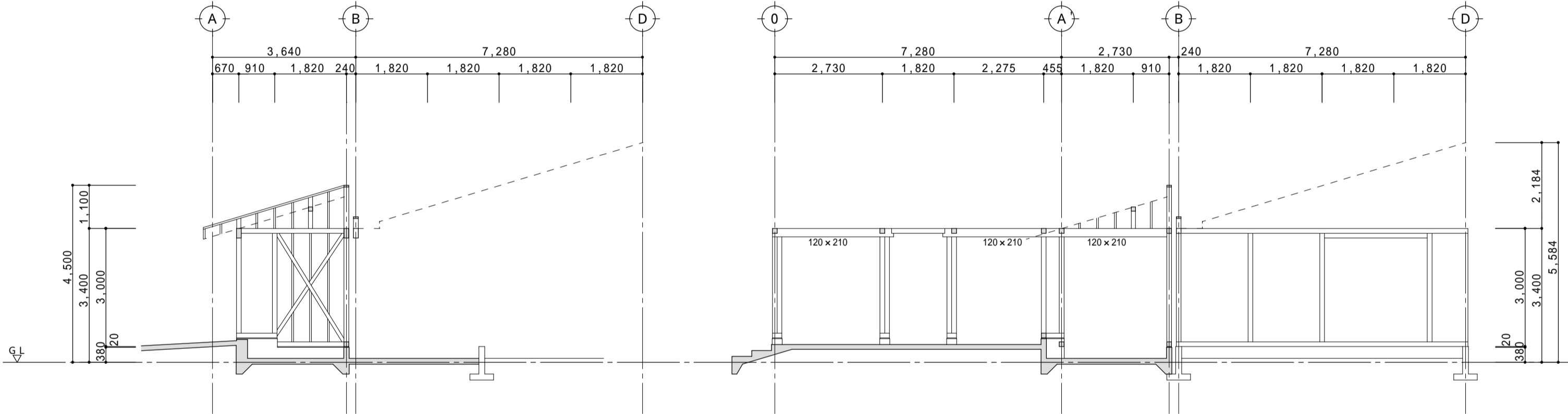
図面番号  
 A - 29



0 通り軸組図 S=1/100

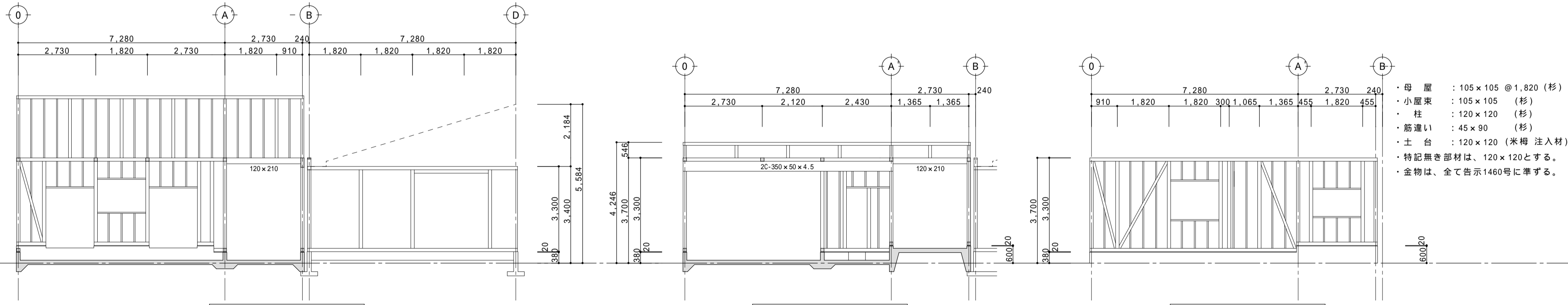
A' 通り軸組図 S=1/100

B 通り-240軸組図 S=1/100



7 通り+240軸組図 S=1/100

8 通り軸組図 S=1/100




8' 通り軸組図 S=1/100

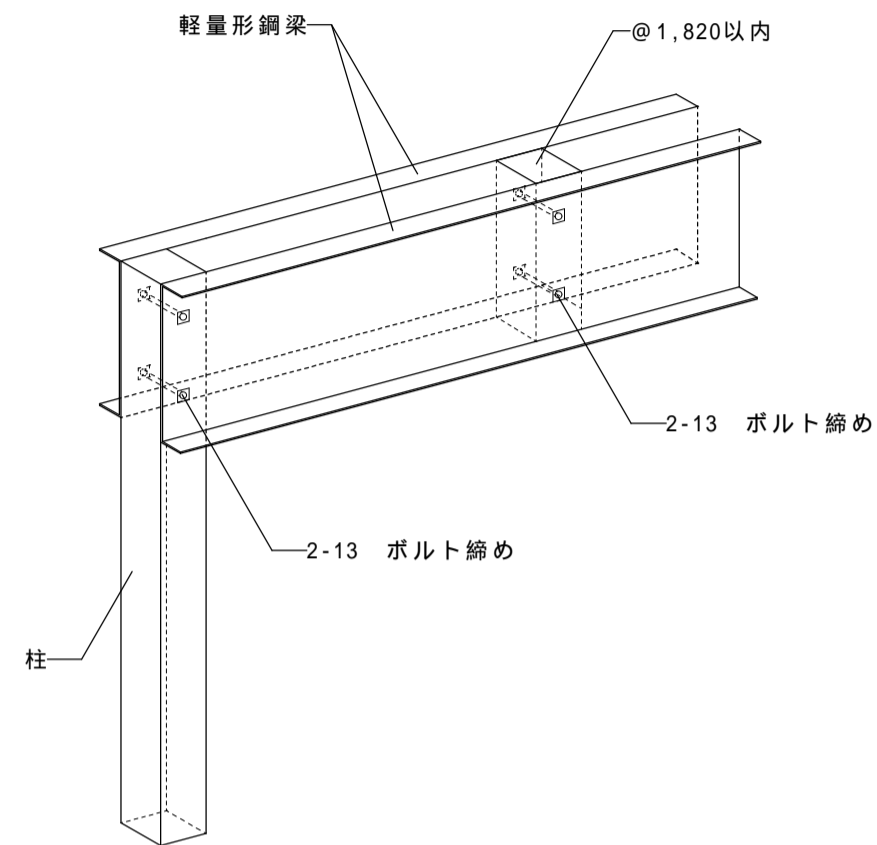
9 通り軸組図 S=1/100

9' 通り軸組図 S=1/100

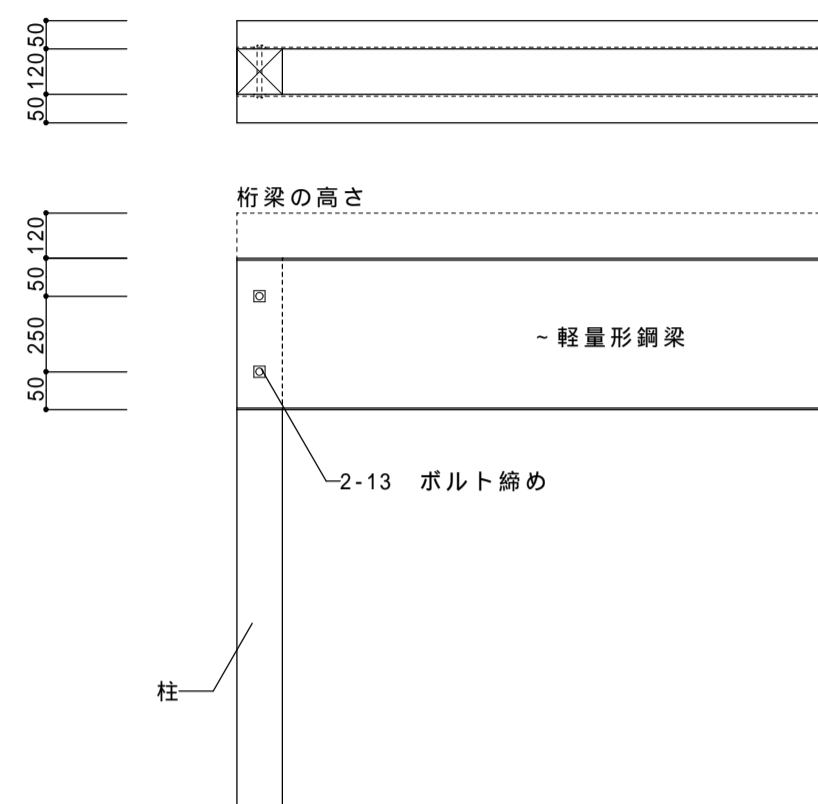
- ・母屋 : 105 × 105 @ 1,820 (杉)
- ・小屋束 : 105 × 105 (杉)
- ・柱 : 120 × 120 (杉)
- ・筋違い : 45 × 90 (杉)
- ・土台 : 120 × 120 (米梅 注入材)
- ・特記無き部材は、120 × 120とする。
- ・金物は、全て告示1460号に準ずる。

特記事項	一級建築士事務所 栃木県知事登録 A 八 第2617号	工事名称	図面名称	縮尺	図面番号
	 <b>建築設計 大高</b> 一級建築士 大高 智 栃木県那須郡那須町寺子乙3938-95 TEL0287-72-6372 FAX0287-72-7263	伊王野保育園保育室増築工事	軸組図	S = 1/100	A - 30

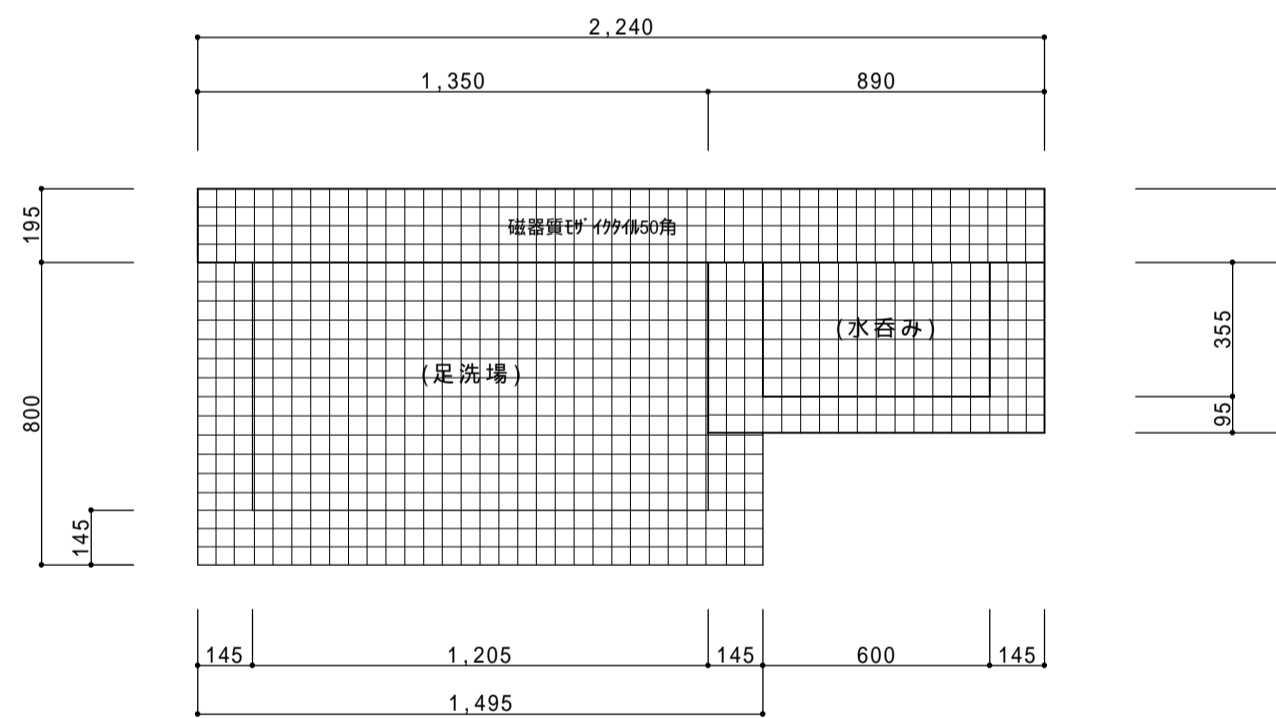
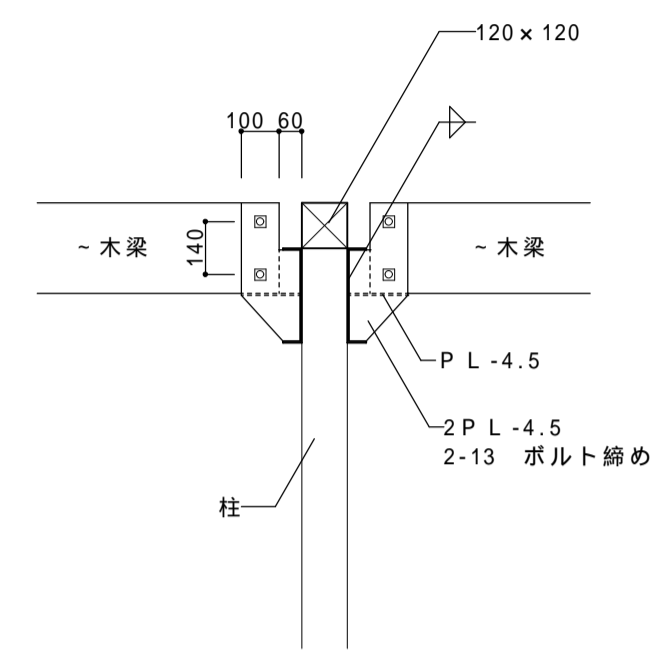
木材と軽量形鋼梁の取合



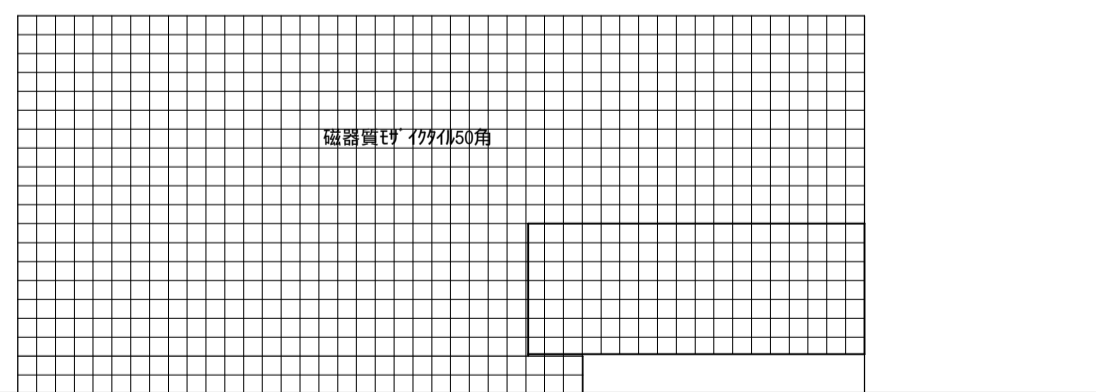
柱と軽量形鋼梁の取合



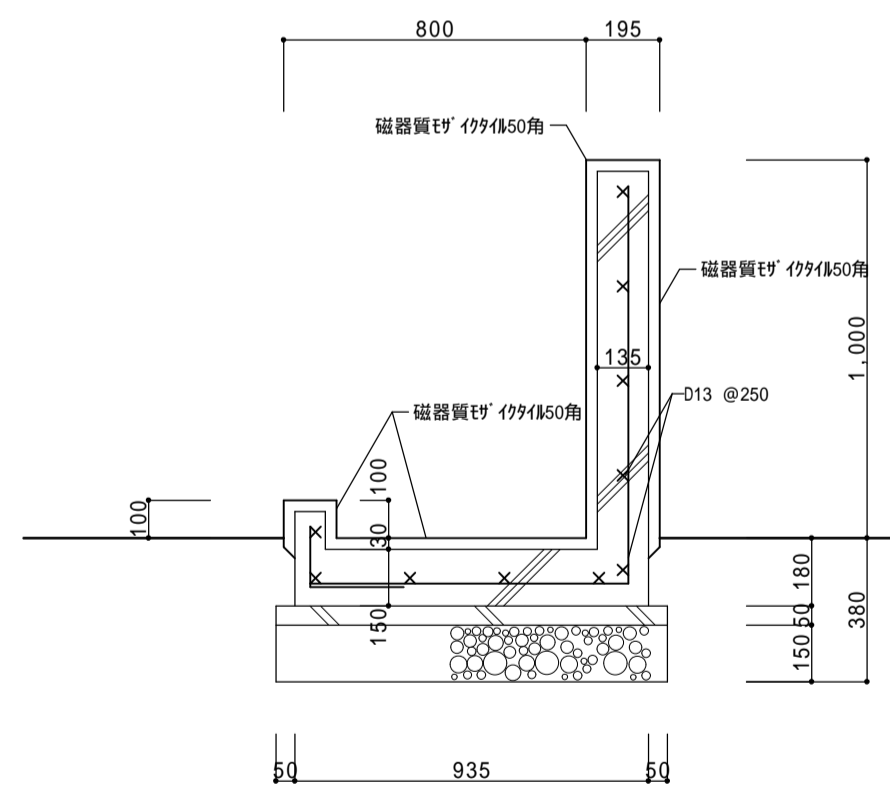
軽量形鋼梁と木梁の取合



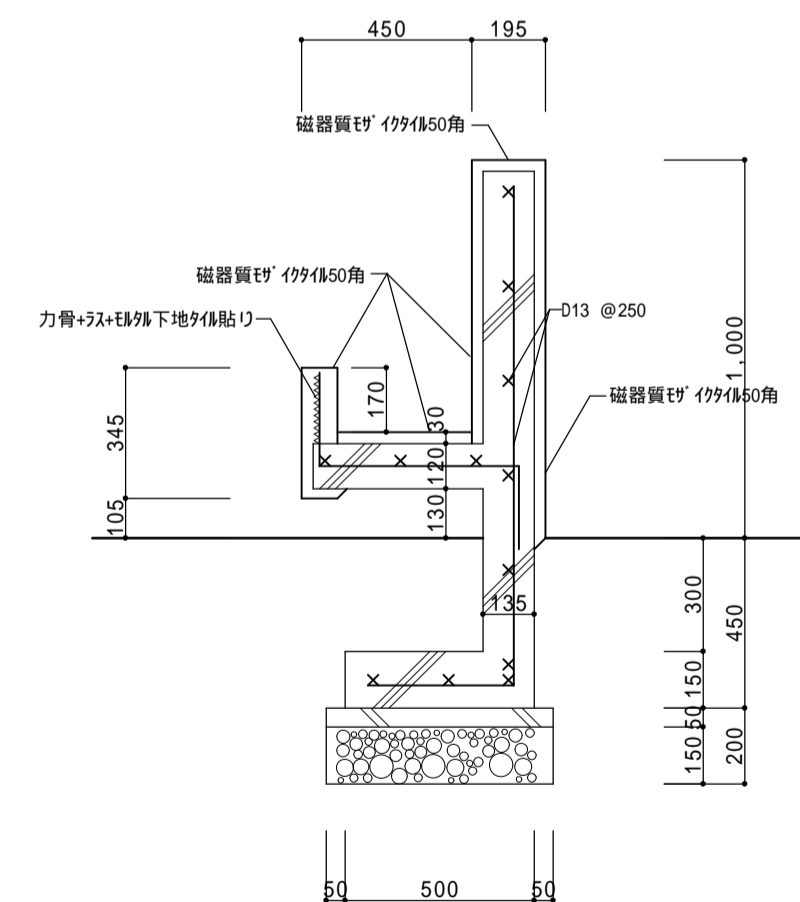
水呑み足洗場平面図 S=1/20



水呑み足洗場立面図 S=1/20



足洗場断面図 S=1/20



水呑み断面図 S=1/20

特記事項

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

一級建築士事務所 栃木県知事登録 A 八 第2617号  
**建築設計 大高** 大臣登録第200584号  
 一級建築士 大高 智  
 栃木県那須郡那須町寺子乙3938-95 TEL0287-72-6372 FAX0287-72-7263

工事名称

伊王野保育園保育室増築工事

図面名称

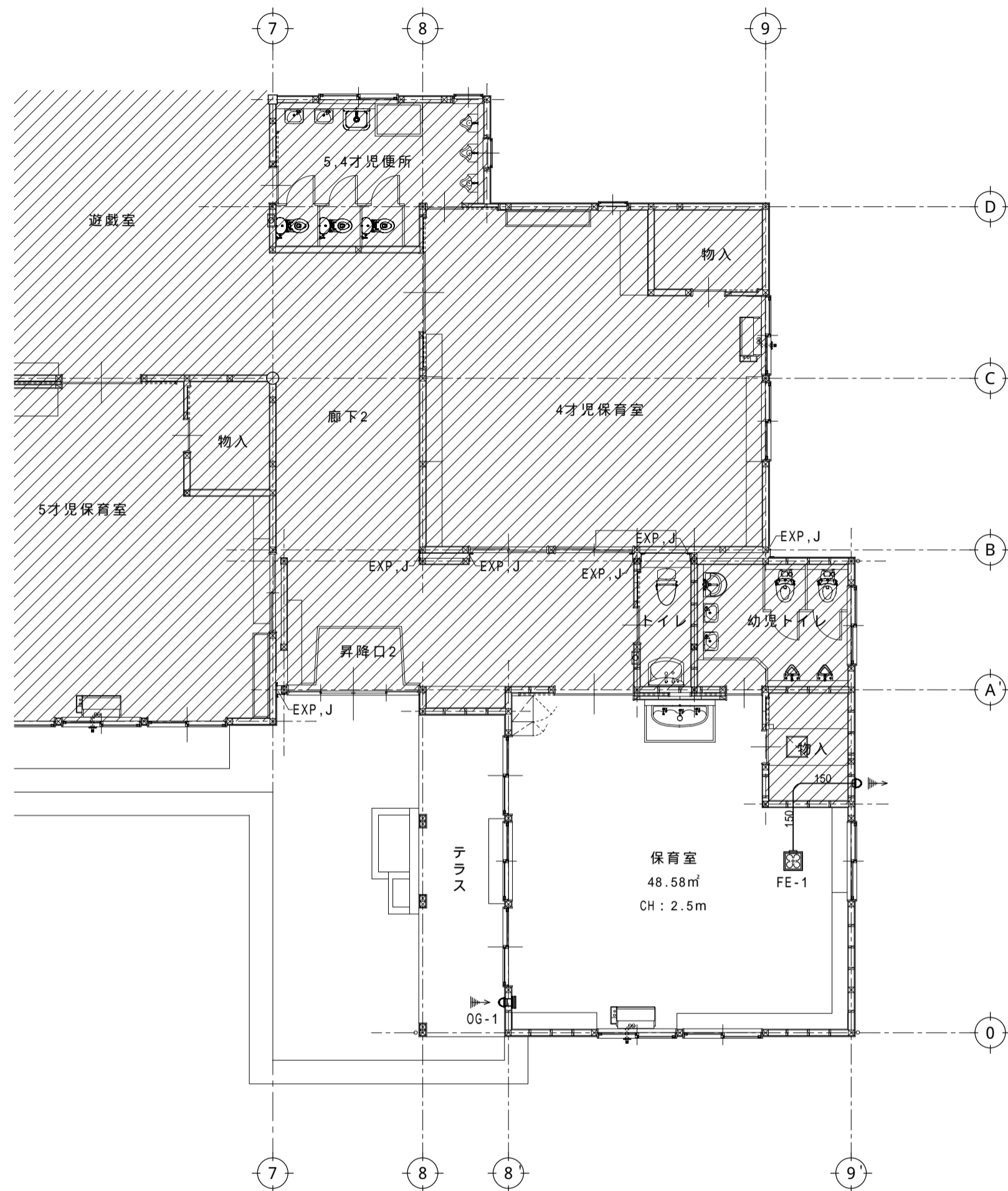
雑詳細図

縮尺

S = 1/20

図面番号

A - 31



平面図 S=1/100

- 凡例
- 換気対象外のエリア
  - 排気ファン
  - 給気口
  - 建具等の通気
  - アンダーカット

(居室毎の機械換気設備)

室名	床面積 m <sup>2</sup>	平均天井高 m	気種 m <sup>3</sup>	換気種別	給気機による 給気量(A) m <sup>3</sup> /h	排気機による 排気量(B) m <sup>3</sup> /h	換気回数 n
保育室	48.58	2.50	121.45	第3種		230	
合計			121.45	第3種		230	1.89

記号	名称	仕様	台数	換気風量	有効換気量
FE-1	排気ファン	天井扇 150 (VD-20ZLXP10-CS程度)	1	280 m <sup>3</sup> /h	230 m <sup>3</sup> /h
OG-1	自然吸気孔	壁付け 150 (P-18WQU)	1		

特記事項

一級建築士事務所 栃木県知事登録 A 八 第2617号  
**建築設計 大高** 大臣登録第200584号  
 一級建築士 大高 智  
 栃木県那須郡那須町寺子乙3938-95 TEL0287-72-6372 FAX0287-72-7263

工事名称  
伊王野保育園保育室増築工事

図面名称  
24H換気計画図

縮尺  
S = 1/100

図面番号  
A - 32



項 目	特 記 事 項													
① 非常用照明器具	電池内蔵形 電源別置形 蓄電池(10分) + 自家発電設備													
② 誘導灯	電池内蔵形 電源別置形 標識													
③ 配線器具	(1)防災設備、コンセントについては消防法に適合すること。 (2)住宅用スイッチ、コンセント類は 大角形(金属プレート) - 共用部 ワイドハンドル形 - 住戸内													
④ 住宅用分電盤	主開閉器・分岐開閉器の定格遮断電流 [単位 A]													
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>定格電流</td> <td>定格遮断電流</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主開閉器</td> <td>30以下</td> <td>2,500以上</td> </tr> <tr> <td>30を超え100以下</td> <td>5,000以上</td> </tr> <tr> <td>100を超え150以下</td> <td>10,000以上</td> </tr> <tr> <td>分岐開閉器</td> <td>-</td> <td>2,500以上</td> </tr> </table> <p>(公任仕1.1.4)</p> <p>住宅用分電盤内に設置する過電流警報装置の品質及び性能 ( 機材の品質・性能基準 )</p>		定格電流	定格遮断電流	主開閉器	30以下	2,500以上	30を超え100以下	5,000以上	100を超え150以下	10,000以上	分岐開閉器	-	2,500以上
	定格電流	定格遮断電流												
主開閉器	30以下	2,500以上												
	30を超え100以下	5,000以上												
	100を超え150以下	10,000以上												
分岐開閉器	-	2,500以上												
5 その他	(1) 特殊コンセントにはプラグを付属させる。 別途機械設備工事機器仕様コンセント(エッチング)については打合せすること。 (2) コンセントのうち次のものは、プレートに電圧等の表示を行う。 ・ 単相200V ・ 三相200V ・ 一般電源用以外( 発電機回路、UPS回路等) 赤字等で表示する													
1 機器への接続	(1) 本工事制御盤より別途電動機等への配線の接続は、原則として 本工事 別途工事 とする。 (2) 電動機等への接続は、ビニル2種金属製可とう電線管(防水ブリカ)を使用する。 (3) 遮断器の定格電流は、メーカー推奨品を優先とする。													
② 電動機の接地	金属管接地 専用接地線													
1 制御盤	標準仕様書によるが、盤内の器具類の構成配置は監督職員の承諾のうえ、製造者の標準として良い。													
2 温度調節器	電気式 電子式													
3 その他														
1 突針支持管	鋼製(溶融亜鉛メッキ HDZ35以上) ステンレス製 (強度計算書を監督職員に提出すること)													
2 避雷導線	引下げ導線 建築構造体利用													
3 接地極	接地極埋設 建築構造体利用													
4 その他	接続部分については、異種金属接触腐食(電食)を起こさないように施工すること。													
1 高圧開閉器 (屋外用)	高圧気中開閉器(SOG)は( 方向性 VT内蔵 LA内蔵) 既存 高圧ガス開閉器(UGS)は( 方向性 VT内蔵) 既存													
2 主遮断装置	高圧交流遮断器(VCS)は( 手動式 電磁式) 既存													
3 設備内容	進相コンデンサ(自動力率制御 有り 無し) デマンド監視装置( 有り 無し)													
4 配電盤	屋内形( 開放形 閉鎖形) 屋外形 キュービクル式非常電源 専用受電設備認定品													
5 その他	(1) キャビネット内の換気計算については、日本配電制御システム工業会の計算方法を参考にして計算すること。 (2) 保護継電器の保護協調曲線を作成し、監督職員に提出し、承諾を受けること。 なお、改修工事についても同様とする。													
1 直流電源装置	非常用照明器具の電源と共用 受変電設備専用 蓄電池 鉛蓄電池 種別( CS形 PS形 MSE形 長寿命MSE形 HSE形) アルカリ蓄電池 種別( AMP形 AHWP形 AHP形 AHS形 AHHS形 AHHE形)													
2 交流無停電電源装置 (UPS)	常時インバータ給電方式 常時インバータ給電方式(簡易型) ラインインタラクティブ方式 常時商用給電方式													
3 電力貯蔵装置 (電力平準化等用)	リチウム二次電池 鉛蓄電池 ニッケル水素電池													
4 その他	(1) キャビネット内の換気計算については、日本配電制御システム工業会の計算方法を参考にして計算すること。 (2) 簡易形については、監督職員の承諾のうえ、製造者の標準として良い。													

1 自家発電設備	(1)発電装置の用途 防災用自家発電装置 常用自家発電装置 常用防災兼用自家発電装置 (2)原動機 種類 ディーゼル ガスエンジン ガスタービン マイクロガスタービン 始動方式 電気始動式 空気始動式 起動蓄電池( 標準 長寿命型) 冷却方式 水冷式( 循環方式 ラジエーター方式) 空冷式 (3)燃料 種類 A重油 軽油 灯油 燃料小出槽 ( 本工事 別途工事) 主燃料槽 ( 専用 他設備と共用) (4)形式 キュービクル式 ( 一般用 寒冷地仕様 低騒音仕様) オープン式 (5)発電種類 普通形自家発電装置 即時普通形自家発電装置 長時間形自家発電装置 即時長時間形自家発電装置 (6)運転時間 72時間 10時間 時間 (7)配電盤 監督職員の承諾のうえ、製造者の標準として良い。 太陽電池モジュール 結晶シリコン系 ( 単結晶 多結晶) 薄膜系 ( アモルファス CIS CIGS) 接続方式 三相3線式 200V 単相3線式 200/100V その他 ・JET認証品とする。 ・JIS C8955に基づき、荷重計算を実施し監督職員の承諾を得ること。 ・OVGRの設置 有 無 ・太陽電池アレイ用支持物の荷重計算に係わる用途係数 極めて重要な太陽光発電システム 通常設置する太陽光発電システム
2 太陽光発電設備	
1 構内情報通信網装置	有 無
2 構内情報通信網装置の構成性能	図示による。 その他追加機能
1 交換装置	デジタルPBX IP-PBX VoIPサーバ 既存
2 電話機	一般形 多機能形 IP形 ファクシミリ デジタルコードレス形 IPコードレス形 停電用電話機
3 その他	追加サービス機能
1 マルチサイン	表示方式 発光ダイオード式 液晶式 EL式 種類 壁掛型 自立型 2 時刻表示装置 親時計 子時計 プログラムタイマー 電子チャイム 時刻同期装置 標準電波方式 公衆回線方式 ラジオ放送方式 GPS方式 地上デジタル放送方式 NTPサーバ方式 3 出退表示装置 制御方式 多線直接式 パルス伝送式 表示方式 発光ダイオード式 液晶式 検針盤 手動式 自動式 配線 3線式 5線式
1 プロジェクタ	本工事 別途工事 種類 液晶形 DLP形 投写方式 前面式 背面式 スクリーン 形式 反射マット形 反射ビーズ形 反射細密ビーズ形 反射ストライプ形 透過形 設置方式 上巻きタイプ 下巻きタイプ 張込タイプ その他 機器収納ラックは監督職員の承諾のうえ、製造者標準として良い。 本工事 別途工事
2 テレビ	
1 拡声装置	種類 一般放送用 非常放送用 形式 卓上形 キャビネットラック形 アンテナ AM( ステンレス鋼製 ) FM( 耐食アルミニウム製 ステンレス鋼製)

1 誘導支援装置	音声誘導装置( 無線式 磁気式 画像認識式) インターホン装置( テレビインターホン 外部受付用インターホン) トイレ等呼出装置( 壁掛式 ラック収納式 卓上式) 住宅情報盤装置 消防法に適合した旨の表示をすること 公共住宅の住宅情報盤装置の品質及び性能 ( 機材の品質・性能基準 ) インターホンオートドアロック装置 宅配ボックス装置 公共住宅の宅配ボックスの品質及び性能 ( 機材の品質・性能基準 )
① テレビ共同受信装置	種類 UHF BS CS CATV FM AM その他 増幅器を収容する場合は、AC125V2P15A接地端子付きのコンセントを設ける。 テレビ端子及び直列ユニットはCS・BS・UV共用形、プラグ付きとする。 地上デジタル放送を受信できるものとする。 公共住宅のテレビ機器・FMアンテナの品質及び性能 ( 機材の品質・性能基準 )
① 監視カメラ装置	伝送方式 アナログ伝送方式 ネットワーク伝送方式 録画装置 デジタルレコーダ 録画サーバ その他 ・高所に設置する場合は落下防止の措置を施すこと。
1 駐車場管制装置	検知方式 光線式検知器式 ループコイル式 信号灯・警報灯 天井つり下げ形 自立形 壁掛形
① 防犯装置	本工事 本工事(配管のみ) 別途工事 制御装置 基本機能以外の追加機能 方式 磁気カード 暗証番号 ICカード(接触式) ICカード(非接触式) バイオメトリックス 本工事 別途工事
1 自動火災報知装置	受信機 P型 級 回線 ( 新設 既設) R型 回線 ( 新設 既設) GP型 級 回線 ( 新設 既設) GR型 回線 ( 新設 既設) 副受信機 回線 ( 新設 既設) 2 自動閉鎖設備 運動制御器(盤) 回線 ( 単独 受信機と一体) 3 非常警報装置 機器一体形 各機器単独に設置 (非常ベル) 4 ガス漏れ火災警報装置 個別式 集中監視式 回線 ガスの種類 都市ガス( 種類 ) 液化石油ガス 冷媒ガス ⑤ 住宅用自動火災報知装置 共同住宅用非常警報設備 ( 共用部分) 非常警報装置の蓄電池は、 警報操作盤に組み込む 機器一体型 住戸用自動火災報知設備 ( 住戸等と非開放の共用部分) 共同住宅用自動火災報知設備
1 中央監視制御装置	警報盤 簡易型監視制御装置 監視制御装置
2 中央監視制御装置の構成・性能	図示による。

1 配線方式	地中線式 架空線式	
2 地中線路の余長	マンホール、ハンドホール内でのケーブルの余長を見込むこと。	
3 装柱器材	一般形 耐塩形(ケーブル端末処理材共)	
4 付属品	マンホール用梯子 ハンドホール用手カギ	
5 屋外灯設備	(1)電源供給方式 共用盤から供給 単独引込(定額料金) (2)点滅方式 自動点滅器 タイマ (廊下共用灯は、 自動点滅器 タイマ)	
6 その他	(3)鋼管柱 塩ビコーティング 耐候性鋼製 (1) ハンドホール内のケーブル及び指定する箇所には、行先表示プレート(プラスチック製等に刻字)を取付け、プルボックス及びカバープレート類についても適当な方法により内容表示を行うものとする。 (2) 地中配線には、埋設シート等を中間に設けるものとする。 (3) 電柱等立ち上がり部のケーブルについては、電線管により保護すること。	
1 配線方式	地中線式 架空線式	
2 地中線路の余長	マンホール、ハンドホール内でのケーブルの余長を見込むこと。	
3 地中線保護材料	ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管(GLT) 波付硬質合成樹脂管(FEP) 硬質ビニル管(VE) マンホール用梯子	
4 付属品	ハンドホール用手カギ	
5 その他	(1) ハンドホール内のケーブル及び指定する箇所には、行先表示プレート(プラスチック製等に刻字)を取付け、プルボックス及びカバープレート類についても適当な方法により内容表示を行うものとする。 (2) 地中配線には、埋設シート等を中間に設けるものとする。 (3) 電柱等立ち上がり部のケーブルについては、電線管により保護すること。	
工 事 名 称	伊王野保育園保育室増築工事	
図面名称 / 縮尺	仕様書(その2)	図面番号
設計年月日	一級建築士(第200584号) 大高 智 建築設計 大高	E-02
設計者		
発注者	那 須 町	

項 目	特 記 事 項																																																																																													
① 施工調査	・ はつり工事は事前に走進式埋設物調査を行い、監督職員に報告する。 ・ 配線・機器工事は、事前に絶縁抵抗、接地抵抗を確認し、監督職員に報告する。 分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線において、配線経路、電線サイズ、電線本数、管路サイズなどは機能を優先し、監督職員の承諾を受けて変更しても差し支えない。 下記の露出配管は塗装を行う。 屋外 屋内( ) 塗装を行う場合、露出配管等は合成樹脂調合ペイント1種(JIS K5516)2回塗りを行う。 亜鉛めっき面は、エッチングプライマー1種(JIS K5633)による化学処理を行う。 長さ1m以上の入線しない電線管には、電線太さ1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。 図面に特記なき場合は、コンセント2P15A(接地極付)は、プラグ不要とする。																																																																																													
② 電線本数・管路	有 無 有 無																																																																																													
③ 金属製露出管路	キュービクル式配電盤の板厚は下記による。																																																																																													
④ 呼び線(導入線)																																																																																														
⑤ コンセント																																																																																														
⑥ 一般照明の照度測定																																																																																														
⑦ 非常用の照明装置の照度測定箇所数																																																																																														
⑧ キャビネット																																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">構成部</th> <th colspan="2">鋼板の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <th>屋内</th> <th>屋外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>側面部</td> <td rowspan="5">1.6以上</td> <td>2.3以上</td> </tr> <tr> <td>底板</td> <td>1.6以上</td> </tr> <tr> <td>屋根板</td> <td>2.3以上</td> </tr> <tr> <td>仕切板</td> <td>1.6以上</td> </tr> <tr> <td>ドア及び前面板</td> <td>2.3以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>制御盤、分電盤の板厚は下記による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">正面の面積</th> <th colspan="2">鋼板の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <th>鋼板</th> <th>ステンレス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.2㎡以下</td> <td>1.2以上</td> <td>1.0以上</td> </tr> <tr> <td>0.2㎡を超えるもの</td> <td>1.6以上</td> <td>1.2以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>端子盤・機器収納ラック等の板厚は下記による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">正面の面積</th> <th colspan="2">鋼板の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <th>鋼板</th> <th>ステンレス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.1㎡以下</td> <td>1.0以上</td> <td>0.8以上</td> </tr> <tr> <td>0.1㎡を超え0.2㎡以下</td> <td>1.2以上</td> <td>1.0以上</td> </tr> <tr> <td>0.2㎡を超えるもの</td> <td>1.6以上</td> <td>1.2以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>接地抵抗値は下記による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>接地の種類</th> <th>記号</th> <th>接地抵抗値</th> <th>接地種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同接地</td> <td>EA,D</td> <td>以下</td> <td>EB(14)×3連2組 図面特記による</td> </tr> <tr> <td>共同接地</td> <td>EA,C,D</td> <td>以下</td> <td>EB(14)×3連2組 図面特記による</td> </tr> <tr> <td>A種接地</td> <td>EA</td> <td>10 以下</td> <td>EB(14)×3連2組 銅板式(900×900×1.5t)</td> </tr> <tr> <td>B種接地</td> <td>EB</td> <td>以下</td> <td>EB(14)×3連1組 銅板式(600×600×1.5t)</td> </tr> <tr> <td>D種接地</td> <td>ED</td> <td>100 以下</td> <td>EB(10)×1(L=1000mm)</td> </tr> <tr> <td>C種接地</td> <td>EC</td> <td>以下</td> <td>EB(14)×3連2組</td> </tr> <tr> <td>高圧避雷器</td> <td>ELH</td> <td>10 以下</td> <td>EB(14)×3連2組 銅板式(900×900×1.5t)</td> </tr> <tr> <td>避雷設備</td> <td>EL</td> <td>以下</td> <td>EB(14)×3連2組 銅板式(900×900×1.5t)</td> </tr> <tr> <td>交換機用</td> <td>Et</td> <td>以下</td> <td>EB(14)×3連 組</td> </tr> <tr> <td>通信用</td> <td>EAt</td> <td>10 以下</td> <td>EB(14)×3連2組</td> </tr> <tr> <td>通信用</td> <td>Ect</td> <td>100 以下</td> <td>EB(10)×1(L=1000mm)</td> </tr> <tr> <td>測定用</td> <td>EO</td> <td>以下</td> <td>EB(10)×1(L=1000mm)</td> </tr> </tbody> </table> <p>B種接地については、電力会社と協議する。 印は、接地極寸法を示す。 (1)接地極の埋設位置で、監督員の指示する箇所に接地極埋設標を設ける。 (2)外灯の接地は 各ポールごと 専用接地線</p> <p>SPDを 低圧線路 弱電線路 に設ける。 電灯分電盤 動力制御盤 弱電盤 図面特記参照</p>	構成部	鋼板の厚さ(mm)		屋内	屋外	側面部	1.6以上	2.3以上	底板	1.6以上	屋根板	2.3以上	仕切板	1.6以上	ドア及び前面板	2.3以上	正面の面積	鋼板の厚さ(mm)		鋼板	ステンレス	0.2㎡以下	1.2以上	1.0以上	0.2㎡を超えるもの	1.6以上	1.2以上	正面の面積	鋼板の厚さ(mm)		鋼板	ステンレス	0.1㎡以下	1.0以上	0.8以上	0.1㎡を超え0.2㎡以下	1.2以上	1.0以上	0.2㎡を超えるもの	1.6以上	1.2以上	接地の種類	記号	接地抵抗値	接地種	共同接地	EA,D	以下	EB(14)×3連2組 図面特記による	共同接地	EA,C,D	以下	EB(14)×3連2組 図面特記による	A種接地	EA	10 以下	EB(14)×3連2組 銅板式(900×900×1.5t)	B種接地	EB	以下	EB(14)×3連1組 銅板式(600×600×1.5t)	D種接地	ED	100 以下	EB(10)×1(L=1000mm)	C種接地	EC	以下	EB(14)×3連2組	高圧避雷器	ELH	10 以下	EB(14)×3連2組 銅板式(900×900×1.5t)	避雷設備	EL	以下	EB(14)×3連2組 銅板式(900×900×1.5t)	交換機用	Et	以下	EB(14)×3連 組	通信用	EAt	10 以下	EB(14)×3連2組	通信用	Ect	100 以下	EB(10)×1(L=1000mm)	測定用	EO	以下	EB(10)×1(L=1000mm)
構成部	鋼板の厚さ(mm)																																																																																													
	屋内	屋外																																																																																												
側面部	1.6以上	2.3以上																																																																																												
底板		1.6以上																																																																																												
屋根板		2.3以上																																																																																												
仕切板		1.6以上																																																																																												
ドア及び前面板		2.3以上																																																																																												
正面の面積	鋼板の厚さ(mm)																																																																																													
	鋼板	ステンレス																																																																																												
0.2㎡以下	1.2以上	1.0以上																																																																																												
0.2㎡を超えるもの	1.6以上	1.2以上																																																																																												
正面の面積	鋼板の厚さ(mm)																																																																																													
	鋼板	ステンレス																																																																																												
0.1㎡以下	1.0以上	0.8以上																																																																																												
0.1㎡を超え0.2㎡以下	1.2以上	1.0以上																																																																																												
0.2㎡を超えるもの	1.6以上	1.2以上																																																																																												
接地の種類	記号	接地抵抗値	接地種																																																																																											
共同接地	EA,D	以下	EB(14)×3連2組 図面特記による																																																																																											
共同接地	EA,C,D	以下	EB(14)×3連2組 図面特記による																																																																																											
A種接地	EA	10 以下	EB(14)×3連2組 銅板式(900×900×1.5t)																																																																																											
B種接地	EB	以下	EB(14)×3連1組 銅板式(600×600×1.5t)																																																																																											
D種接地	ED	100 以下	EB(10)×1(L=1000mm)																																																																																											
C種接地	EC	以下	EB(14)×3連2組																																																																																											
高圧避雷器	ELH	10 以下	EB(14)×3連2組 銅板式(900×900×1.5t)																																																																																											
避雷設備	EL	以下	EB(14)×3連2組 銅板式(900×900×1.5t)																																																																																											
交換機用	Et	以下	EB(14)×3連 組																																																																																											
通信用	EAt	10 以下	EB(14)×3連2組																																																																																											
通信用	Ect	100 以下	EB(10)×1(L=1000mm)																																																																																											
測定用	EO	以下	EB(10)×1(L=1000mm)																																																																																											
⑨ 接地極	<p>12 天井仕上げ表示</p> <p>⑬ 他工事との取合い</p>																																																																																													
10 SPD																																																																																														

名称	測点	取付高[mm]
ブラケット(一般)	床下-中心	2,100
"(踊場)	"	2,500
"(鏡上)	鏡上端-中心	150
避難口誘導灯	床下-下端	1,500以上
廊下通路誘導灯	床下-上端	1,000以下
スイッチ(一般)	床下-中心	1,300
"(多機能トイレ)	"	1,100
ｺﾝﾍﾞﾝﾄ、電話用ﾌｯﾄﾚｯﾄ、直列ｺﾝﾍﾞﾝﾄ(一般)	"	300
"(和室)	"	150
"(台上)	台上-中心	150
コンセント(庫庫)	床下-中心	800
引込開閉器箱(低圧)	床下-上端	1,500
分電盤、制御盤、実験盤	床下-中心	1,500(上端1,900以下)
開閉器箱	"	1,500
電磁開閉器用押しボタン	"	1,300
接地用端子箱	地上、床下-中心	500
避雷接地用端子箱	床下-下端	800
接地極埋設標	地上-中心	600
給油ボックス	地上-給油口	1,000
中間端子盤(EPS電気室)	床下-中心	1,500
腕時計	"	1,500(上端1,900以下)
子時計、スピーカ	"	(天井高)×0.9
アッチネータ	"	1,300
出退表示盤	"	(天井高)×0.9
発信機(出退表示用)	"	1,300
インターホン	"	1,500
身体障害者用インターホン子機	"	1,100
呼出ボタン(多機能トイレ)	"	900
権限ボタン( )	"	1,800
廊下表示灯( )	"	2,000
テレビ機器収容箱	"	1,800
火報受信機(複合盤)	床下-操作部	800-1,500
副受信機	床下-中心	1,500
自動報機器収容箱	"	800-1,500
発信機	"	800-1,500
警報ベル	"	(天井高)×0.9
表示灯	"	(天井高)×0.8
連動制御器(自動閉鎖)	"	1,500
ガス漏れ検知器(LPGガス)	"	300
"(都市ガス)	天井面-中心	(天井面)-200

[備考] (天井高)×0.9及び(天井高)×0.8は天井高が2500-3000mmの場合に適用する。

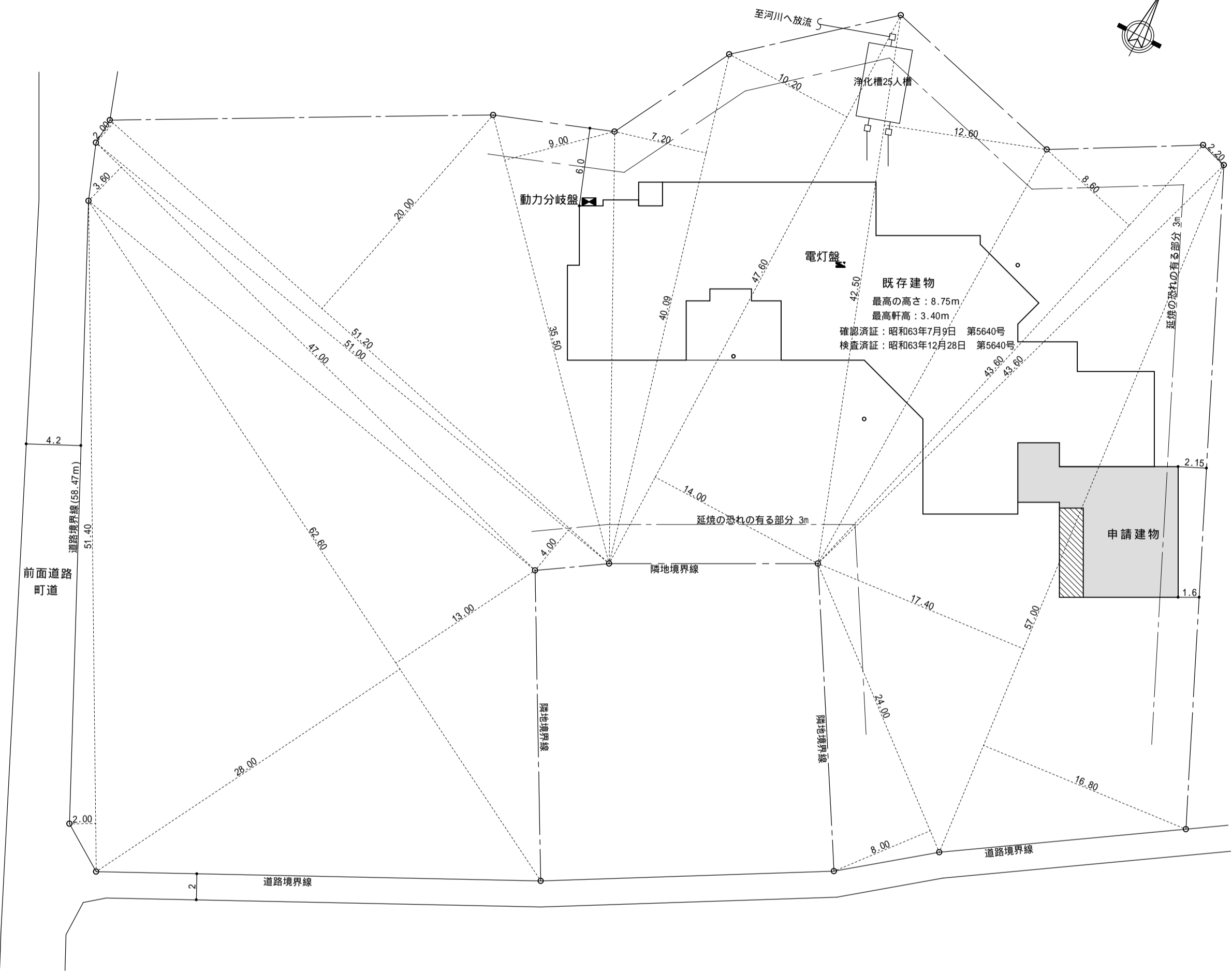
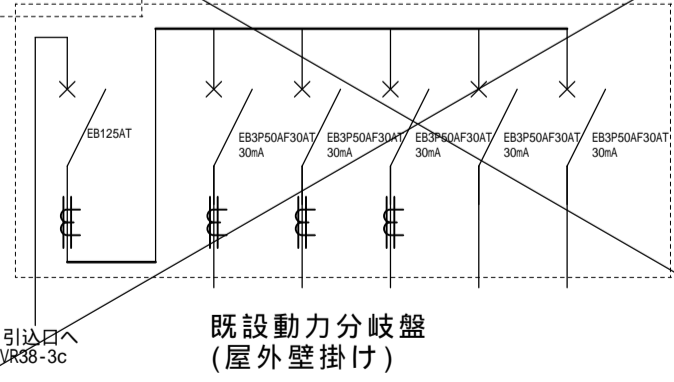
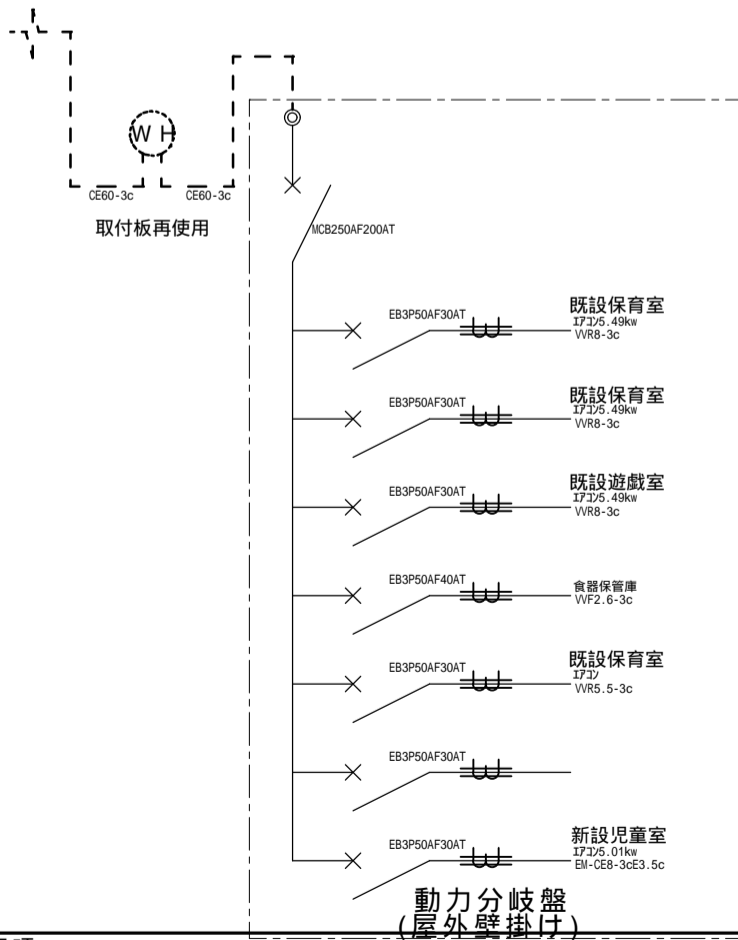
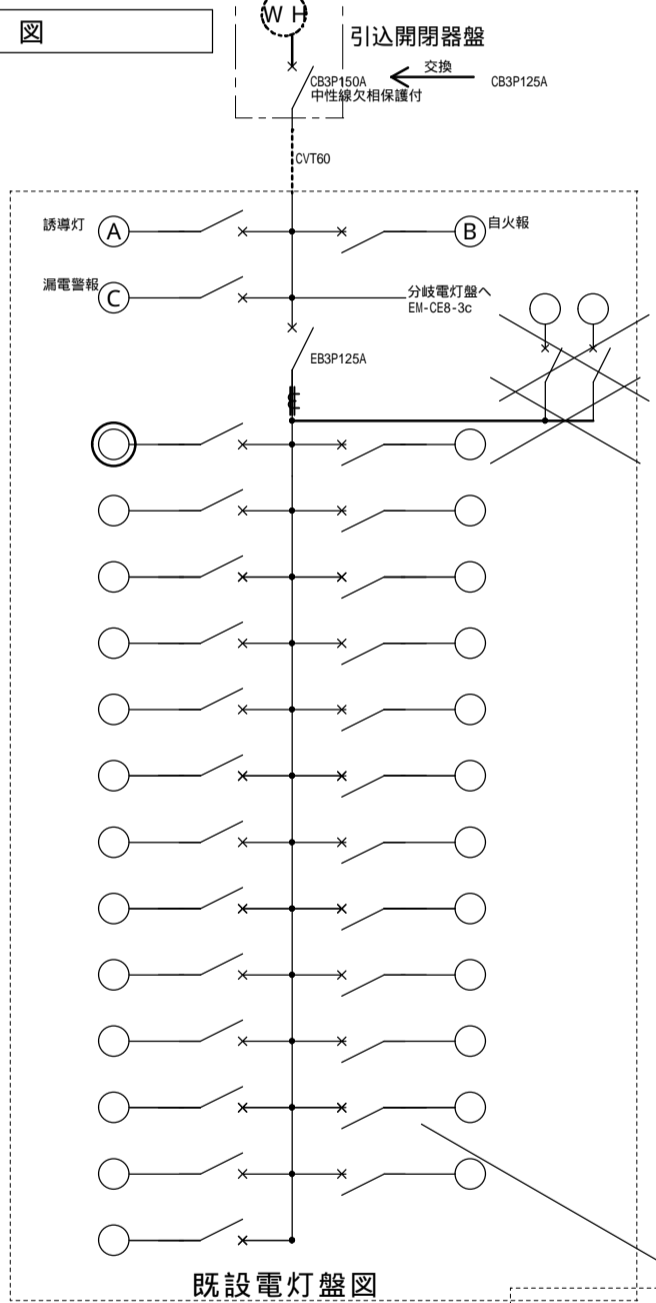
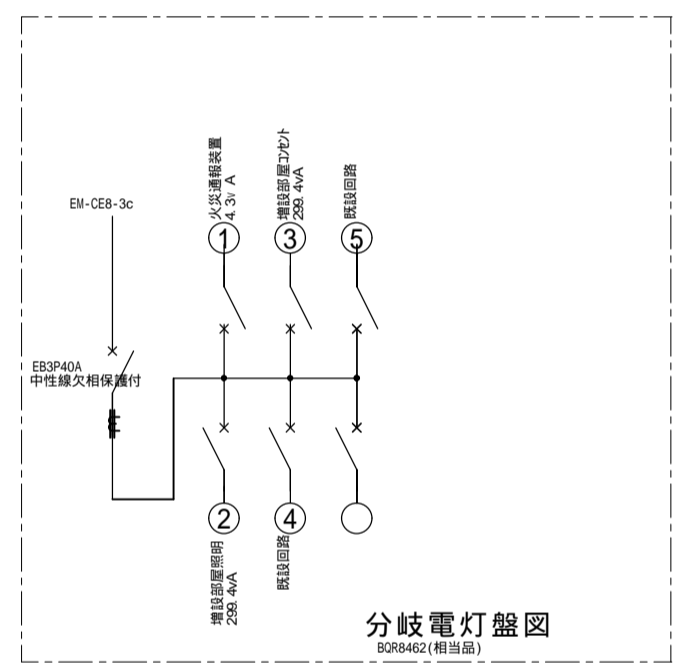
図面において、室名に( )を付したものは直天井の室、それ以外は二重天井の室を示す。  
他工事との取合いは別表1による、機器の位置、取合い等の検討できる施工図を施工に支障をきたさない時期までに提出して、監督職員の承諾を受ける。

別表-1 他工事との取合い	印を適用する。				
工 事 内 容	建築工事	電気設備工事	機械設備工事	塗装工事	昇降機
仮設電力の引込み(分電盤・キュービクルまで)					
"(上記以降)					
仮設電力の電気料					
本受電後の電気基本料金					
本受電後引渡しまでの電気使用料					
仮設水道の引込み(メーターまで)					
"(上記以降)					
仮設水道及び本設後引き渡しまでの使用料					
梁・壁・床の開口、貫通、埋込部のスリーブ・型枠(電気、機械の配管等)					
すべての開口、貫通、埋込部の補強					
屋上に設置する機器の基礎(電気及び機械機器)					
屋内及び屋外に設置する機器の基礎(電気及び機械機器)					
天井・壁(軽量鉄骨下地)に付く機器の位置・搬出し					
天井・壁(軽量鉄骨下地)に付く機器の開口部補強を要しない場合の切込み					
天井・壁(軽量鉄骨下地)に付く機器の開口部補強を要する場合の切込み					
天井・壁(軽量鉄骨下地)に付く機器の開口部補強					
天井換気扇の取付					
緊急用換気扇の取付					
同上取付枠					
高検口の取付(床・壁・天井・PS等)					
防煙ダンパー					
同上 煙感知器の配管・配線					
床仕上げ材の穴あけ(フローリングブロック等)					
ルーフトレイン及び縦どい(樹及び樹溝までの配管)					
配線ビット及び蓋					
電極棒及びフロートスイッチ					
自動庫、電動シャッター、電動スクリーン及び電動カーテン等2次側配線					
機械設備の制御、操作盤への電源供給制御					
同上2次側配線					
天井吊り形放熱器(FCU等)と操作スイッチとの配管・配線・接地工事					
消火栓箱組合用穴あけ					
設備機器のインターロックの配管・配線					
電気設備のフェンス・金網					
ガス漏れ警報器(単設型)					
"(兼中監視型)					
ガス漏れ警報器用コンセント					
造り付け流し台					
同上排水トラップ					
既製流し台及び排水トラップ(ガス台・洗面化粧台等を含む)					
既製吊戸棚					
鏡(姿見は建築工事)					
昇降機の出入口開口の型枠					
" 押鈕、インジケータ-配管用スリーブ及び型枠					
" ビット内保守用コンセント					
外壁取付ガリ、排煙口					
体育館などの器具・安定器など取付下地金物					
昇降機インターホンの配管・配線					

工 事 名 称	伊王野保育園保育室増築工事	
図面名称/縮尺	仕様書(その3)	図面番号
設 計 年 月 日		
設 計 者	一級建築士(第200584号) 大高 智 建築設計 大高	E-03
発 注 者	那 須 町	



案内図



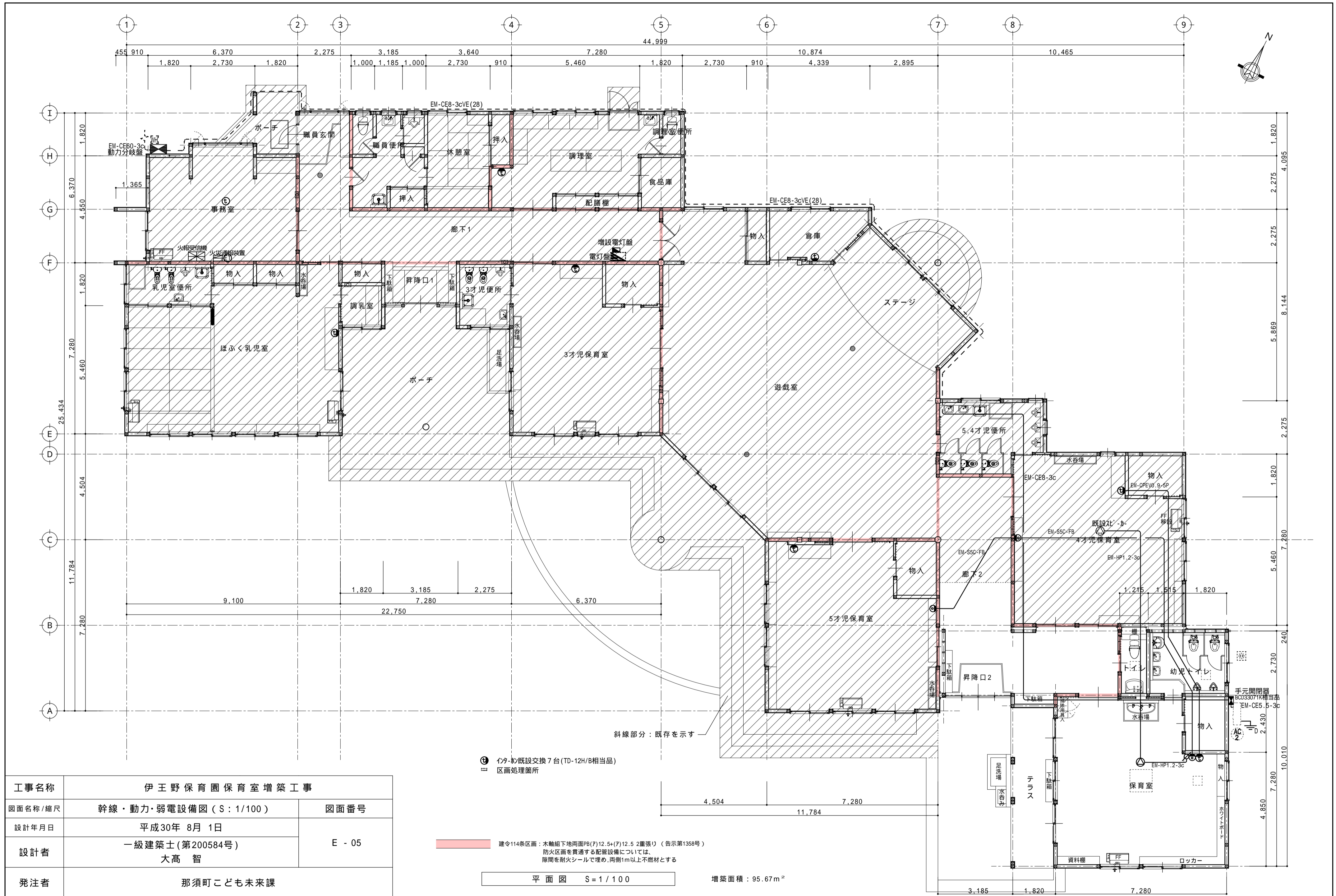
□ 内数値は、平均地盤面からの高さを示す。  
○ 内数値は、前面道路の中心からの高低差を示す。  
県条例第6条に抵触する げは ありません

特記事項	

一級建築士事務所  
**建築設計 大高**  
 栃木県那須郡那須町寺子乙3938-95 TEL0287-72-6372 FAX0287-72-7263

工事名称	伊王野保育園保育室増築工事
------	---------------

図面名称	案内図・配置図
縮尺	S : 1/300
図面番号	E - 04



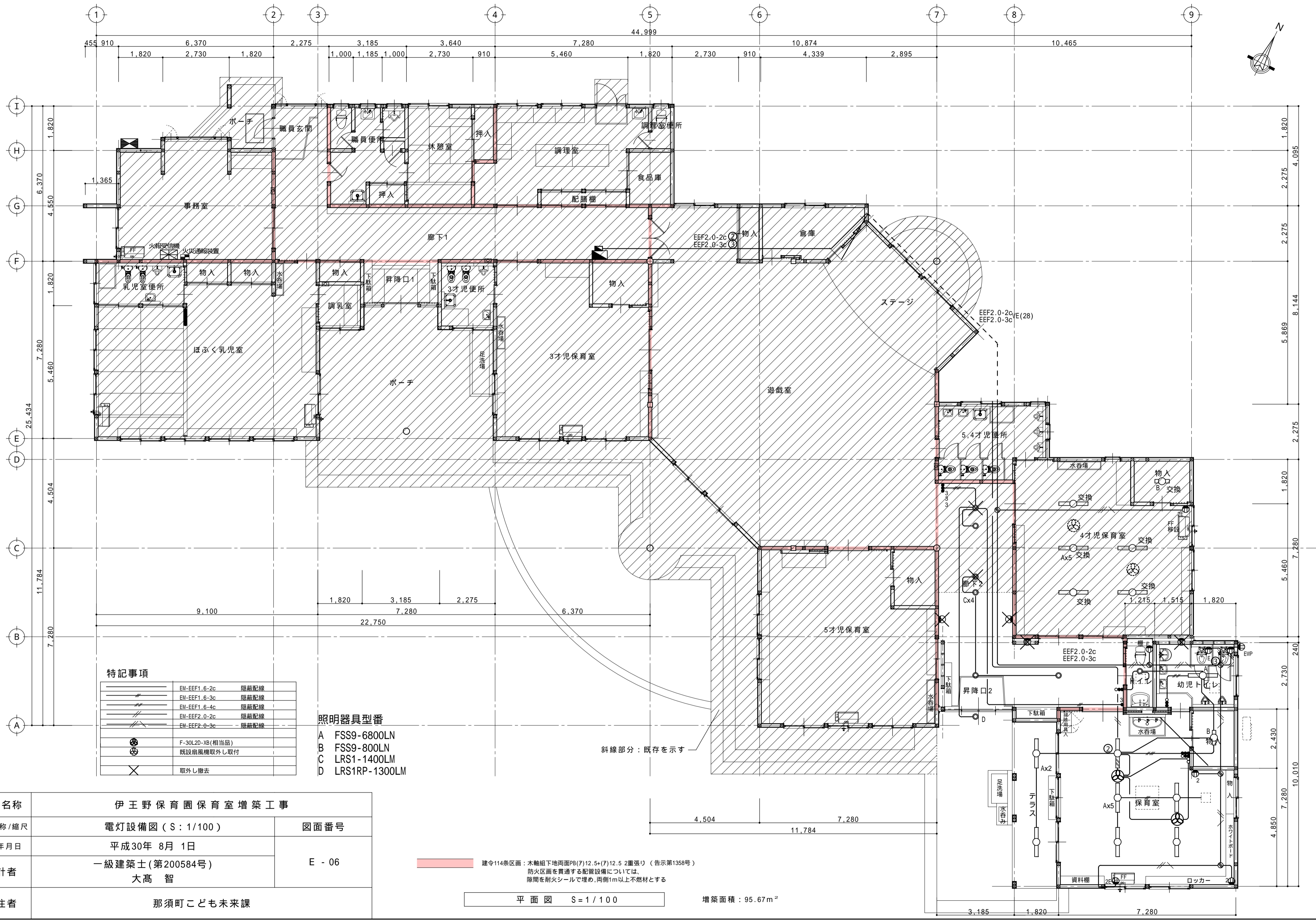
工事名称	伊王野保育園保育室増築工事	
図面名称/縮尺	幹線・動力・弱電設備図 (S: 1/100)	図面番号
設計年月日	平成30年 8月 1日	E - 05
設計者	一級建築士(第200584号) 大高 智	
発注者	那須町こども未来課	

① インタ-新既設交換7台(TD-12H/B相当品)  
 □ 区画処理箇所

建令114条区画：木軸組下地両面P8(7)12.5+(7)12.5 2重張り (告示第1358号)  
 防火区画を貫通する配管設備については、  
 隙間を耐火シルで埋め、両側1m以上不燃材とする

平面図 S = 1 / 100

増築面積：95.67㎡



**特記事項**

	EM-EEF1.6-2c	隠蔽配線
	EM-EEF1.6-3c	隠蔽配線
	EM-EEF1.6-4c	隠蔽配線
	EM-EEF2.0-2c	隠蔽配線
	EM-EEF2.0-3c	隠蔽配線
	F-30L2D-XB(相当品)	
	既設扇風機取外し取付	
	取外し撤去	

**照明器具型番**

A	FSS9-6800LN
B	FSS9-800LN
C	LRS1-1400LM
D	LRS1RP-1300LM

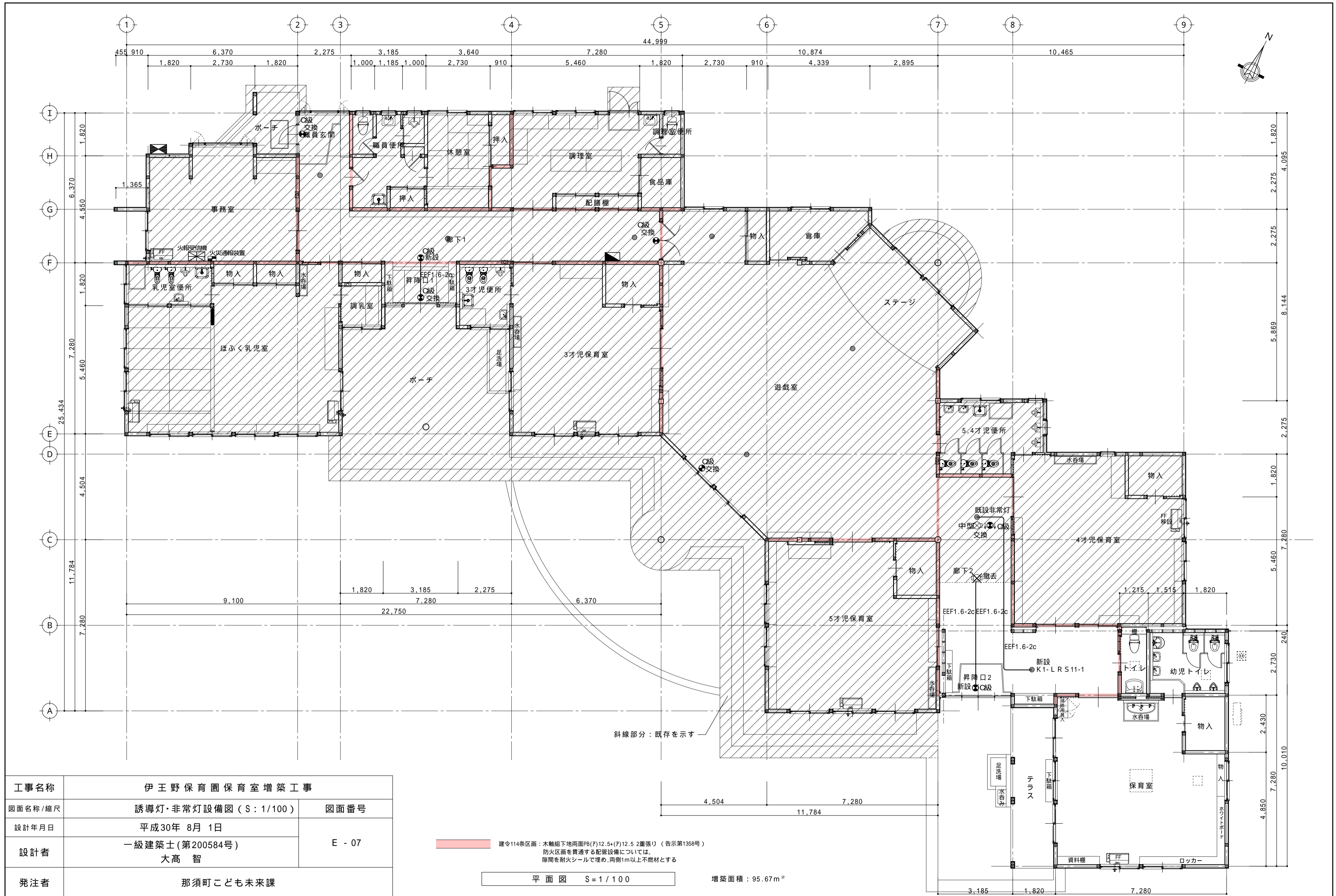
斜線部分：既存を示す

建令114条区画：木軸組下地両面P8(7)12.5+(7)12.5 2重張り（告示第1358号）  
 防火区画を貫通する配管設備については、  
 隙間を耐火シルで埋め、両側1m以上不燃材とする

平面図 S = 1 / 100

増築面積：95.67m<sup>2</sup>

工事名称	伊王野保育園保育室増築工事	
図面名称/縮尺	電灯設備図 (S : 1/100)	図面番号
設計年月日	平成30年 8月 1日	E - 06
設計者	一級建築士(第200584号) 大高 智	
発注者	那須町こども未来課	



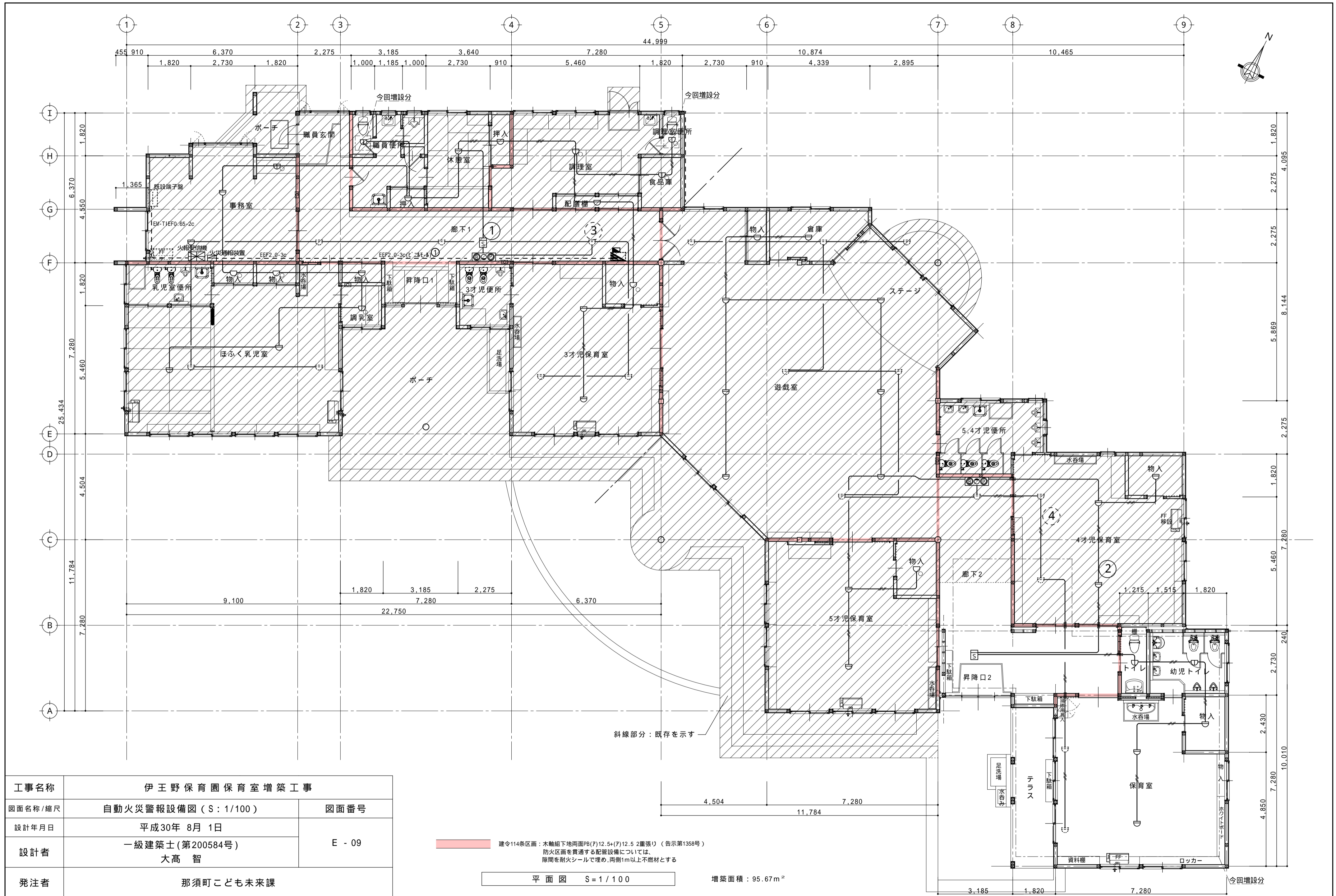
工事名称	伊王野保育園保育室増築工事	
図面名称/縮尺	誘導灯・非常灯設備図 (S: 1/100)	図面番号
設計年月日	平成30年 8月 1日	E - 07
設計者	一級建築士(第200584号) 大高 智	
発注者	那須町こども未来課	

建令114条区画：木軸組下地両面P8(7)12.5+(7)12.5 2重張り (告示第1358号)  
 防火区画を貫通する配管設備については、  
 隙間を耐火シルで埋め、両側1m以上不燃材とする

平面図 S = 1 / 100

増築面積：95.67m<sup>2</sup>





工事名称	伊王野保育園保育室増築工事	
図面名称/縮尺	自動火災警報設備図 (S : 1/100)	図面番号
設計年月日	平成30年 8月 1日	E - 09
設計者	一級建築士(第200584号) 大高 智	
発注者	那須町こども未来課	



原 項 目	特 記 事 項
⑨過積載対策	ダンブトラック等による過積載等の防止については、次のとおりとする。 1.積載重量制限を超過して工事用資材を積み込まず、また積み込まないこと。 2.過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。 3.資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材等の購入等に当たっては、下請業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。 4.さし押装着車、物産積載装置の不法改造をしたダンブカー及び不表示車等に土砂を積み込まず、また積み込まないこと。並びに工事現場に入り込むことのないようにすること。 5.過積載車両、さし押装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。 6.取引関係のあるダンブカー事業者が過積載を行い、又はさし押装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講じること。 7.「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。 8.下請契約の相手方は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠ける者又は業務にダンブトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。 9.1～8のことにつき、下請業者における受注者を指導すること。
⑩暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置	(1) 栃木県が発注する建設工事（以下「発注工事」という。）において、暴力団員等による不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、新聞とてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行い、捜査上必要な協力を行うこと。 (2) (1)により警察に通報を行い、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。 (3) 発注工事において、暴力団員等により不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じるなどの被害が生じた場合には、発注者と協議を行うこと。
⑪工事の一時中止に係る計画の作成	(1) 契約書第21条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。 なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持管理に関する基本事項を明らかにする。 (2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。
39住宅瑕疵担保履行法への対応	本工事は「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保に関する法律（平成19年法律第66号）の対象工事である

空調調和設備	1 設計温湿度 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>夏季</th> <th>冬季</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外気 温度 (DB)</td> <td>32</td> <td>-10</td> </tr> <tr> <td>湿度 (RH)</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>系統 温度 (DB)</td> <td>28</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>湿度 (RH)</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>系統 温度 (DB)</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>湿度 (RH)</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>系統 温度 (DB)</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>湿度 (RH)</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> 伸縮継手、排出口及びばいじん量測定口の位置は図示による。 2 鋼板製煙道 3 ダクト 低圧ダクト アングルフランジ工法 コーナポルト工法（長辺の長さが1500mm以下の部分） 高圧1ダクトの適用範囲は図示による ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による 4 風量測定口 取り付け箇所は図示による。 5 チャンパー (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 空気調和機、温風暖房機に取り付けるサプライチャンパー、レタンチャンパー及び風道系で消音内貼りしたチャンパーには点検口（点検口の大きさは図示による）及び温度計取付座を設ける。 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー類は、雨水の滞留のないように施工する。 6 ダンパー 防塵ダンパー 循環方式 遮断 ビストダンパー 循環方式 遮断 7 配管材料 (1) 冷水水管 (2) 冷却水管 (3) 油管 (4) 蒸気管 連管 (5) 高温水管 (6) 膨張管、空気抜き管、ドレン管及び膨張タンクよりボイラ等への補給水管 (7) 冷媒管 8 弁類 JIS又はJV 5K 10K（図示部分） 9 油面制御装置 油面制御装置には下記の端子を設ける。 電磁弁制御 電磁弁制御 なお、フロースイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。 10 保温及び消音内貼り 断りダクト（RADダクト） 保温範囲は 図示による 外気取入れダクト（OAダクト） 保温範囲は 図示による 膨張タンクよりボイラ等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による 建物内の空気抜き管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の排水管の項による 冷媒管の外装の種別は 図示による		夏季	冬季	外気 温度 (DB)	32	-10	湿度 (RH)	%	%	系統 温度 (DB)	28	25	湿度 (RH)	%	%	系統 温度 (DB)	%	%	湿度 (RH)	%	%	系統 温度 (DB)	%	%	湿度 (RH)	%	%
	夏季	冬季																										
外気 温度 (DB)	32	-10																										
湿度 (RH)	%	%																										
系統 温度 (DB)	28	25																										
湿度 (RH)	%	%																										
系統 温度 (DB)	%	%																										
湿度 (RH)	%	%																										
系統 温度 (DB)	%	%																										
湿度 (RH)	%	%																										
換気設備	1 ダクト 低圧ダクト アングルフランジ工法 コーナポルト工法（長辺の長さが1500mm以下の部分） 高圧1ダクトの適用範囲は図示による ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による 厨房系統の長方形排気ダクトの板厚は、標準仕様書より1ランク厚いものを使用する 2 風量測定口 取り付け箇所は図示による。 3 ダンパー 空気調和設備の当該項目による。 4 排気ダクトのシール 浴室（シャワー室、脱衣室を含む）系統 厨房系統 5 チャンパー 空気調和設備の当該項目による。 6 保温 全熱交換ユニット用の外気取入れダクト 保温範囲及び仕様は図示による 全熱交換ユニット用の排気用ダクト 保温範囲及び仕様は図示による 下記の箇所を除く排気ダクトの保温仕様はh・(イ)とし、範囲は図示とする 厨房 湯沸室																											
排煙設備	1 ダクト 亜鉛鉄板 2 排煙口の形式 図示による。 3 排煙口自動開放装置（開放及び復帰方式） ファイヤー式 電気式 遮断操作 要 不要 4 排煙風量測定 建築設備定期検査業務基準書平成20年版（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。																											
自動制御設備	1 システム構成その他 図示による。 2 電気計装用機材 使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線又はEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。																											
衛生器具設備	1 衛生器具付属水栓 水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。 2 和風大便器耐火カバー 設ける（ビット内は除く） 設けない 3 洗面器 手洗器は止水栓付とする。 4 衛生器具ユニット ユニットの配管材料は、別図衛生器具ユニットの仕様表とする。 5 浴室ユニット 仕様は別図による。																											
給水設備	1 配管材料 (1) 給水引込管（直結部分） 水道事業者の指定による（ ） (2) 地中埋設配管 塩ビライニング鋼管（VD） ポリエチレン管 塩ビライニング鋼管（VA） 塩ビライニング鋼管（VB） (3) その他の一般配管（上水） 塩ビライニング鋼管（VA） 塩ビライニング鋼管（VB） 2 水栓 台所流し用の水栓は泡沫式とする 水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする （ただし、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする） 3 量水器 親メーター（貸与品）（直読式 パルス式） 子メーター（買取り）（直読式 パルス式） 4 量水器掛 水道事業者指定品（貸与品 買取り） 標準図MC形 5 弁類 JIS又はJV 水道貫結部（10K） その他の部分（5K） 逆止弁の衝撃吸収式はライニング不要とする ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする 6 埋設配管 管の地中埋設深さは、車両道路では管の上端より（600mm）以上、それ以外では（300mm）以上とする。ただし、凍結深度以上とする。 埋戻しは管の上端より100mmまでは山砂を使用する。 7 水栓柱 合成樹脂製 人造石とぎ出し製 アルミニウム合金製 8 建物導入部配管 標準図（建築物導入部の変位吸収配管要領）の（c）による。 9 引込み納付金等 要（別途工事 本工事） 不要																											

排水設備	1 配管材料 (1) 屋内 汚水管 排水用塩ビライニング鋼管(D-VA) ビニル管(VP) 雑排水管 耐火二層管 鉛管 配管用炭素鋼鋼管(白管) ビニル管(VP) 排水用塩ビライニング鋼管(D-VA) 耐火二層管 鉛管 通気管 配管用炭素鋼鋼管(白管) ビニル管(VP) 排水用塩ビライニング鋼管(D-VA) ビニル管(VP) ビニル管(VU) 第一井まで ビニル管(VP) ビニル管(VU) 樹間 ビニル管(VP) ビニル管(VU) (2) 屋外 洗面器等に排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。 洋風便器、小便器、洗面器及び掃除流しの接続管はビニル管(VP)とする。 台所流し等の床下露出部分の配管はビニル管(VP)でもよい 2 洗面器等の排水管 洗面器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。 洋風便器、小便器、洗面器及び掃除流しの接続管はビニル管(VP)とする。 台所流し等の床下露出部分の配管はビニル管(VP)でもよい 3 満水試験継手 取り付け箇所は図示による。 4 放流納付金等 要（別途工事 本工事） 不要
給湯配管	1 配管材料 ○給湯用塩ビライニング鋼管 ステンレス管 2 弁類 JIS又はJV 5K 10K（図示部分） ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする
消火設備	1 配管材料 (1) 屋内消火栓 一般 配管用炭素鋼鋼管(SGP白) 地中 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(SGP-V5) (2) 連結送水管 一般 地中 (3) 2 建物導入部配管 標準図（建築物導入部の変位吸収配管要領）の（c）による。 1 システム ドライシステム 2 厨房用熱源 図示による。 3 機器の機能等 図示による。
ガス設備	1 ガス種別 都市ガス（供給者名 発熱量 MJ/m <sup>3</sup> (N)） 液化石油ガス 2 配管材料 都市ガス 配管用炭素鋼鋼管(白) 液化石油ガス (1) 一般 配管用炭素鋼鋼管(白) (2) 地中 ポリエチレン被覆鋼管 3 充てん容器 別途（50kg 20kg）×（2本） 4 集合装置 標準図（液化石油ガス容器廻り配管要領）による（2）本立て。 5 転倒防止等 標準図（液化石油ガス容器転倒防止施工要領）の（a）（b）による。 6 メーター 親メーター（貸与品）（直読式 パルス式） 子メーター（買取り）（直読式 パルス式） 7 ガス漏れ警報器 本工事（図示による） 別途工事 8 漏洩検知装置 要 不要 9 電気防食 要 不要 10 引込負担金等 要（別途工事 本工事） 不要
排水処理設備	1 設備方式 排水再利用 浄化槽 厨房除害 2 仕様等 図示による。
雨水利用設備	1 設備方式 図示による。 2 配管材料 JIS又はJV 5K 10K（図示部分） 3 弁類
改修・撤去工事	1 撤去内容 図示による。 2 化学物質の濃度測定 施工完了時に室内空気中の濃度測定を行い、測定結果をまとめて報告する。 測定する化学物質の種類 ホルムアルデヒド トルエン キシレン エチルベンゼン スチレン パラジクロロベンゼン 測定方法 パッパ型採取機器により行う 測定対象室 図示による 測定箇所数 図示による 撤去工前の測定 行う 行わない

別表-1 他工事との取り合い 印を適用する。		建築工事	電気設備工事	機械設備工事	塗装工事	昇降機設備工事
工 事 内 容						
仮設電力の引込み（分電盤・キュービクルまで）						
# （上記以降）						
仮設電力の電気料						
本受電後引渡しまでの電気基本料金						
本受電後引渡しまでの電気使用料						
仮設水道の引込み（メーターまで）						
# （上記以降）						
仮設水道及び本設後引き渡しまでの使用料						
梁・壁・床の開口、貫通、埋込部のスリーブ・型枠（電気、機械の配管等）						
すべての開口、貫通、埋込部の補強						
屋上に設置する機器の基礎（電気及び機械機器）						
屋内及び屋外に設置する機器の基礎（電気及び機械機器）						
天井・壁（軽鋼鉄骨下地）に付く機器の位置・差出し						
天井・壁（軽鋼鉄骨下地）に付く機器の開口部補強を要しない場合の切込み						
天井・壁（軽鋼鉄骨下地）に付く機器の開口部補強を要する場合の切込み						
天井・壁（軽鋼鉄骨下地）に付く機器の開口部補強						
天井換気扇の取付						
壁窓用換気扇の取付						
同上取付枠						
点検口の取付（床・壁・天井・PS等）						
防塵ダンパー						
同上 煙感知器の配管・配線						
床仕上げ材の穴あけ（フローリングブロック等）						
ルーフトレイン及び縦どい（樹及び側溝までの配管）						
配線ビッド及び蓋						
電線槽及びフロースイッチ						
自動扉、電動シャッター、電動スクリーン及び電動カーテン等二次側配線						
機械設備の制御、操作盤への電源供給制御						
同上の二次側配線						
天井吊り形放熱器（FCU等）と操作スイッチとの配管・配線・接地工事						
消火栓箱給金用穴あけ						
設備機器のインターロックの配管・配線						
電気設備のフェンス・金網						
ガス漏れ警報器（単設置）						
# （集中監視型）						
ガス漏れ警報器用コンセント						
連り付け流し台						
同上排水トラップ						
既製流し台及び排水トラップ（ガス台・洗面化粧台等を含む）						
既製戸棚						
鏡（姿見は建築工事）						
昇降機の出入口開口の型枠						
# 押釦、インジケーター配管用スリーブ及び型枠						
# ビッド内保守用コンセント						
外壁取付ガラリ、排煙口						
体育館などの器具・安定器など取付下地金物						
昇降機インターホンの配管・配線						

工事名称	伊王野保育園保育室増築工事	
図面名称/縮尺	機械設備 特記仕様書2	図面番号
設計年月日	平成30年 8月 1日	M - 02
設計者	一級建築士(第200584号) 大高 智	
発注者	那須町こども未来課	

凡 例

記号	名称	仕様
—— - ——PP	給水管	ポリプロピレン管 JIS K 6762
—— - ——	給水管	塩化ビニル鋼管 VB又はVD JWWA K 116
—— ———	排水管	塩化ビニル管 VP JIS K 6741
—— R ——	冷媒管	冷媒用被覆銅管 CP JIS H 3300
—— D ——	ドレン管	塩化ビニル管 VP JIS K 6741
—— O ——	オイル管	硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 VI JIS G 3452
⊗	水栓	固定コマ
○	バルブ	塩化ビニル製 蓋塩化ビニル製
⊗	ため桧	都型 コンクリート製

機 器 表

記号	名称	型式仕様	電気仕様			数量
			V	W		
FE-1	天井扇	天井扇 150 × 450m3/h-220m3/h × 35Pa ﾌｰﾄﾞ (SUS製)防虫網付 参考型式 VD-20ZLXP10-CS	1	100	54	1
FE-2	天井扇	天井扇 150 × 280m3/h × 20Pa ﾌｰﾄﾞ (SUS製)防虫網付 参考型式 VD-18ZB10	1	100	26	1
FE-3	天井扇	天井扇 100 × 110m3/h × 20Pa ﾌｰﾄﾞ (SUS製)防虫網付 参考型式 VD-13Z10	1	100	15.5	1
OC-1	給気口	自然給気ユニット 150 参考型式 P-18WQU ﾌｰﾄﾞ (SUS製)防虫網付				1

器 具 表

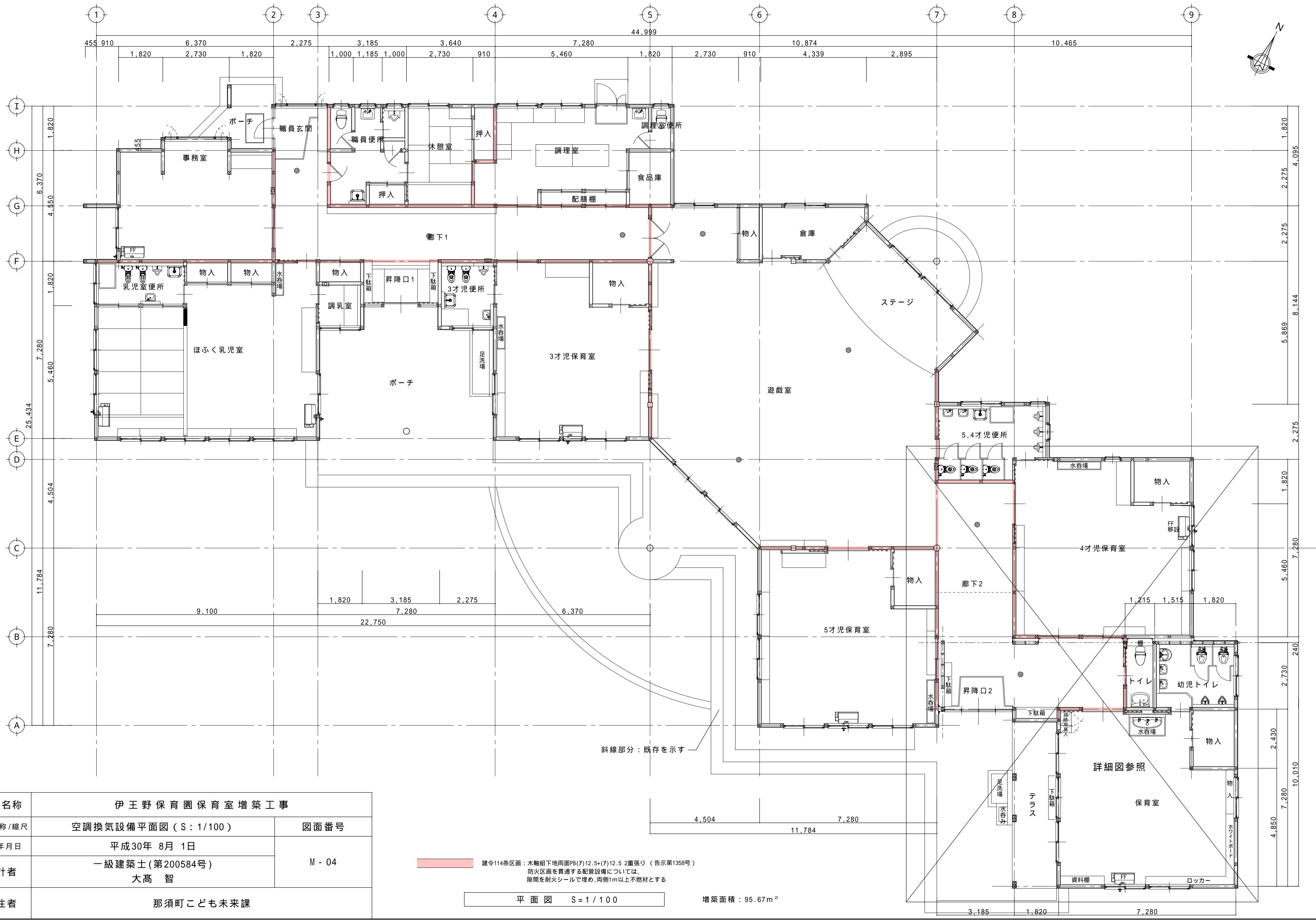
名称	参考品番	付属品参考品番	数量
洋風大便器	CS230B	SH233BA, TCF6622	1
洋風大便器	CS300B	S300BK, TS300SGR, T82C38, TCF40	2
小便器	U310GY	T601P, T64CP, T9R	2
洗面器	L30DM	T205UNRC, T22BP, TL4CFU, TL220D, TS126AR	2
洗面器	L270CM	TLS01101J, T6PM1, TL4CFU, TL220D, TLK05202J	1
洗濯用流し	SK507	T130AUN13C, T9R, T8C, TK40P	1
幼児用マルチシンク	SKL300HMBS	UTR134K3S	1
紙巻器	YH51R		3
化粧鏡	YM3045F	300 × 450	3
化粧鏡	YM4560F	450 × 600	1
万能水栓	T200ESUN13C		4
排水ポンプ槽	PVCタンク 500 L	ポンプ 50 × 0.25 K W × 215L/min × 2m × 2台 ( 50DWV5.25SB) フロートスイッチ 自立制御盤他付属品共 1 100 V 0.25 K W 参考型番 50UKPWU05	1

記号	名称	型式仕様	電気仕様			数量	設置場所
			V	KW			
AC-1	空調機	天井カセット型エアコン 参考型式 SSR140BCX 冷房能力 12.5KW 暖房能力 14.0KW 基礎コンクリートブロック 防振パット共 付属品 ワイヤードリモコン エコパネル ストリーマー内部ユニット	3	200	圧縮機 2.36 FAN 0.106	1	保育室

F F 暖房機 機器表

記号	名称	機器仕様	電気容量			台数	設置場所	備考 (参考型番)
			V	KW				
FF-1	暖房機	FF式石油暖房機(耐震計画計画基準対応品) 暖房出力 11.0KW 燃料消費量 12.7KW (1.233 L/h) 外形寸法:重量 800 × 367 × 594H 40kg 付属品 電磁弁付きバルブ、薄型給排気筒、固定金具、バルブカバー 薄型給排気筒保護ガード、FF保護ガード	1	100	117W (点火時) 57W (燃焼時)	1	保育室	FF-11000BF

工事名称	伊王野保育園保育室増築工事	
図面名称/縮尺	機械設備 機器表 凡例	図面番号
設計年月日	平成30年 8月 1日	M - 03
設計者	一級建築士(第200584号) 大高 智	
発注者	那須町こども未来課	

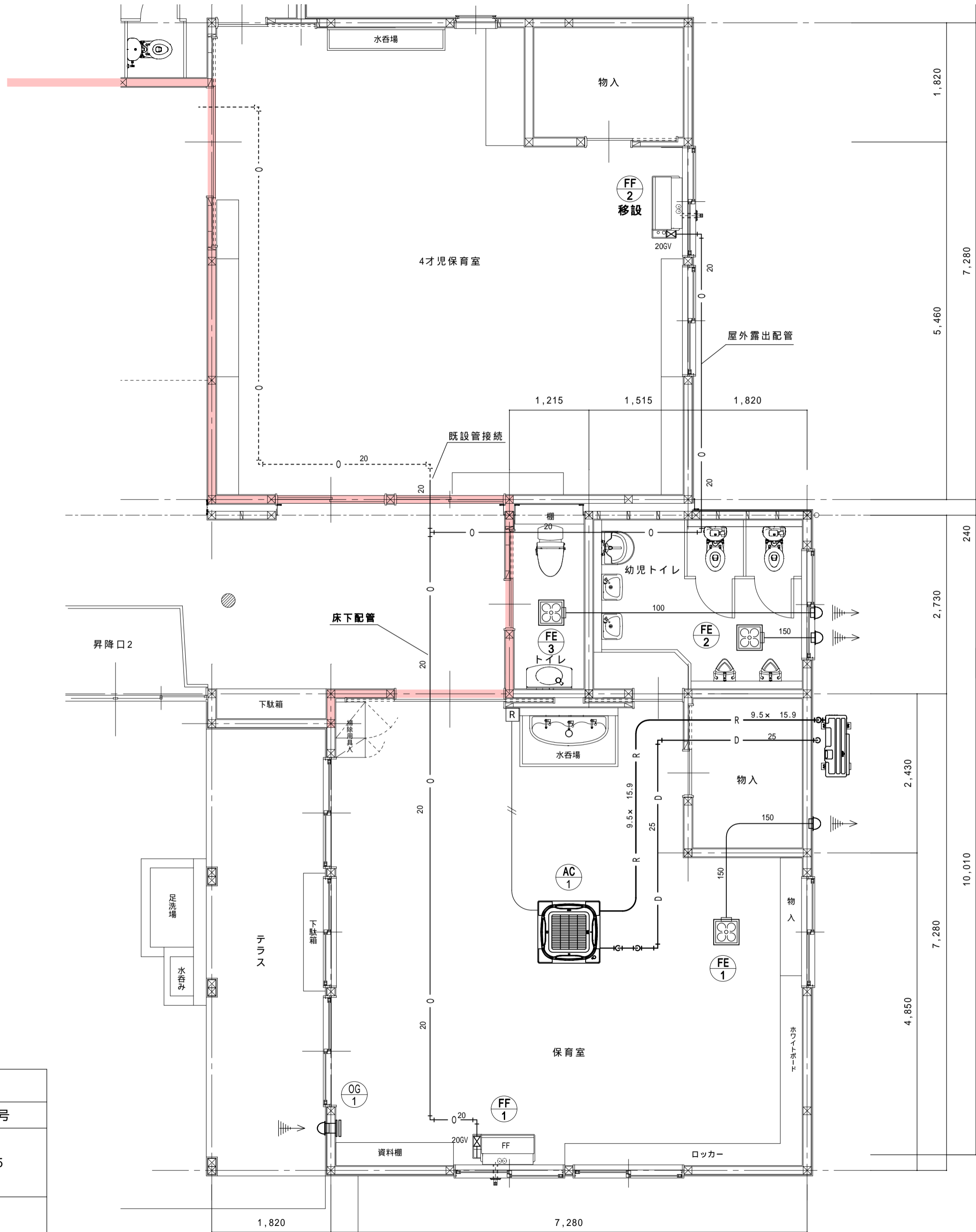


工事名称	伊王野保育園保育室増築工事	
図面名称/縮尺	空調換気設備平面図 (S: 1/100)	図面番号
設計年月日	平成30年 8月 1日	M - 04
設計者	一級建築士(第200584号) 大高 智	
発注者	那須町子ども未来課	

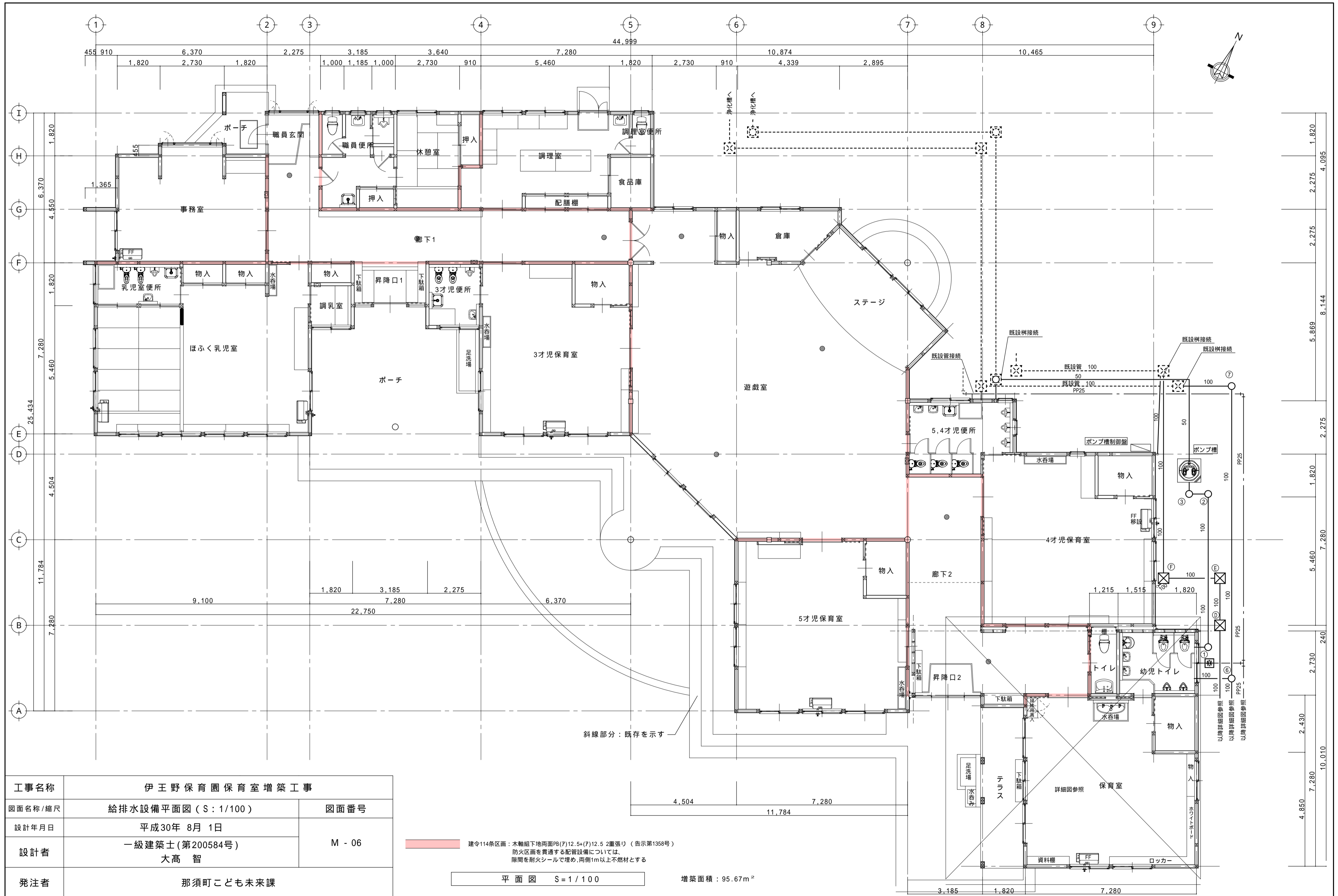
建令114条区画：木軸組下地両面P8(7)12.5+(7)12.5 2重張り (告示第1358号)  
 防火区画を貫通する配管設備については、  
 隙間を耐火シールで埋め、両側1m以上不燃材とする

平面図 S = 1 / 100

増築面積：95.67m<sup>2</sup>



工事名称	伊王野保育園保育室増築工事	
図面名称/縮尺	空調換気設備平面詳細図 (S : 1/50)	図面番号
設計年月日	平成30年 8月 1日	M - 05
設計者	一級建築士(第200584号) 大高 智	
発注者	那須町こども未来課	



工事名称	伊王野保育園保育室増築工事	
図面名称/縮尺	給排水設備平面図 (S : 1/100)	図面番号
設計年月日	平成30年 8月 1日	M - 06
設計者	一級建築士(第200584号) 大高 智	
発注者	那須町こども未来課	

建令114条区画：木軸組下地両面P8(7)12.5+(7)12.5 2重張り (告示第1358号)  
 防火区画を貫通する配管設備については、  
 隙間を耐火シールで埋め、両側1m以上不燃材とする

平面図 S=1/100

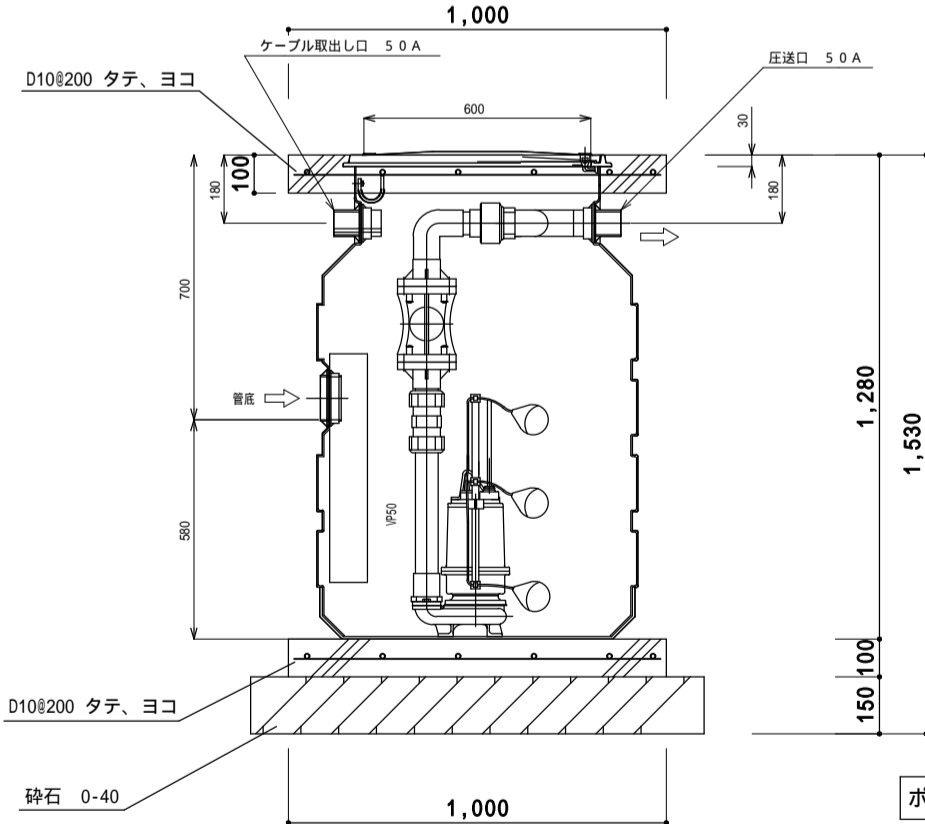
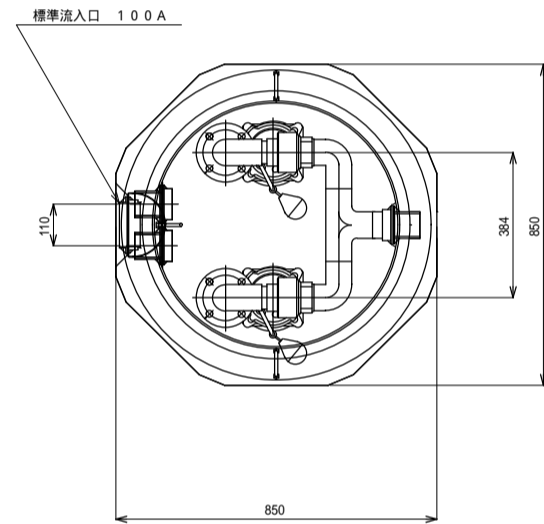
増築面積：95.67m<sup>2</sup>

斜線部分：既存を示す

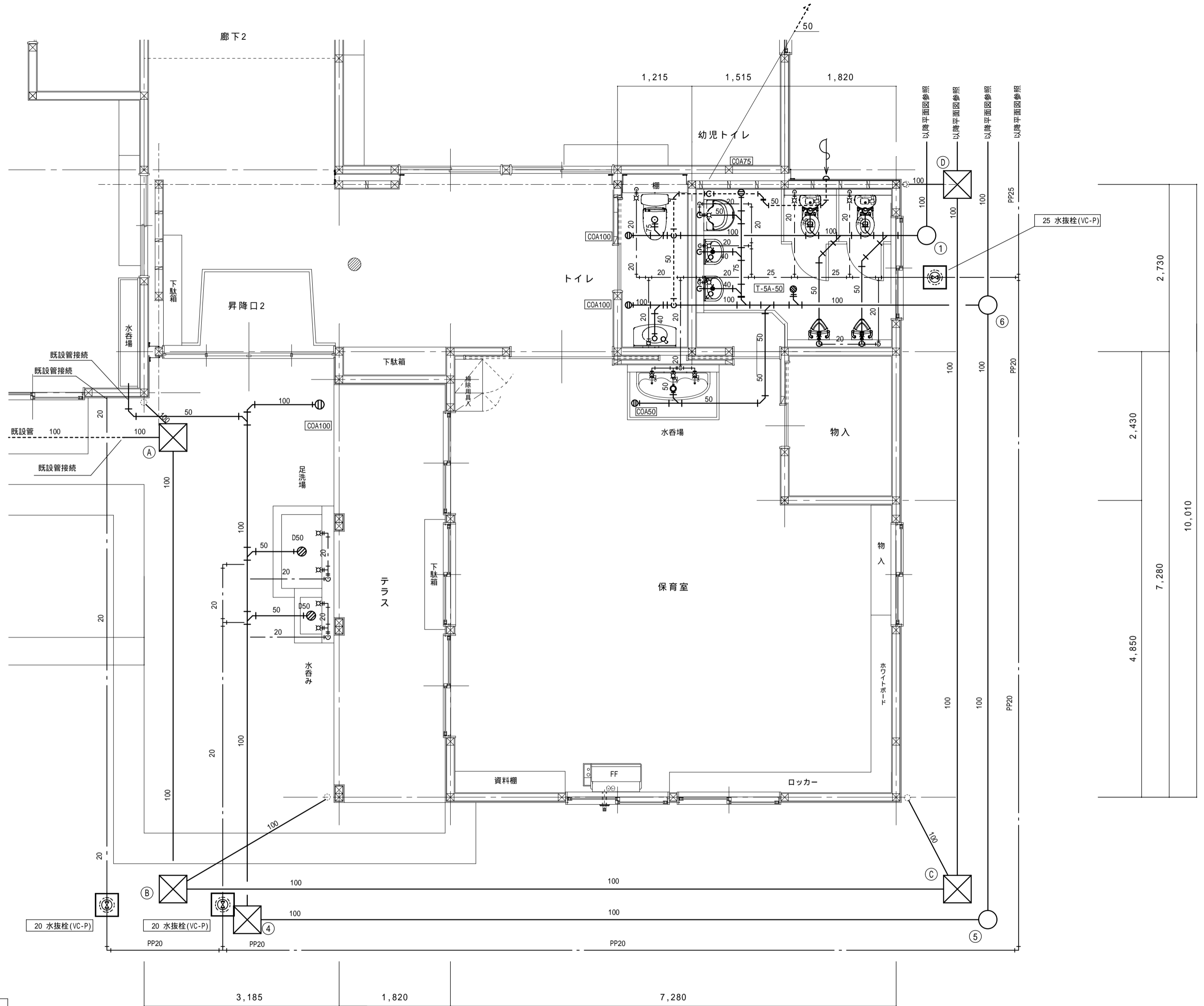
以階詳細図参照  
 以階詳細図参照  
 以階詳細図参照

- 樹リスト -

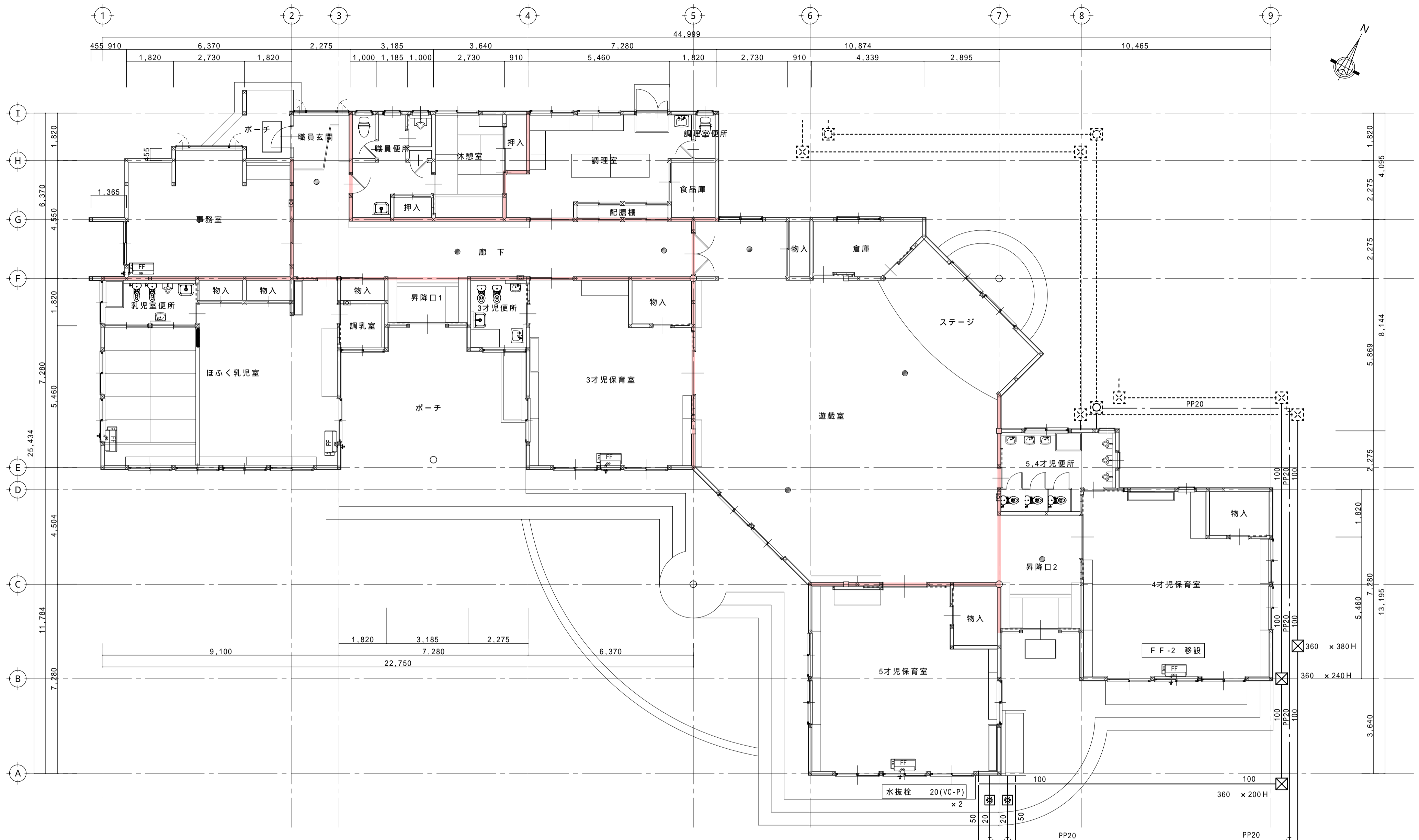
記号	名称	サイズ	深さ(H)	材質	仕様
NO1	小口径塩ビ樹	100-200	400H	塩ビ蓋	
NO2	"	100-200	520H	"	
NO3	"	100-200	540H	"	
NO4	ため樹 都型	360	220H	MHA蓋	
NO5	小口径塩ビ樹	100-200	240H	塩ビ蓋	
NO6	"	100-200	300H	"	
NO7	"	100-200	420H	"	
NO A	ため樹 都型	360	300H	MHA蓋	
NO B	"	"	200H	"	
NO C	"	"	210H	"	
NO D	"	"	240H	"	
NO E	"	"	250H	"	
NO F	"	"	260H	"	



ポンプ槽詳細図



工事名称	伊王野保育園保育室増築工事	
図面名称/縮尺	給排水設備平面詳細図 (S : 1/50)	図面番号
設計年月日	平成30年 8月 1日	M - 07
設計者	一級建築士(第200584号) 大高 智	
発注者	那須町こども未来課	



工事名称	伊王野保育園保育室増築工事	
図面名称/縮尺	給排水設備撤去平面図 (S: 1/100)	図面番号
設計年月日	平成30年 8月 1日	M - 08
設計者	一級建築士(第200584号) 大高 智	
発注者	那須町こども未来課	

平面図 S=1/100

- 撤去配管
- - - 既設配管
- ⊗ 撤去コンクリート樹
- ⊠ 既設コンクリート樹